

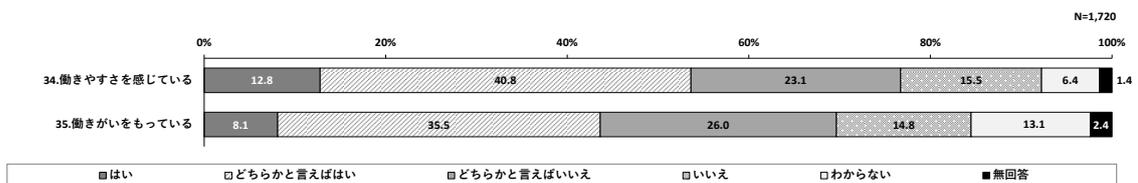
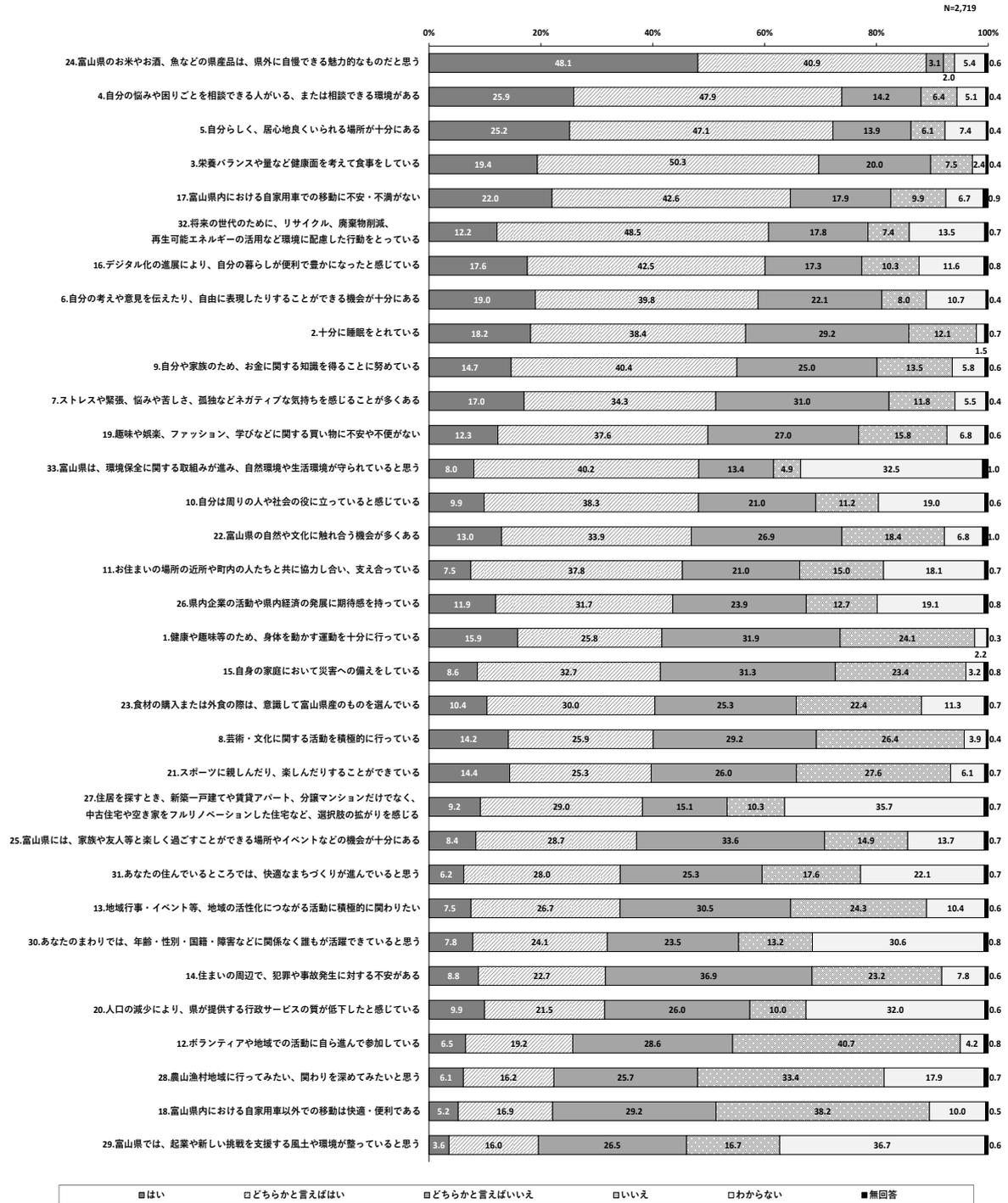
2. その他の事項について

問 14. あなた自身の状況や意識、お考えをお聞きします。

自身の状況や意識について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が、「24.富山県のお米やお酒、魚などの県産品は、県外に自慢できる魅力的なものだと思う」では89.0%と最も高く、次いで「4.自分の悩みや困りごとを相談できる人がいる、または相談できる環境がある」（73.8%）、「5.自分らしく、居心地良くいられる場所が十分にある」（72.3%）となっている。

一方、「29.富山県では、起業や新しい挑戦を支援する風土や環境が整っていると思う」では、『はい』が19.6%と最も低く、次いで「18.富山県内における自家用車以外（公共交通機関など）での移動は快適・便利である」（22.1%）、「28.農山漁村地域に行ってみたい、関わりを深めてみたいと思う」（22.3%）となっている。

図表 14 あなた自身の健康、余暇活動等について



問 14-① 健康や趣味等のため、身体を動かす運動を十分に行っていると思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 41.7%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 56.0%と、『いいえ』の方が 14.3 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 64.1%（うち「はい」は 38.0%）と、他の年代と比べて高い。一方、30～69 歳では『はい』が 3 割台と、他の年代と比べて低い。

(3) 性別

「男性」では『はい』が 48.9%と、「女性」よりも 12.2 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では「はい」が 23.5%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 46.8%と、「いる」よりも 8.8 ポイント高い。

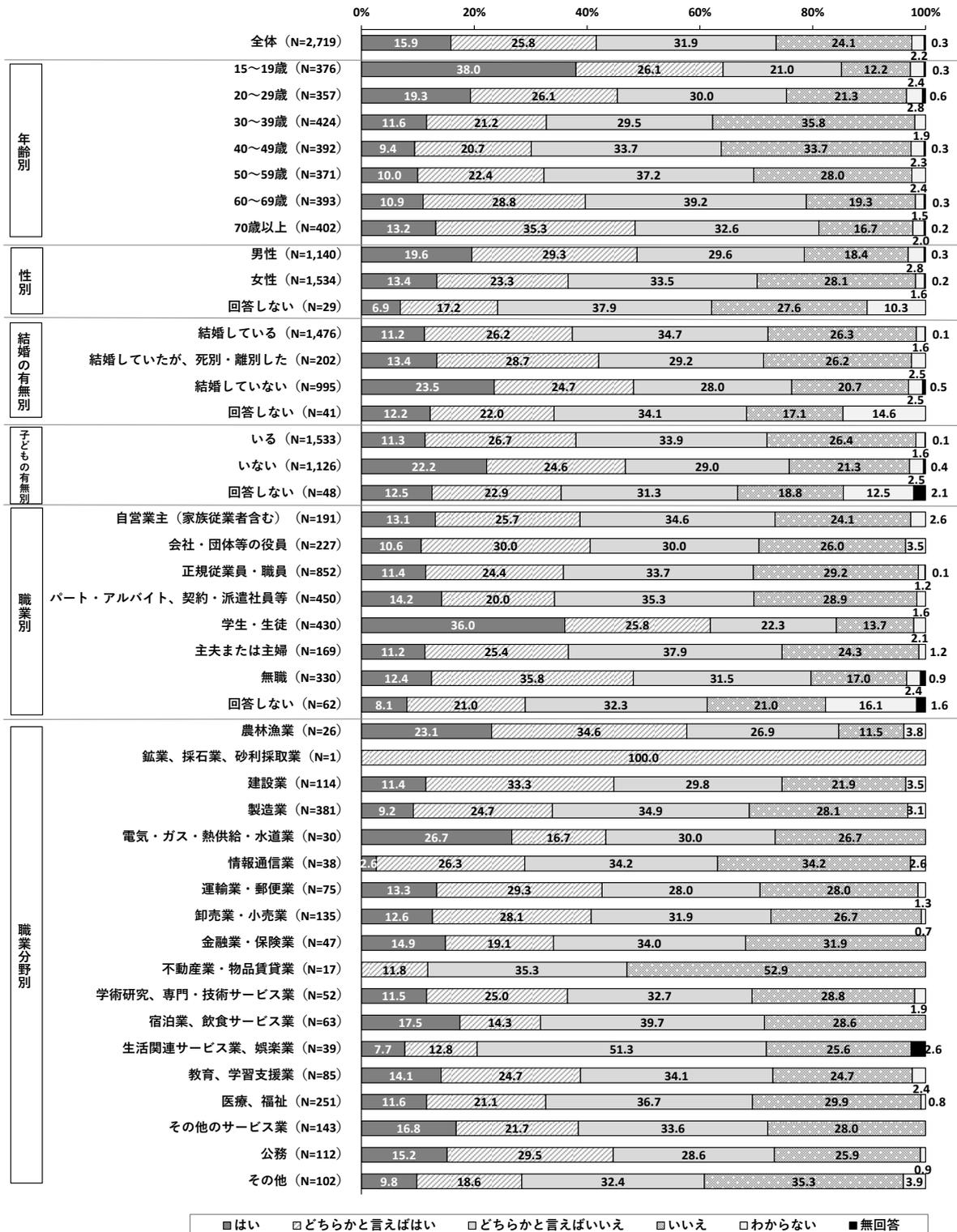
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 61.8%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「建設業」「運輸業・郵便業」「卸売業・小売業」「公務」では『はい』が 4 割強と、他の職業分野と比べて高い。一方、「生活関連サービス業・娯楽業」では『はい』が 20.5%と、他の職業分野と比べて低い。

図表 14-1 健康や趣味等のため、身体を動かす運動を十分に行っていると思う。



問 14-② 十分に睡眠をとれていると思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 56.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 41.3%と、『はい』の方が 15.3 ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」「20～29 歳」「70 歳以上」では『はい』が 6 割台と、他と比べて高い。一方、30～69 歳では『いいえ』が 4 割台と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 60.0%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 60.0%と、「いる」よりも 5.5 ポイント高い。

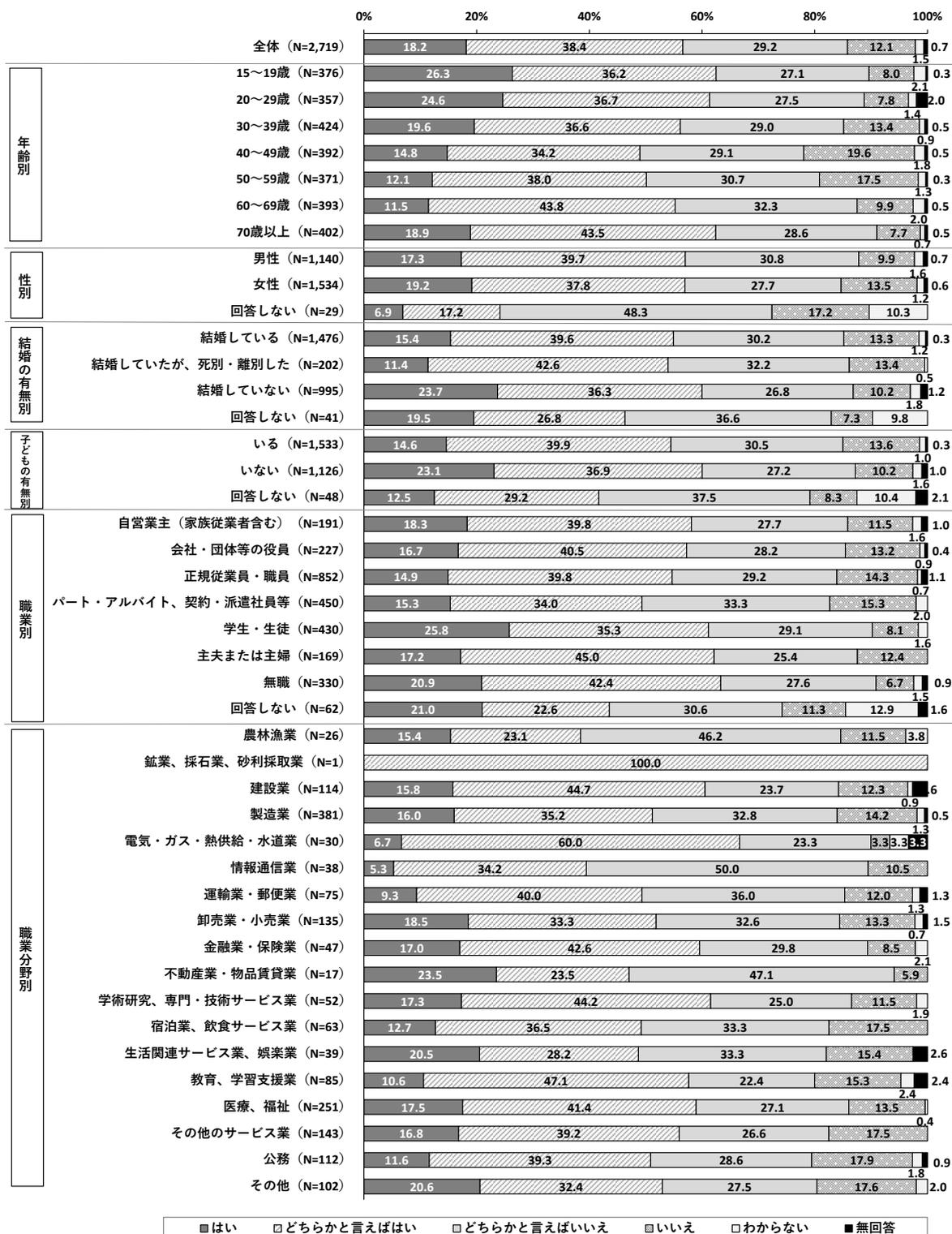
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」「主夫または主婦」「無職」では『はい』が 6 割台と、他の職業と比べて高い。一方、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では『いいえ』が 48.6%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 61.5%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「情報通信業」では『はい』が 39.5%と、他の職業分野と比べて低い。

図表 14-2 十分に睡眠をとれていると思う。



問 14-③ 栄養バランスや量など健康面を考えて食事をしている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 69.7%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 27.5%と、『はい』の方が 42.2 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 6 割を超えている。特に、「70 歳以上」では『はい』が 77.1%と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 72.4%と、「男性」よりも 5.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 72.2%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 71.6%と、「いない」よりも 3.9 ポイント高い。

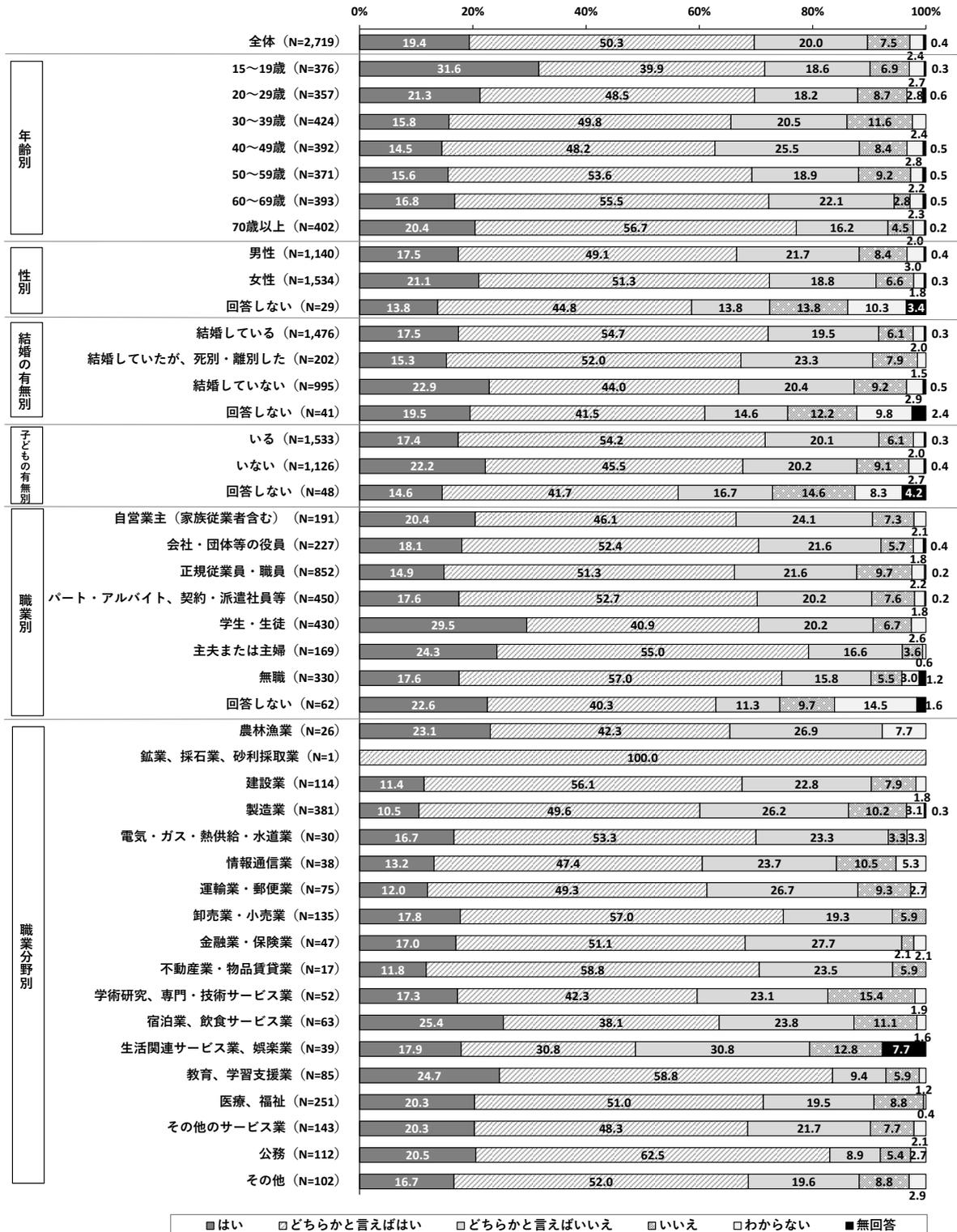
(5) - 1 職業別

すべての職業で『はい』が 6 割を超えており、「主夫または主婦」では『はい』が 79.3%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が 8 割を超えており、他の職業分野と比べて高い。一方、「生活関連サービス業・娯楽業」では『はい』が 48.7%と、他の職業分野と比べて低い。

図表 14-3 栄養バランスや量など健康面を考えて食事をしている。



問 14-④ 自分の悩みや困りごとを相談できる人がいる、または相談できる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 73.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 20.6%と、『はい』の方が 53.2 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 88.6%（うち「はい」は 47.1%）と、他の年代よりも高い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 81.7%と、「男性」よりも 17.5 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 76.4%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 76.3%と、「いる」よりも 3.8 ポイント高い。

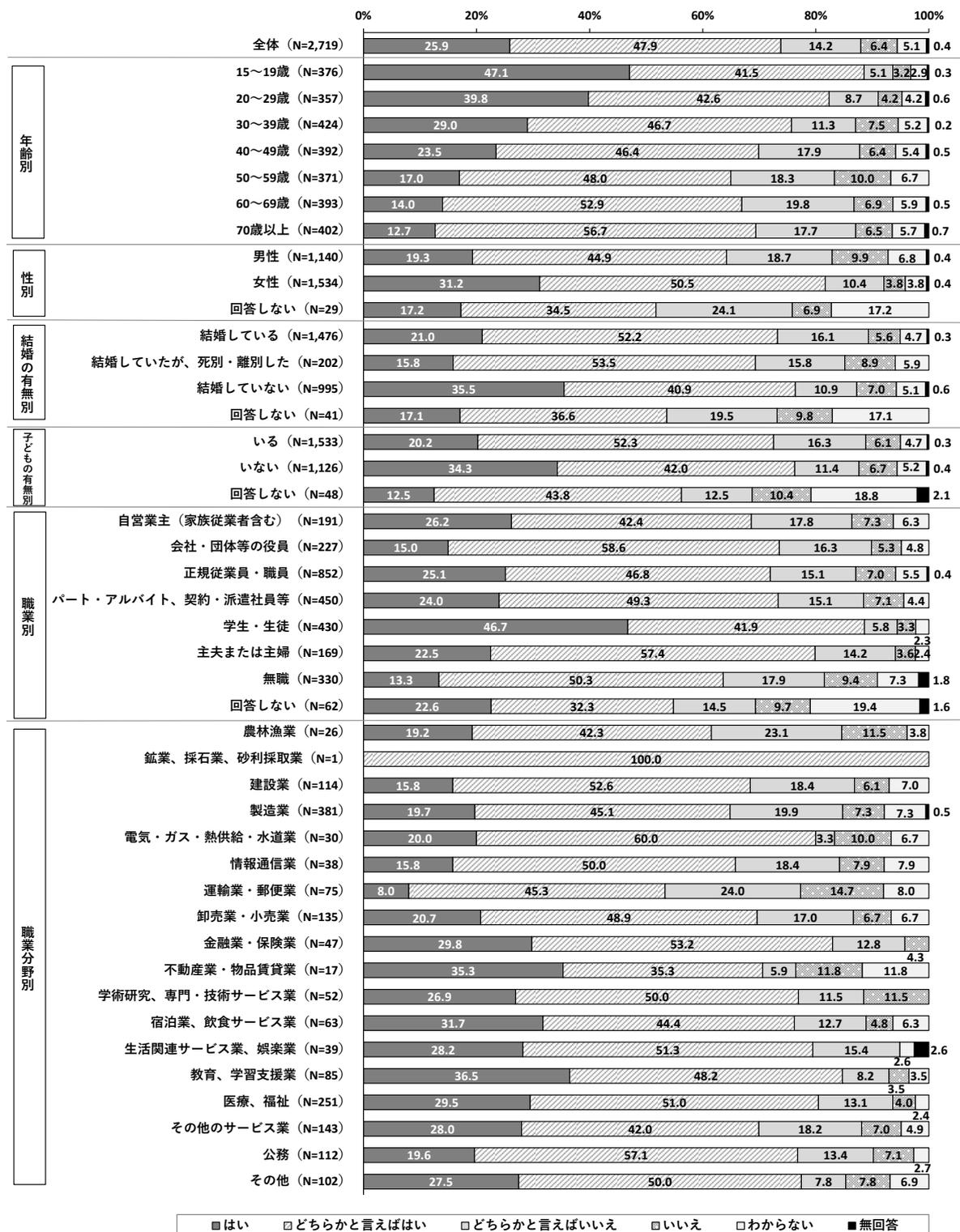
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 88.6%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」「教育、学習支援業」「医療・福祉」では『はい』が 8 割を超えている。一方、「運輸業・郵便業」では『はい』が 53.3%と、他の職業分野と比べて低い。

図表 14-4 自分の悩みや困りごとを相談できる人がある、または相談できる環境がある。



問 14-⑤ 自分らしく、居心地良くいられる場所が十分にある

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 72.3%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 20.0%と、『はい』の方が 52.3 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 6 割を超えている。特に、「15～19 歳」では 89.4%（うち「はい」は 51.9%）と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 76.2%と、「男性」よりも 8.3 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 77.5%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 77.0%と、「いる」よりも 7.6 ポイント高い。

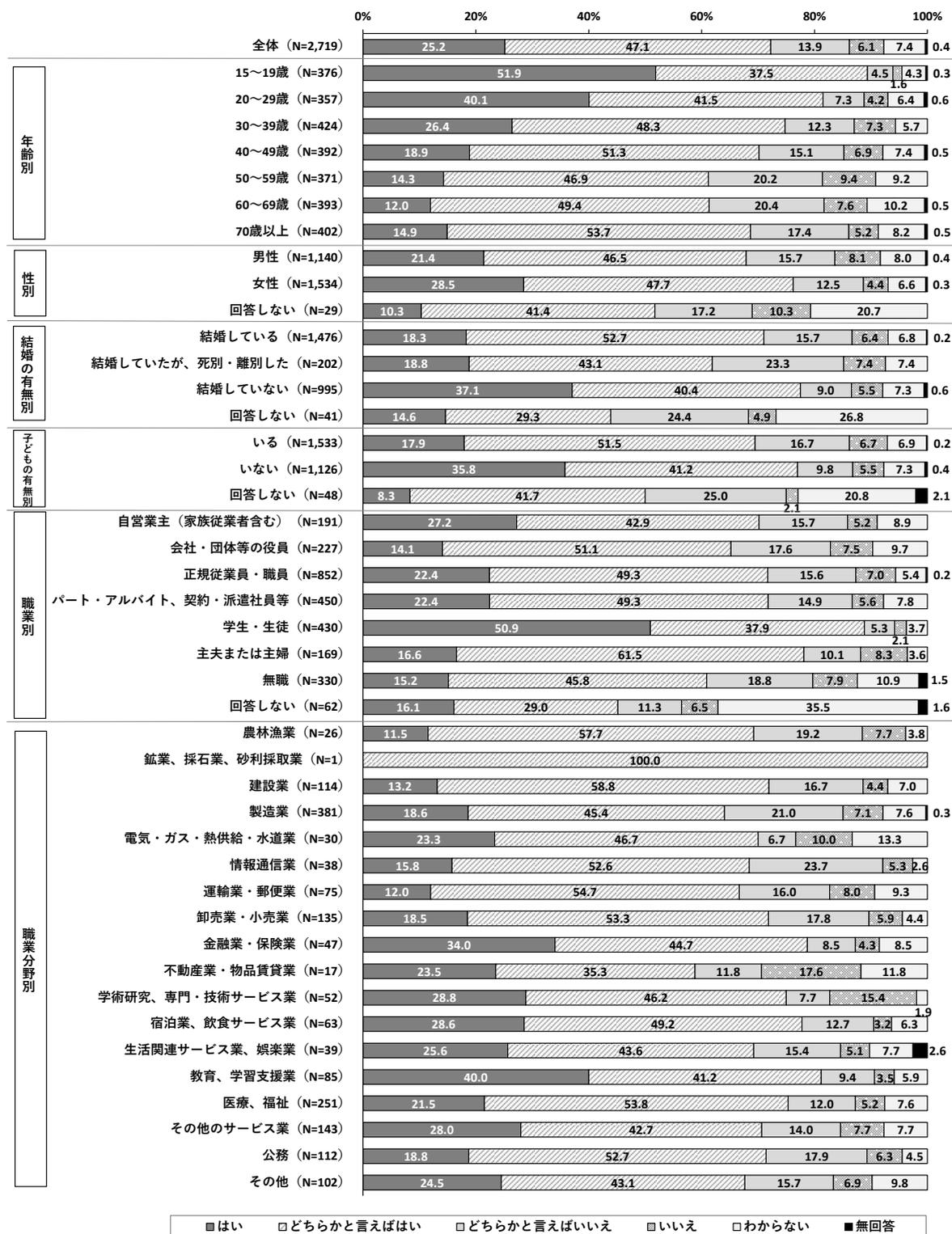
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 88.8%と、他の職業と比べて高い。一方、「無職」では 61.0%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が 6 割を超えており、「教育、学習支援業」では『はい』が 81.2%と他と比べて高い。

図表 14-5 自分らしく、居心地良くいられる場所が十分にある



問 14-⑥ 自分の考えや意見を伝えたり、自由に表現したりすることができる機会が十分にある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 58.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 30.1%と、『はい』の方が 28.7 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 83.8%（うち「はい」は 42.6%）と、他と比べて高い。一方、50～69 歳では『はい』が 4 割台と、他の年代と比べて低い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 61.4%と、「男性」よりも 5.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 67.6%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 67.4%と、「いる」よりも 14.1 ポイント高い。

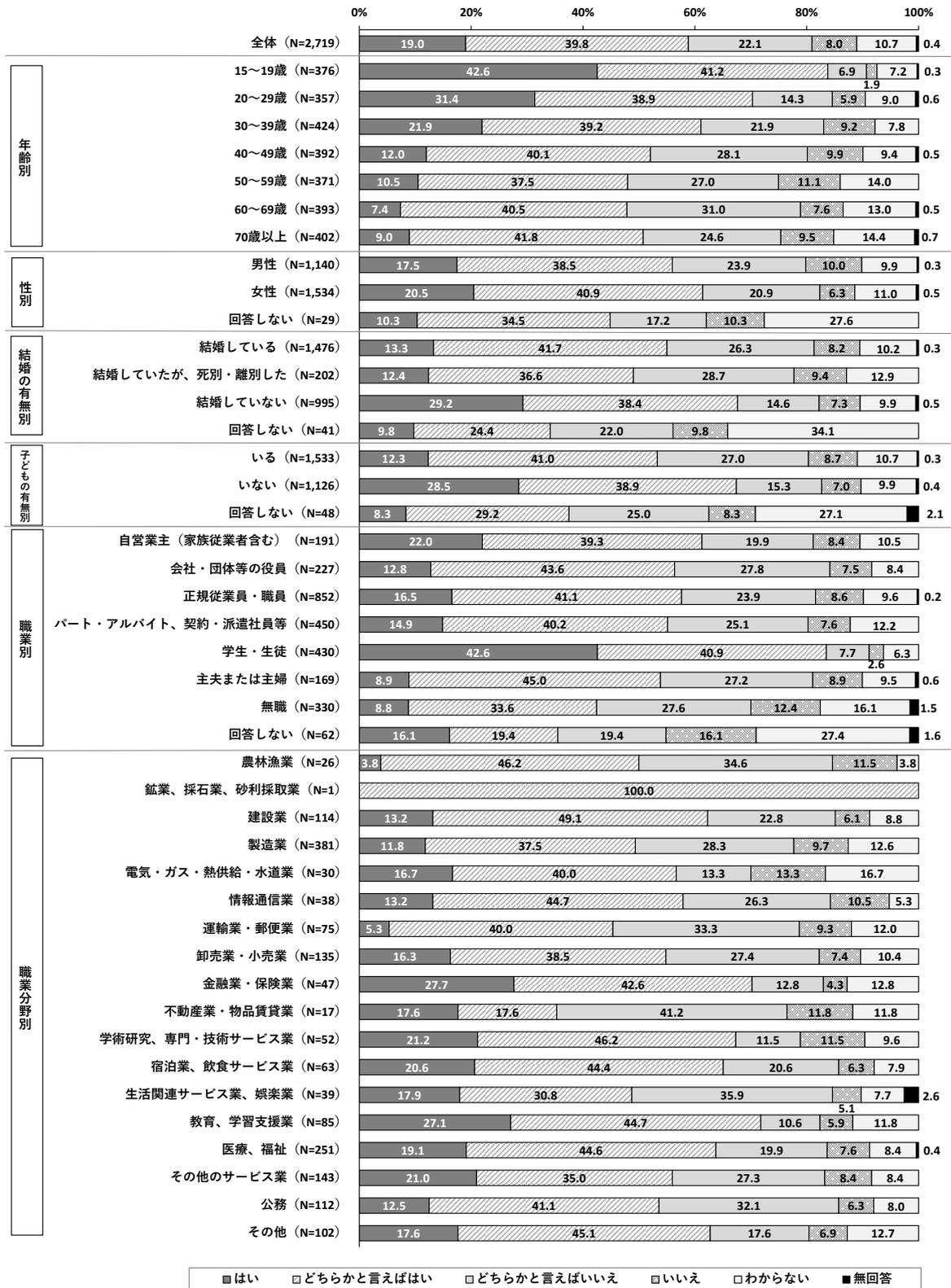
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 83.5%（うち「はい」は 42.6%）と、他の職業と比べて高い。一方、「無職」では『はい』が 42.4%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」「教育、学習支援業」では『はい』が 7 割台と、他の職業分野と比べて高い。一方、「製造業」「運輸業・郵便業」「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が 4 割台と、他の職業分野と比べて低い。

図表 14-6 自分の考えや意見を伝えたり、自由に表現したりすることができる機会が十分にある。



問 14-⑦ ストレスや緊張、悩みや苦しさ、孤独などネガティブな気持ちを感じる
ことが多くある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 51.3%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 42.8%と、『はい』の方が 8.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

「20～29 歳」では『はい』が 61.9%と、他の年代と比べて高い。一方、60 歳以上では、『いいえ』が 5 割台と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 53.2%と、「男性」よりも 5.0 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 58.4%（うち「はい」は 25.5%）と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 58.1%と、「いる」よりも 11.5 ポイント高い。

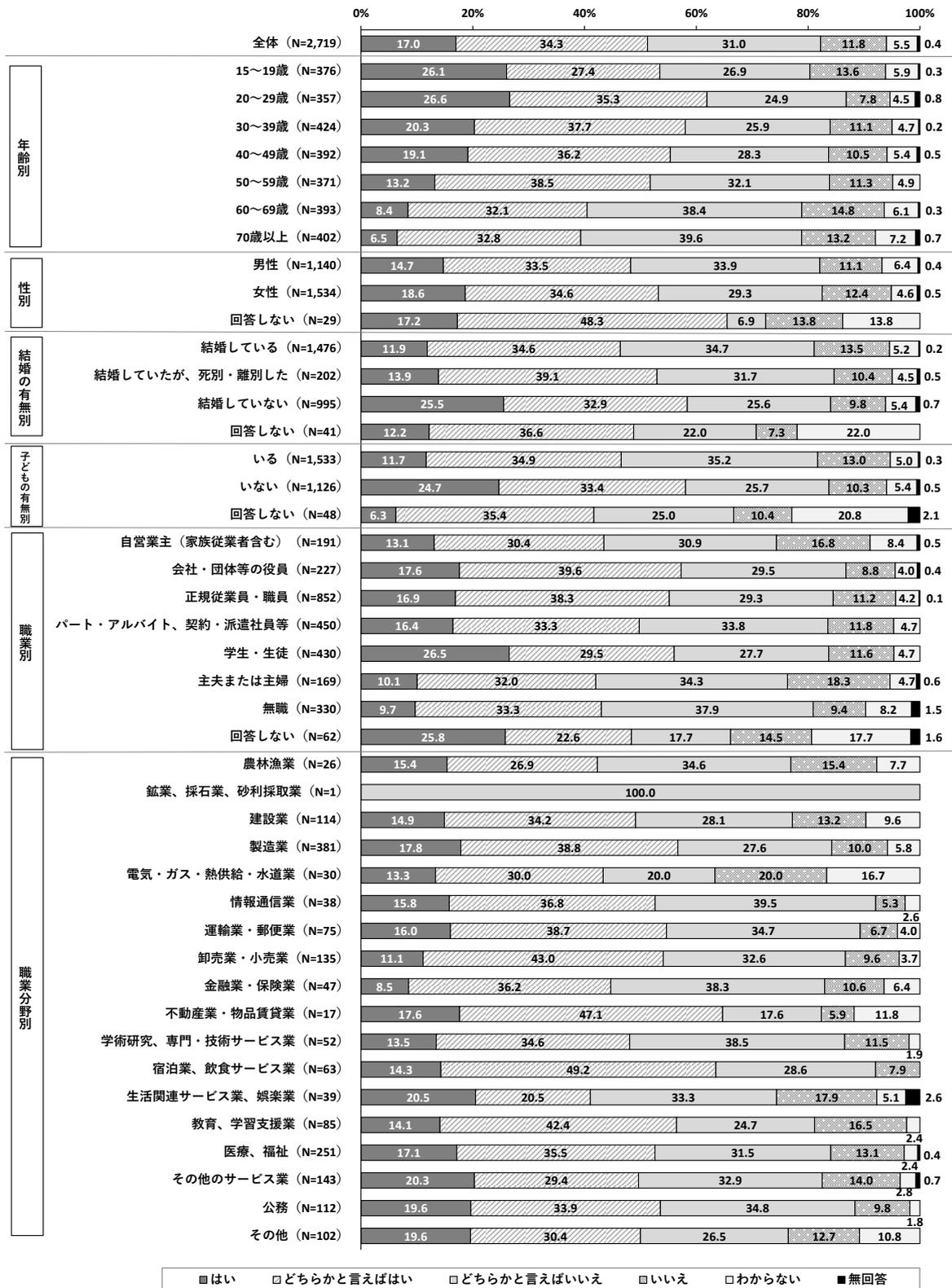
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」「正規従業員・職員」では『はい』が 5 割台と、他と比べて高い。一方、「主夫または主婦」では『いいえ』が 52.6%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 63.5%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「生活関連サービス、娯楽業」では『はい』が 41.0%と、他の職業分野と比べて低い。

図表 14-7 ストレスや緊張、悩みや苦しさ、孤独などネガティブな気持ちを感じることも多くある。



問 14-⑧ 芸術・文化に関する活動を積極的に行っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 40.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 55.6%と、『いいえ』の方が 15.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」「20～29 歳」では『はい』が 5 割を超えている。一方、40 歳以上では『いいえ』が 6 割台と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 45.2%と、「男性」よりも 12.0 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 52.2%（うち「はい」は 24.3%）と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 51.4%（うち「はい」は 23.4%）と、「いる」よりも 19.4 ポイント高い。

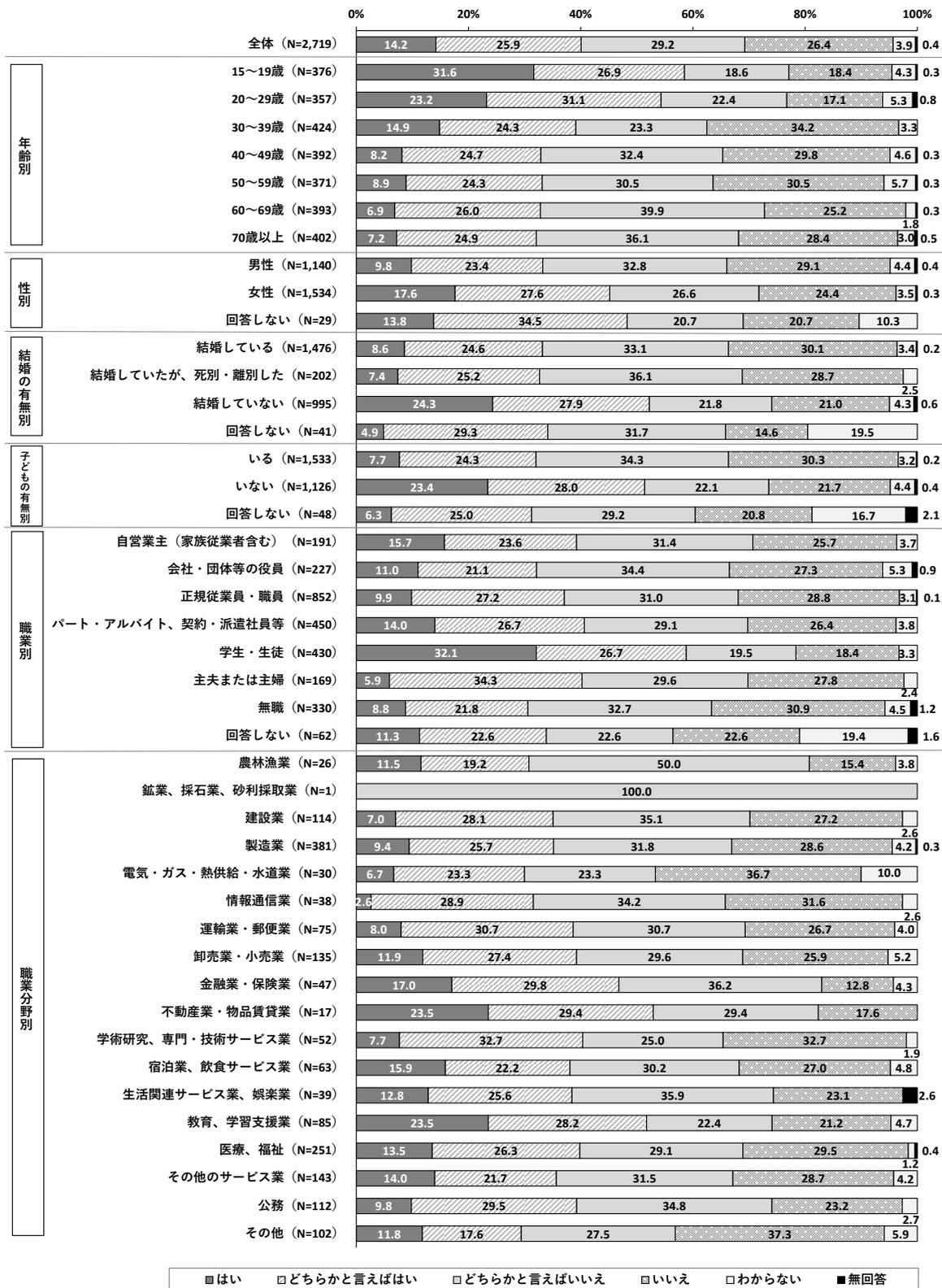
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 58.8%（うち「はい」は 32.1%）と、他の職業と比べて高い。一方、「学生・生徒」を除くすべての職業で『いいえ』が 5 割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 51.7%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「情報通信業」「その他」では『いいえ』が 6 割を超えている。

図表 14-8 芸術・文化に関する活動を積極的に行っている。



問 14-⑨ 自分や家族のため、お金に関する知識を得ることに努めている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 55.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 38.5%と、『はい』の方が 16.6 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 41.2%と、他の年代と比べて低い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 61.0%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 60.4%と、「いない」よりも 11.8 ポイント高い。

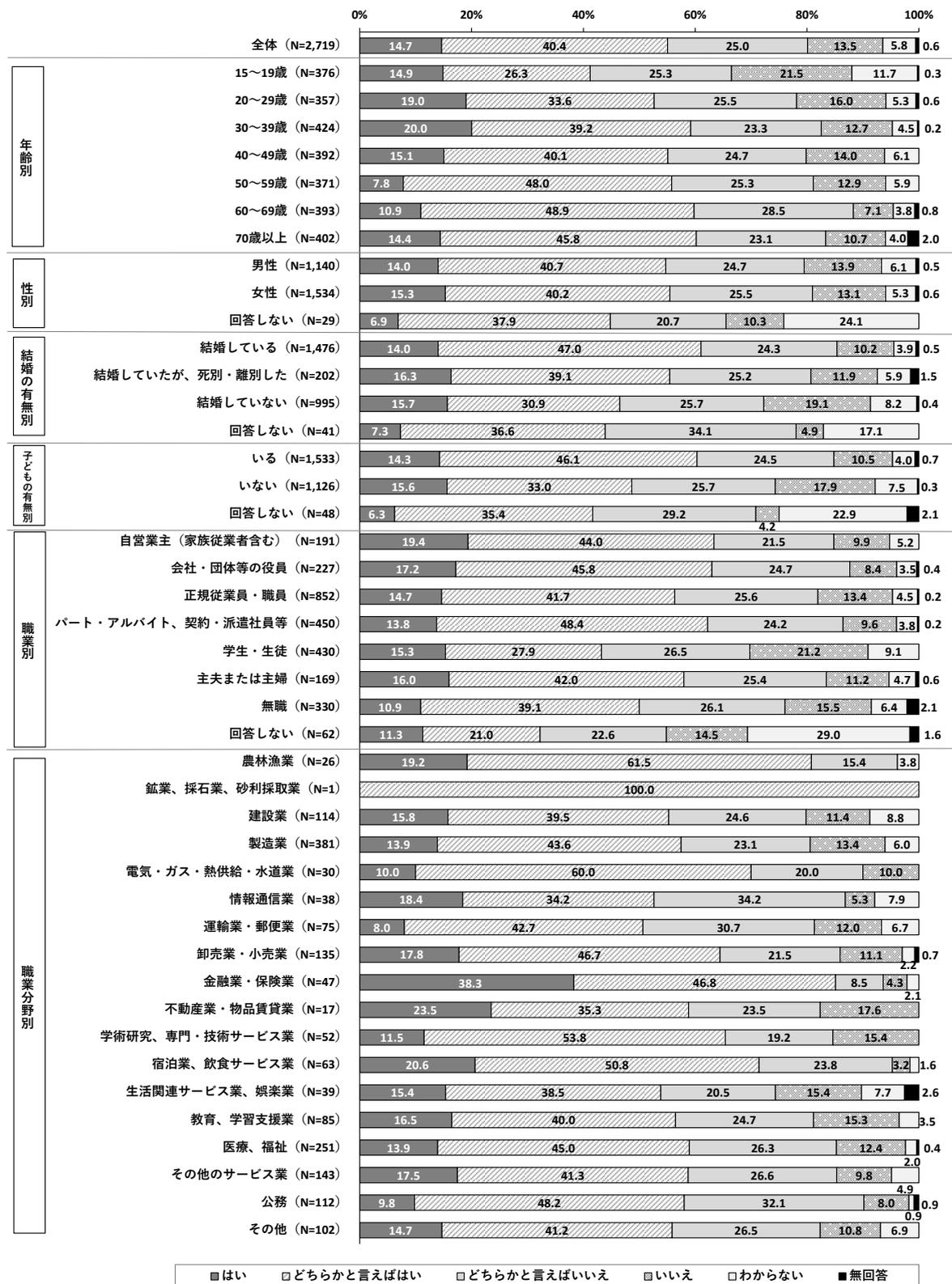
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 43.2%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が 85.1%（うち「はい」は 38.3%）と、他の職業分野と比べて高い。一方、「運輸業・郵便業」では『はい』が 50.7%と、他の職業分野と比べて低い。

図表 14-9 自分や家族のため、お金に関する知識を得ることに努めている。



問 14-⑩ 自分は周りの人や社会の役に立っていると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 48.2%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 32.2%と、『はい』の方が 16.0 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 4 割を超えている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では、『はい』が 39.6%と、他と比べて低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が 14.0%と、「いる」よりも 7.0 ポイント高い。

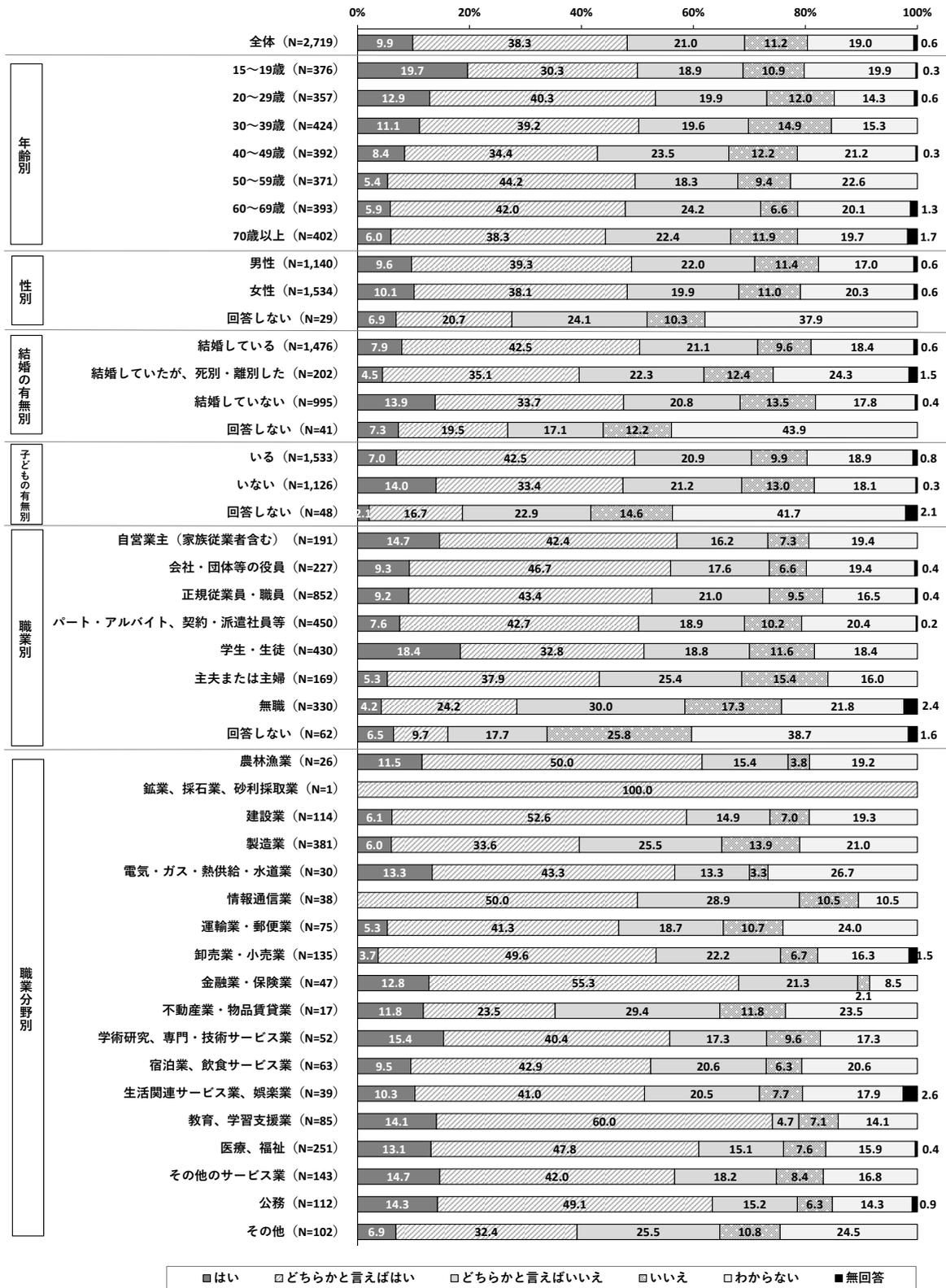
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『はい』が 57.1%と、他の職業と比べて高い。一方、「主夫または主婦」「無職」では『いいえ』が 4 割台と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 74.1%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「製造業」「その他」では『はい』が 4 割弱と、他の職業分野と比べて低い。

図表 14-10 自分は周りの人や社会の役に立っていると感じている。



問 14-⑪ お住まいの場所の近所や町内の人たちと共に協力し合い、支え合っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 45.3%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 36.0%と、『はい』の方が 9.3 ポイント高い。

(2) 年齢別

60 歳以上では『はい』が 5 割以上と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「男性」では『はい』が 47.2%と、「女性」よりも 3.1 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 36.3%と、他と比べて低く、『いいえ』が 41.5%と、『はい』を上回っている。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 52.3%と、「いない」よりも 15.5 ポイント高い。

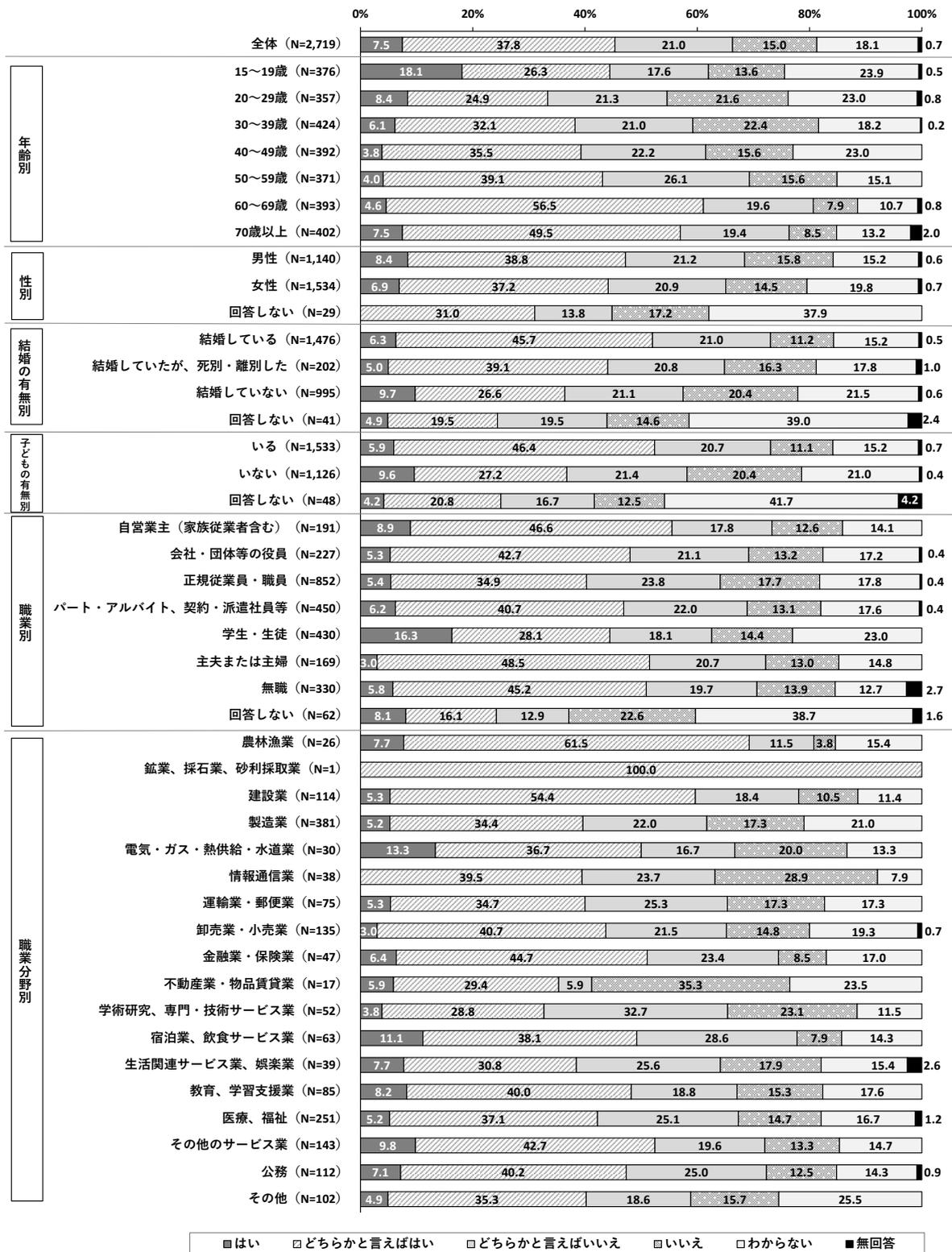
(5) - 1 職業別

すべての職業で『はい』が 4 割を超えている。「学生・生徒」では「はい」が 16.3%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「建設業」では『はい』が 59.7%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 32.6%と、他の職業分野と比べて低い。

図表 14-11 お住まいの場所の近所や町内の人たちと共に協力し合い、支え合っている。



問 14-⑫ ボランティアや地域での活動に自ら進んで参加している。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 25.7%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 69.3%と、『いいえ』の方が 43.6 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『いいえ』が 6 割を超えている。

(3) 性別

「男性」では『はい』が 29.8%と、「女性」よりも 6.9 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『いいえ』が 75.7%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『いいえ』が 72.8%と、「いる」よりも 5.7 ポイント高い。

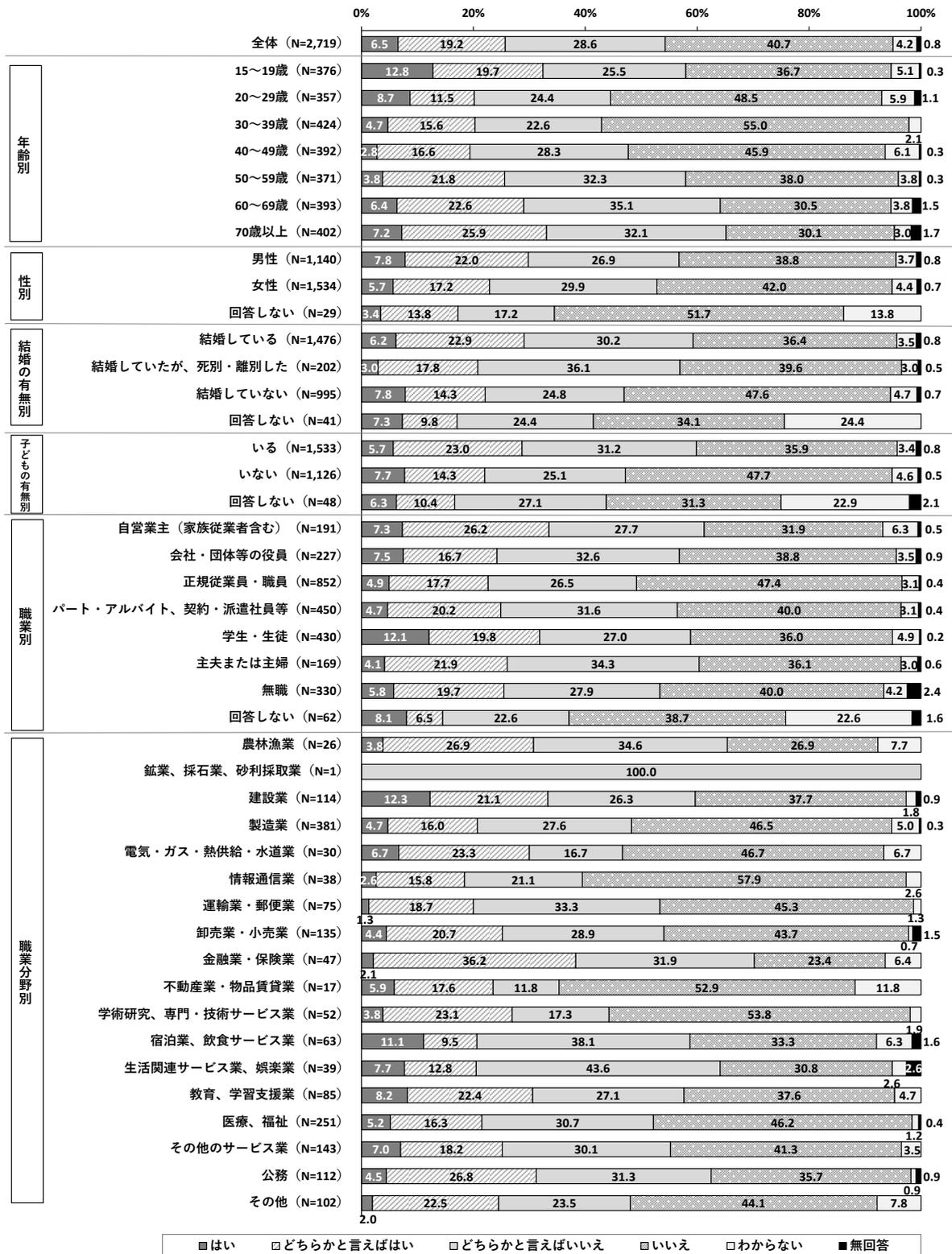
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」「学生・生徒」では『はい』が 3 割台と、他の職業と比べて高い。一方、「正規従業員・職員」では『いいえ』が 73.9%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が 38.3%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「情報通信業」では『いいえ』が 79.0%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-12 ボランティアや地域での活動に自ら進んで参加している。



問 14-⑬ 地域行事・イベント等、地域の活性化につながる活動に積極的に関わりたい。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 34.2%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 54.8%と、『いいえ』の方が 20.6 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 51.9%と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 26.8%と、他と比べて低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が 11.9%と、「いる」よりも 6.3 ポイント高い。

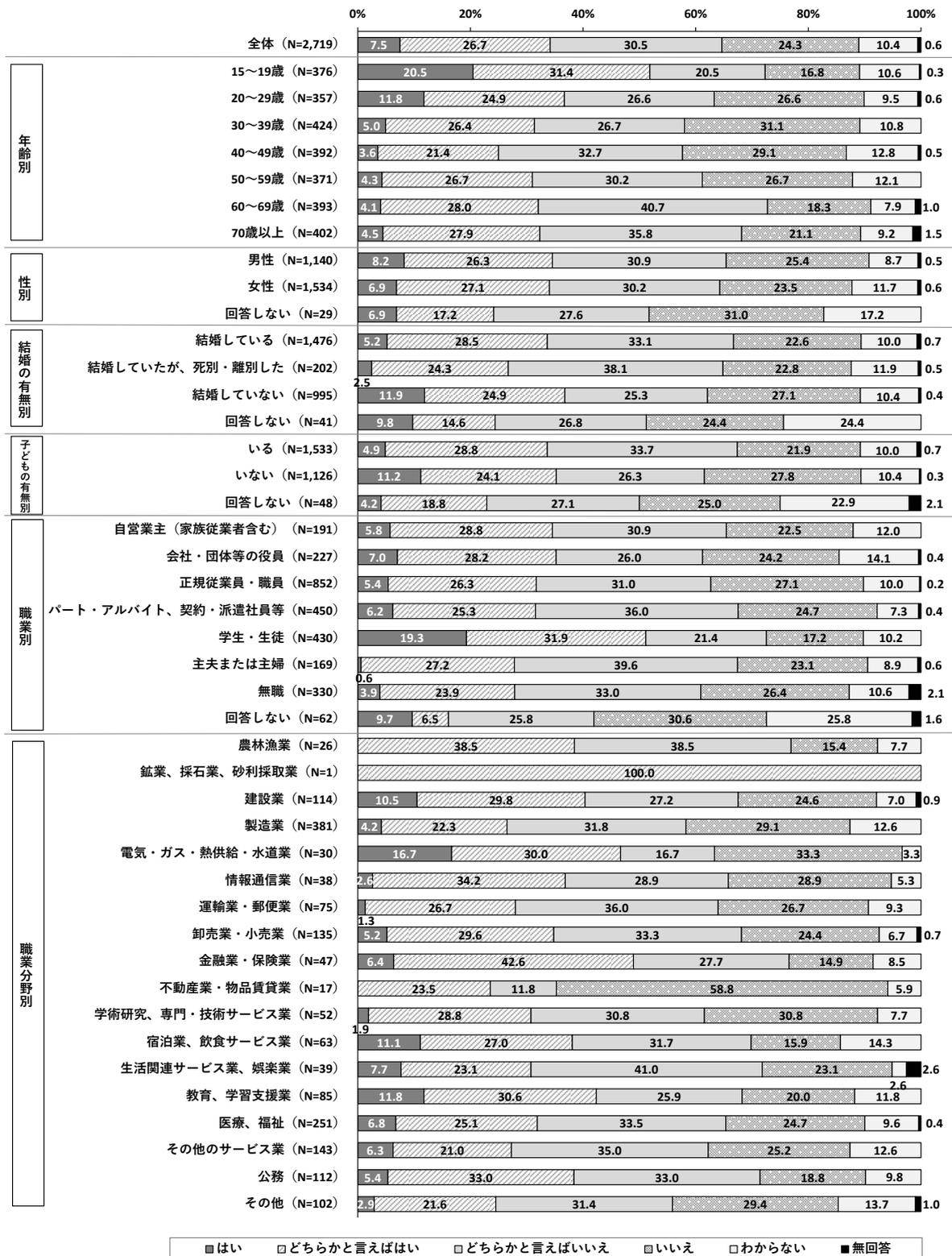
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 51.2%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が 49.0%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-13 地域行事・イベント等、地域の活性化につながる活動に積極的に関わりたい。



問 14-⑭ 住まいの周辺で、犯罪や事故発生に対する不安がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 31.5%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 60.1%と、『いいえ』の方が 28.6 ポイント高い。

(2) 年齢別

「30～39 歳」では『はい』が 38.2%と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 33.5%と、「男性」よりも 4.6 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 28.3%と、他と比べて低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 33.4%と、「いない」よりも 4.8 ポイント高い。

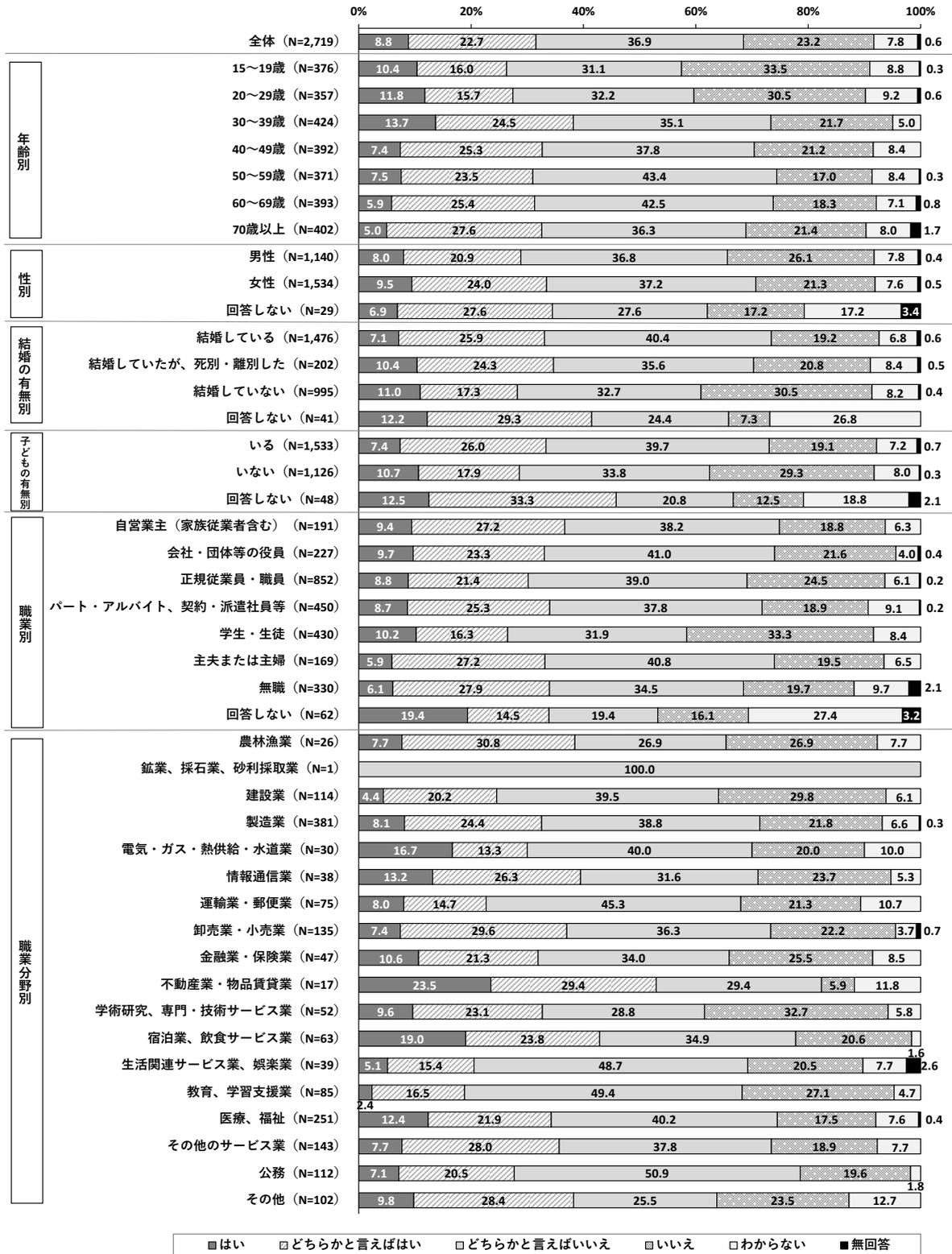
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 26.5%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 42.8%（うち「はい」は 19.0%）と、他の職業分野と比べて高い。一方、「教育、学習支援業」では『いいえ』が 76.5%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-14 住まいの周辺で、犯罪や事故発生に対する不安がある。



問 14-⑮ 自身の家庭において災害への備えをしている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 41.3%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 54.7%と、『いいえ』の方が 13.4 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 4 割前後と、『いいえ』を下回っている。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 42.5%と、「男性」よりも 2.9 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 37.6%と、他と比べて低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもの有無で大きな差は見られない。

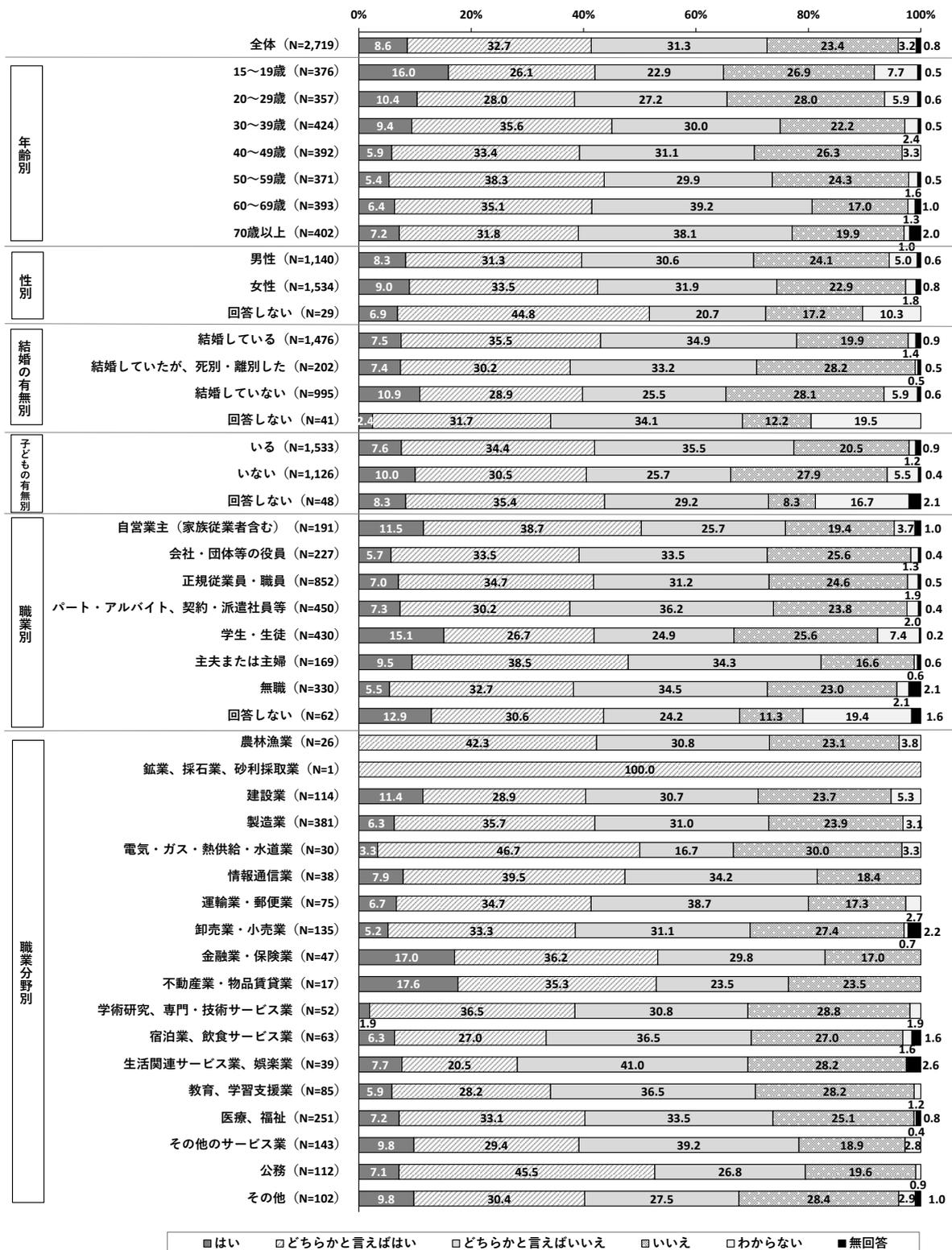
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『はい』が 50.2%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」「公務」では『はい』が 5 割台と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-15 自身の家庭において災害への備えをしている。



問 14-⑩ デジタル化の進展により、自分の暮らしが便利で豊かになったと感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 60.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 27.6%と、『はい』の方が 32.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

年代が低くなるにつれ『はい』が高くなる傾向にあり、「15～19 歳」では『はい』が 77.6%と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 70.0%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」で『はい』が 68.3%と、「いる」よりも 13.5 ポイント高い。

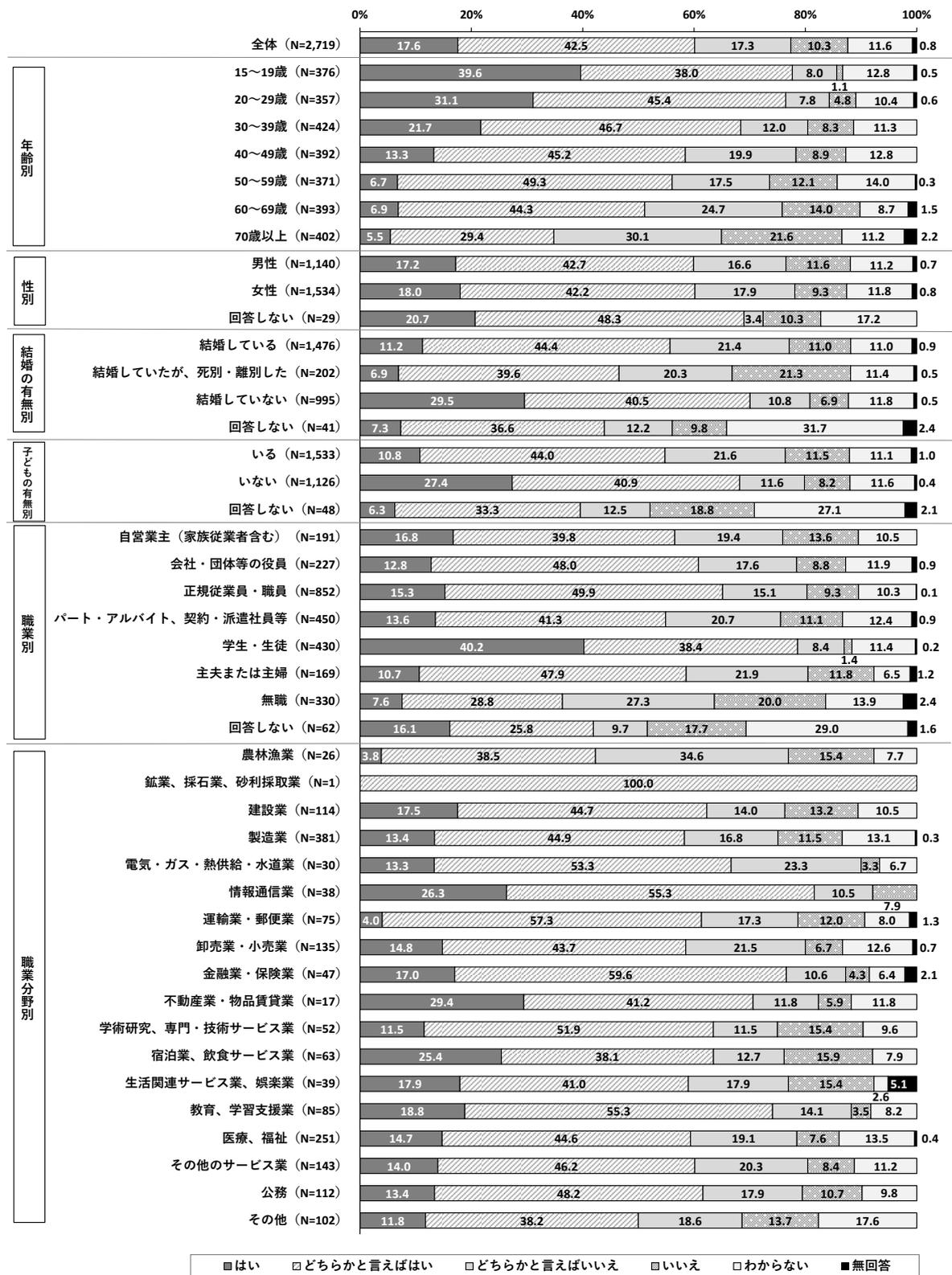
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 78.6%（うち「はい」は 40.2%）と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」では『はい』が 81.6%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-16 デジタル化の進展により、自分の暮らしが便利で豊かになったと感じている。



問 14-⑰ 富山県内における自家用車での移動に不安・不満がない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 64.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 27.8%と、『はい』の方が 36.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 6 割を超えている。

(3) 性別

「男性」では『はい』が 68.2%と、「女性」よりも 5.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 66.6%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が 26.2%と、「いる」よりも 6.9 ポイント高い。

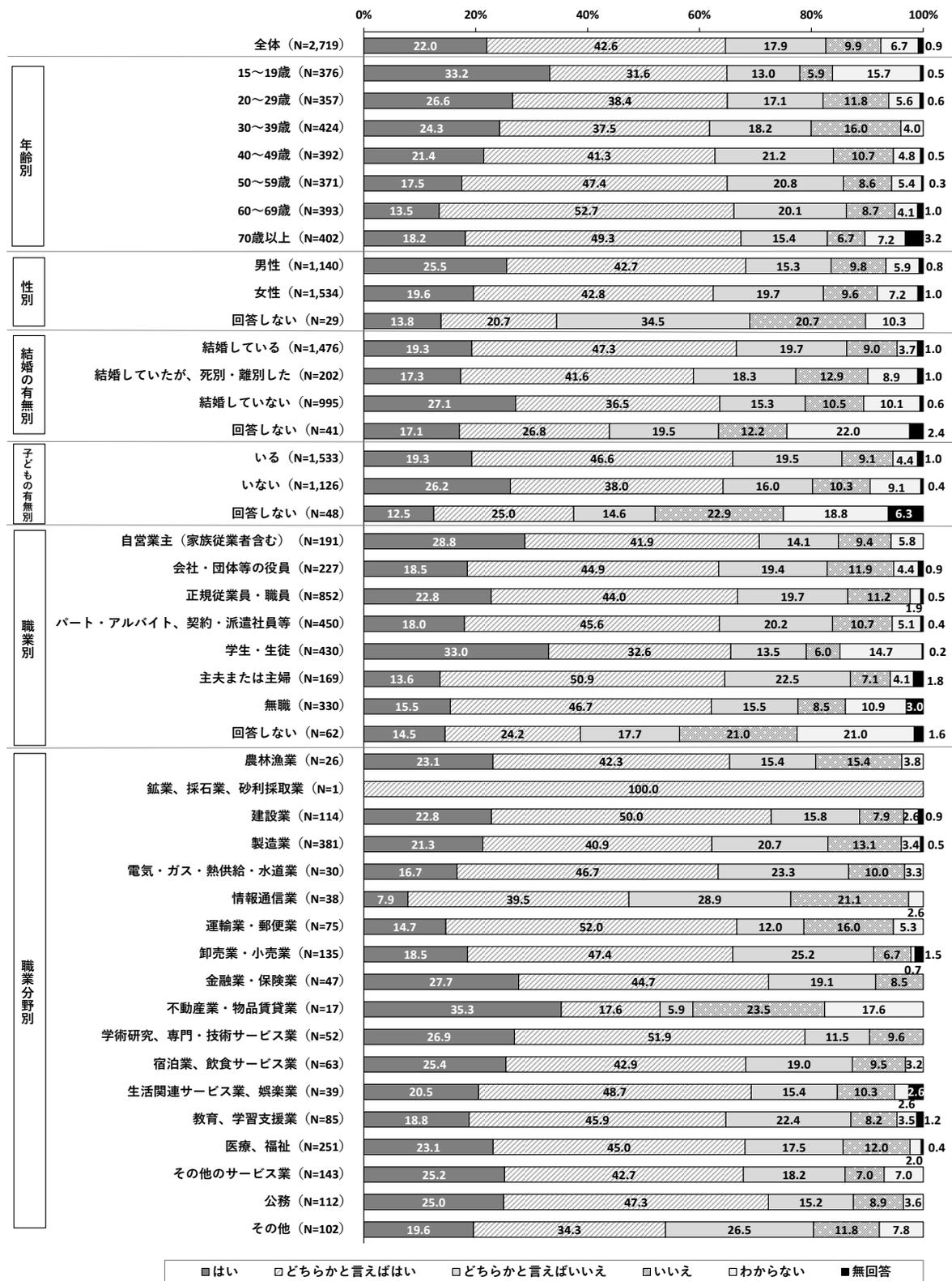
(5) - 1 職業別

すべての職業で『はい』が 6 割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」「その他」を除くすべての職業分野で『はい』が 6 割を超えている。特に、「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 78.8%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-17 富山県内における自家用車での移動に不安・不満がない。



問 14-⑩ 富山県内における自家用車以外での移動は快適・便利である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 22.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 67.4%と、『いいえ』の方が 45.3 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 38.5%と、他の年代と比べて高い。一方、20 歳以上では『いいえ』が 6 割を超えている。

(3) 性別

「女性」では『いいえ』が 69.6%と、「男性」よりも 5.3 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 28.5%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 27.3%と、「いる」よりも 8.9 ポイント高い。

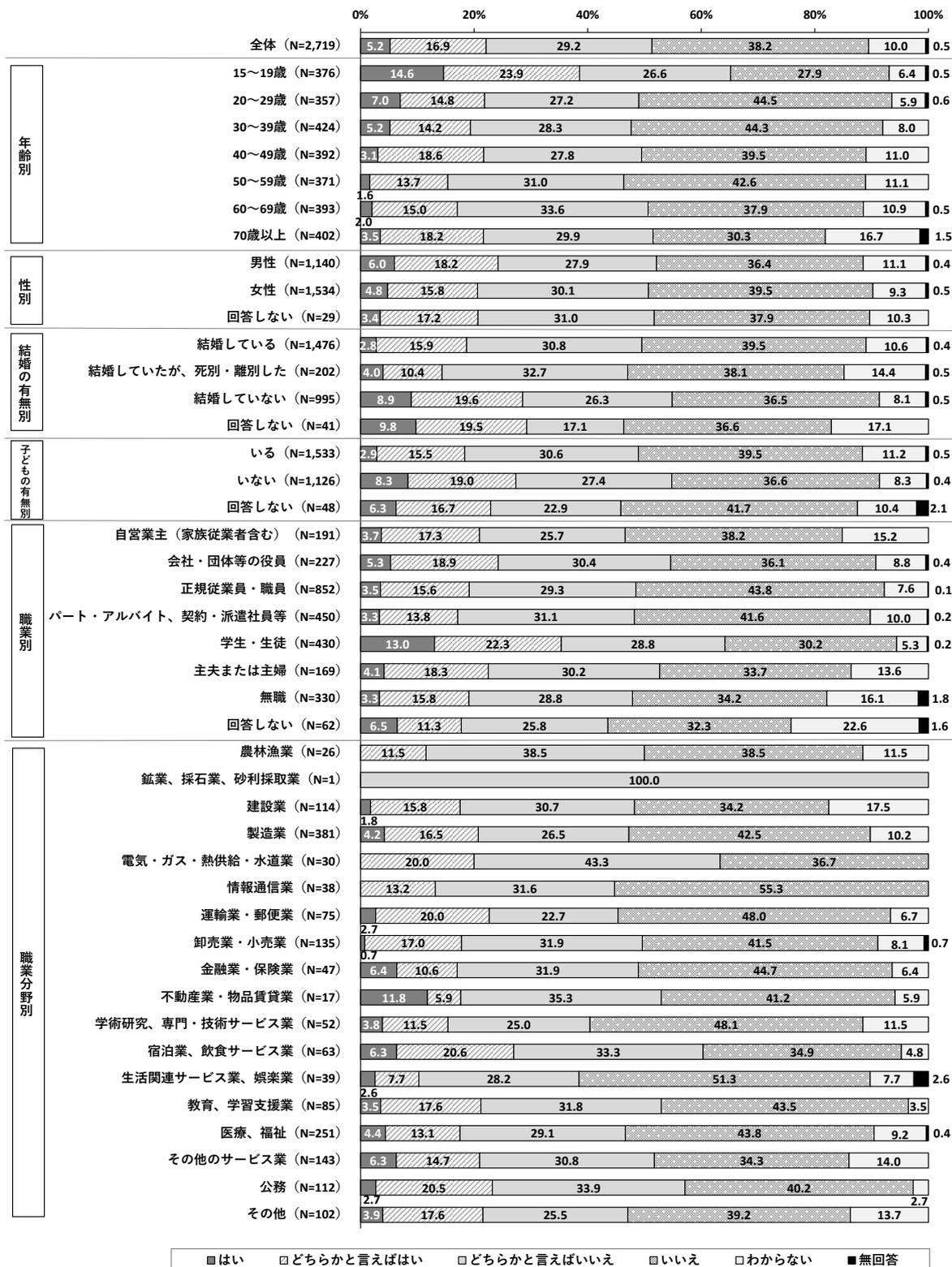
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」を除くすべての職業で『いいえ』が 6 割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『いいえ』が 6 割を超えており、「情報通信業」では『いいえ』が 86.9%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-18 富山県内における自家用車以外での移動は快適・便利である。



問 14-⑱ 趣味や娯楽、ファッション、学びなどに関する買い物に不安や不便がない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 49.9%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 42.8%と、『はい』の方が 7.1 ポイント高い。

(2) 年齢別

「30～39 歳」では『はい』が 45.3 と、他の年代と比べて低い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 45.0%と、他と比べて低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が 16.6%と、子どもが「いる」よりも 7.1 ポイント高い。

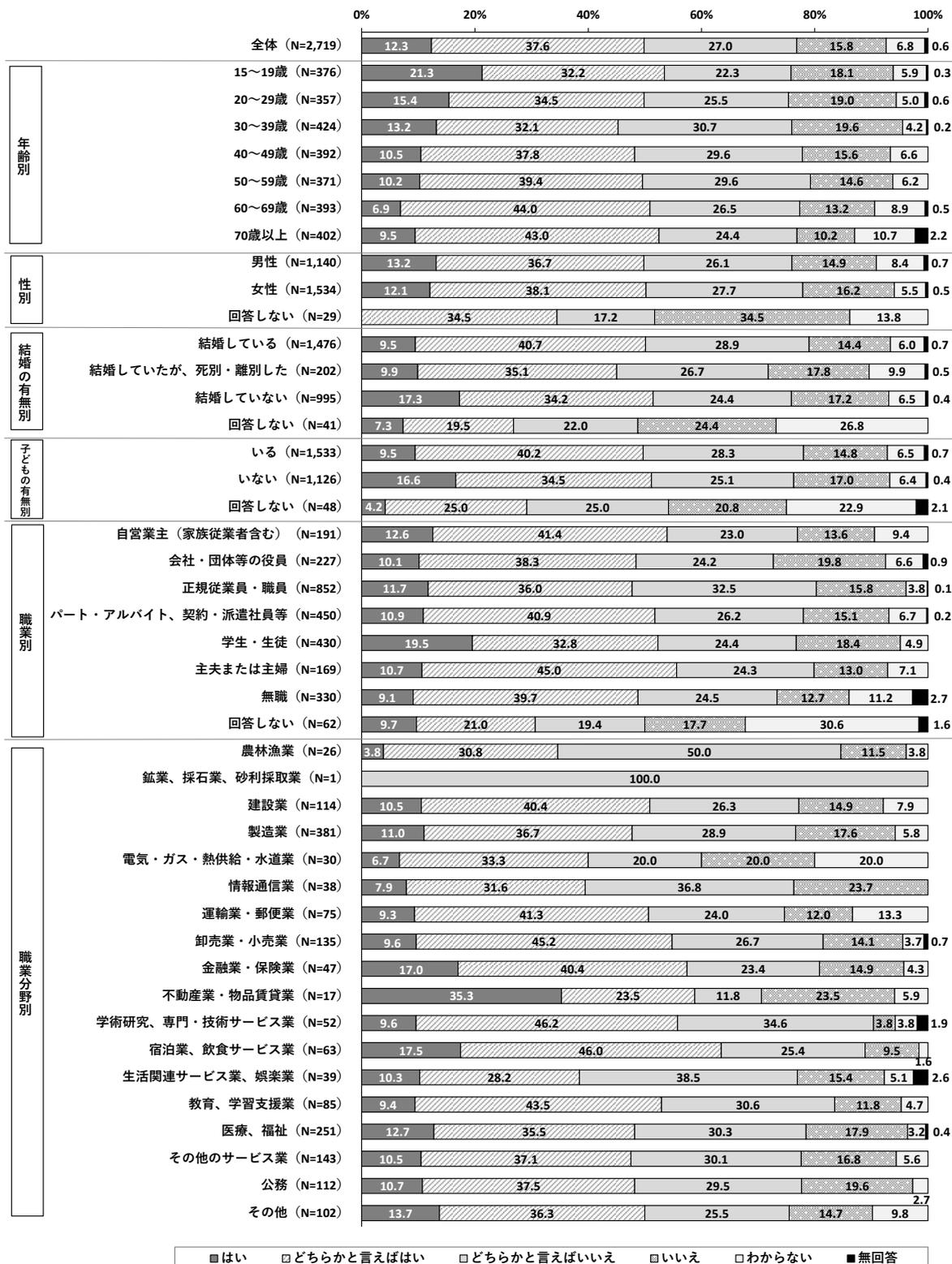
(5) - 1 職業別

すべての職業で『はい』が 4 割を超えている。「学生・生徒」では「はい」が 19.5%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 63.5%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「情報通信業」では『いいえ』が 60.5%と他の職業分野と比べて高い。

図表 14-19 趣味や娯楽、ファッション、学びなどに関する買い物に不安や不便がない。



問 14-⑳ 人口の減少により、県が提供する行政サービスの質が低下したと感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 31.4%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 36.0%、「わからない」が 32.0%となっている。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 3 割前後を占めている。「15～19 歳」では、「わからない」が 41.5%と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「男性」では『いいえ』が 38.6%と、「女性」よりも 4.2 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では、『はい』が 39.6%と、他と比べて高い。一方、「結婚していない」では「わからない」が 37.2%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『いいえ』が 39.4%と、「いない」よりも 7.2 ポイント高い。

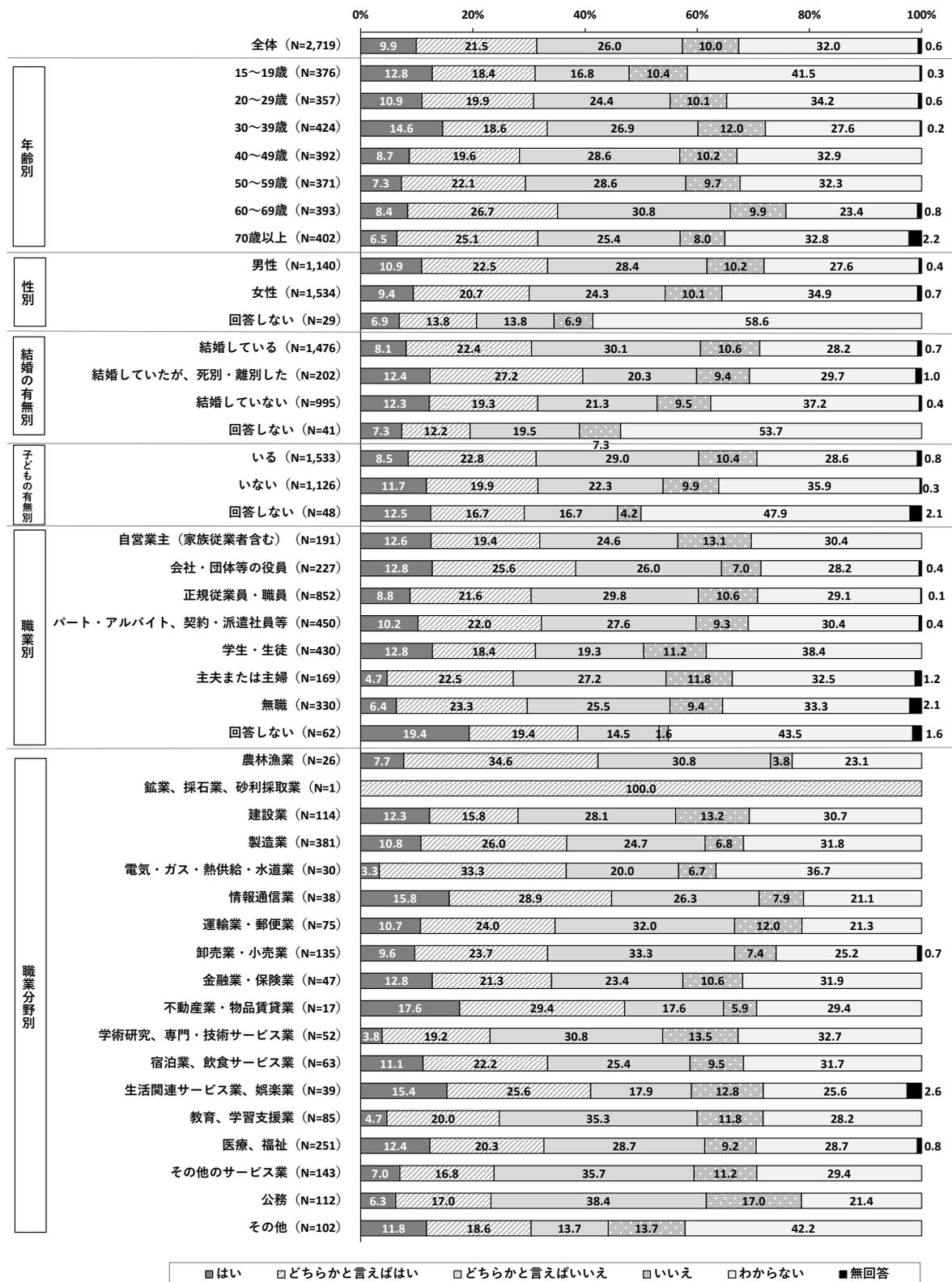
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」では『はい』が 38.4%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が 4 割台と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-20 人口の減少により、県が提供する行政サービスの質が低下したと感じている。



はい
 どちらかと言えばはい
 どちらかと言えいいえ
 いいえ
 わからない
 無回答

問 14-㉑ スポーツに親しんだり、楽しんだりすることができている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 39.7%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 53.6%と、『いいえ』の方が 13.9 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 70.5%と、他の年代と比べて高い

(3) 性別

「男性」では『はい』が 46.1%と、「女性」よりも 11.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 48.6%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 47.1%と、「いる」よりも 12.4 ポイント高い。

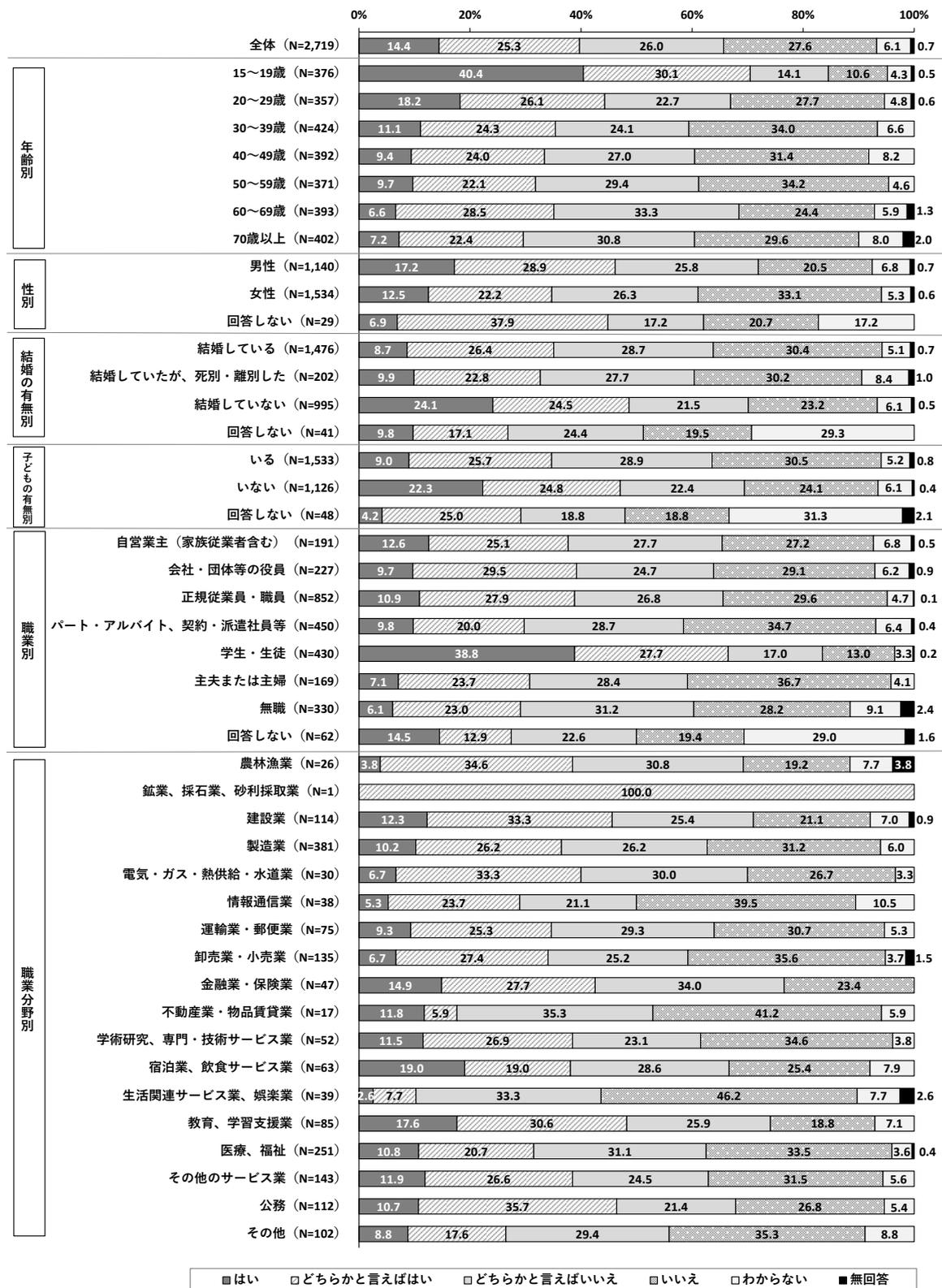
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 66.5%（うち「はい」は 38.8%）と、他の職業と比べて高い。一方、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」「主夫または主婦」では『いいえ』が 6 割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「建設業」「金融業・保険業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が 4 割を超えている。一方、「生活関連サービス業、娯楽業」では『いいえ』が 79.5%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-21 スポーツに親しんだり、楽しんだりすることができる。



はい
 どちらかと言えばはい
 どちらかと言えばいいえ
 いいえ
 わからない
 無回答

問 14-② 富山県の自然や文化に触れ合う機会が多くある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 46.9%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 45.3%と、『はい』の方が若干高い。

(2) 年齢別

年代が低くなるにつれ『はい』が高くなる傾向にあり、「15～19 歳」では『はい』が 6 割を超えている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 53.5%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 52.5%と、「いる」よりも 9.2 ポイント高い。

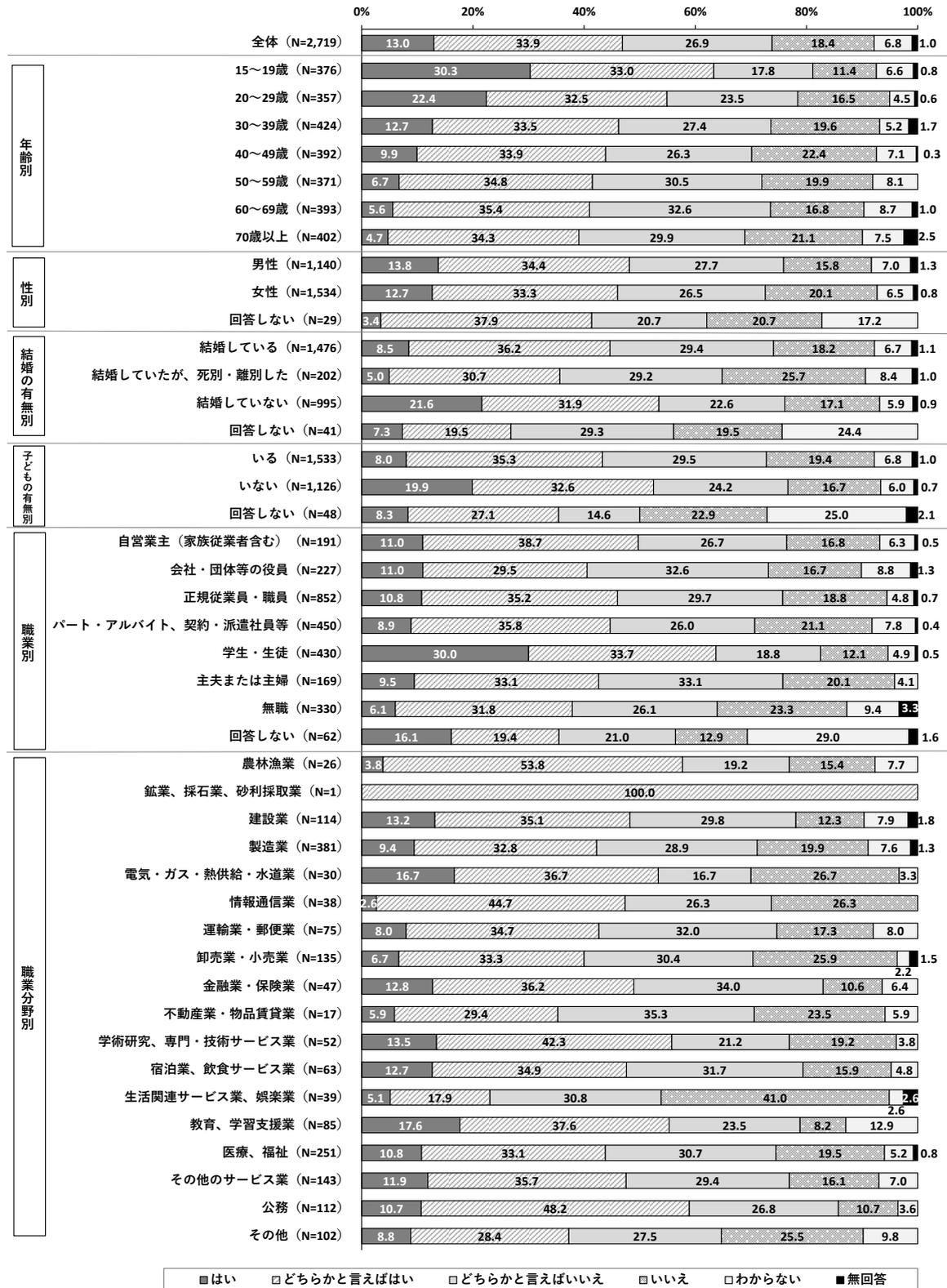
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 63.7%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が 5 割台と、他の職業分野と比べて高い。一方、「生活関連サービス業、娯楽業」では『いいえ』が 71.8%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-22 富山県の自然や文化に触れ合う機会が多くある。



問 14-②③ 食材の購入または外食の際は、意識して富山県産のものを選んでいる。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 40.4%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 47.7%と、『いいえ』の方が 7.3 ポイント高い。

(2) 年齢別

「50～59 歳」「70 歳以上」では『はい』が 5 割を超えている。一方、15～49 歳では『はい』が 3 割台と、他の年代と比べて低い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 44.9%と、「男性」よりも 10.3 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 31.7%と、他と比べて低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 46.0%と、「いない」よりも 12.5 ポイント高い。

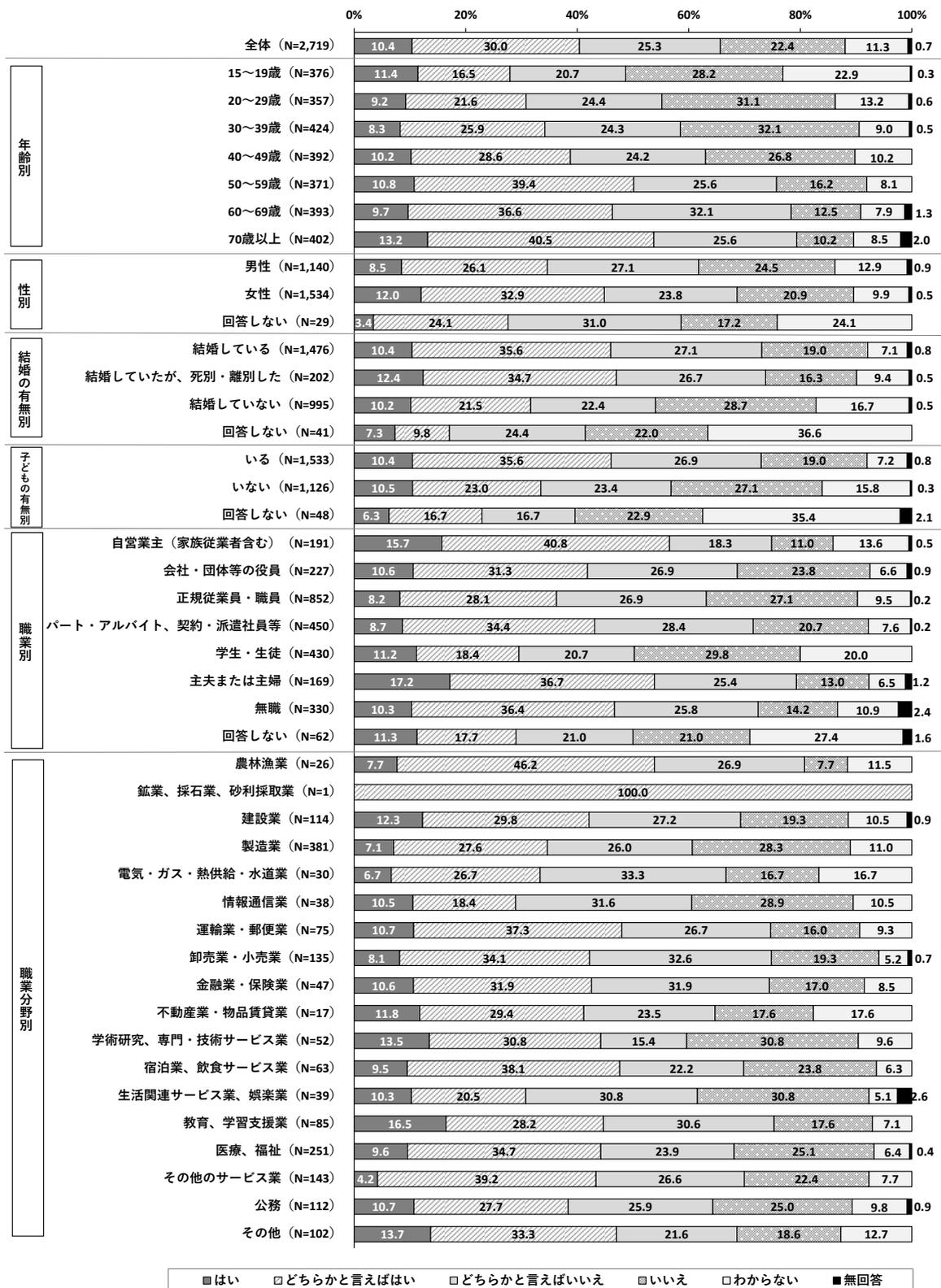
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」「主夫または主婦」では『はい』が 5 割台と、他の職業と比べて高い。一方、「学生・生徒」では『はい』が 29.6%と、他の職業分野と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「建設業」「情報通信業」「生活関連サービス業、娯楽業」「公務」を除くすべての職業分野で、『はい』が 4 割を超えている。

図表 14-23 食材の購入または外食の際は、意識して富山県産のものを選んでいる。



はい
 どちらかと言えば
 どちらかと言えいいえ
 いいえ
 わからない
 無回答

問 14-⑳ 富山県のお米やお酒、魚などの県産品は、県外に自慢できる魅力的なものだと思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 89.0%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 5.1%と、『はい』の方が 83.9 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 8 割を超え、うち「はい」が 4 割以上を占めている。

(3) 性別

「女性」では「はい」が 51.3%と、「男性」よりも 7.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では「はい」が 51.8%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では「はい」が 51.6%と、「いる」よりも 5.4 ポイント高い。

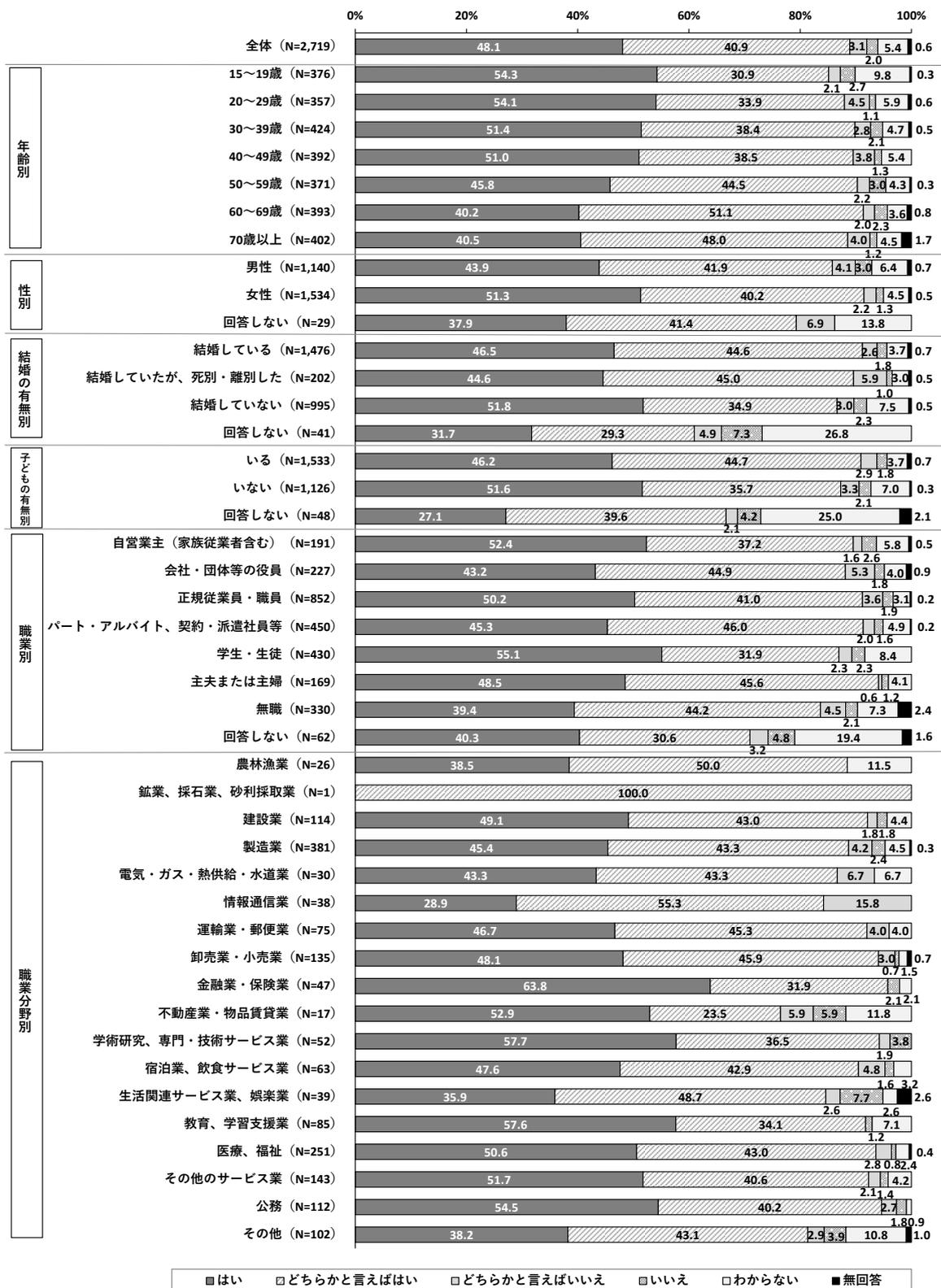
(5) - 1 職業別

「無職」を除くすべての職業で「はい」が 4 割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」では「はい」が 28.9%と、他の職業分野と比べて低く、「金融業・保険業」では「はい」が 63.8%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-24 富山県のお米やお酒、魚などの県産品は、県外に自慢できる魅力的なものだと思う。



問 14-⑳ 富山県には、家族や友人等と楽しく過ごすことができる場所やイベントなどの機会が十分にある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 37.1%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 48.5%と、『いいえ』の方が 11.4 ポイント高い。

(2) 年齢別

15～69 歳では年代が高くなるにつれ『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 41.1%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 40.2%と、「いる」よりも 4.6 ポイント高い。

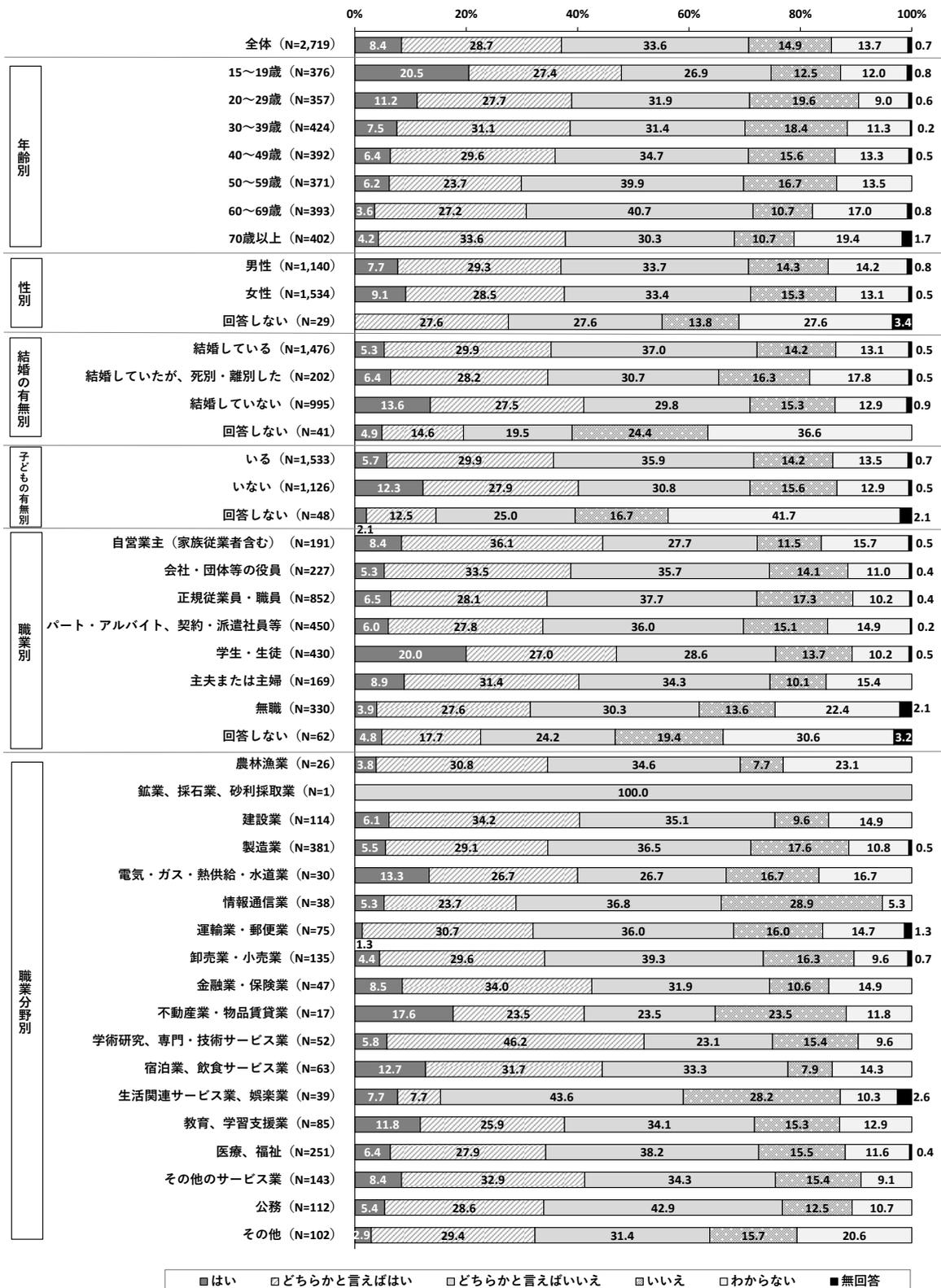
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」「学生・生徒」「主夫または主婦」では『はい』が 4 割台と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 52.0%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「生活関連サービス業、娯楽業」では『いいえ』が 71.8%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-25 富山県には、家族や友人等と楽しく過ごすことができる場所やイベントなどの機会が十分にある。



問 14-⑳ 県内企業の活動や県内経済の発展に期待感を持っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が43.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が36.6%と、『はい』の方が7.0ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が3割以上を占めている。特に、「70歳以上」では『はい』が52.5%と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が45.5%と、「男性」よりも4.1ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が39.6%と、他と比べて低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が44.6%と、「いない」よりも若干高い。

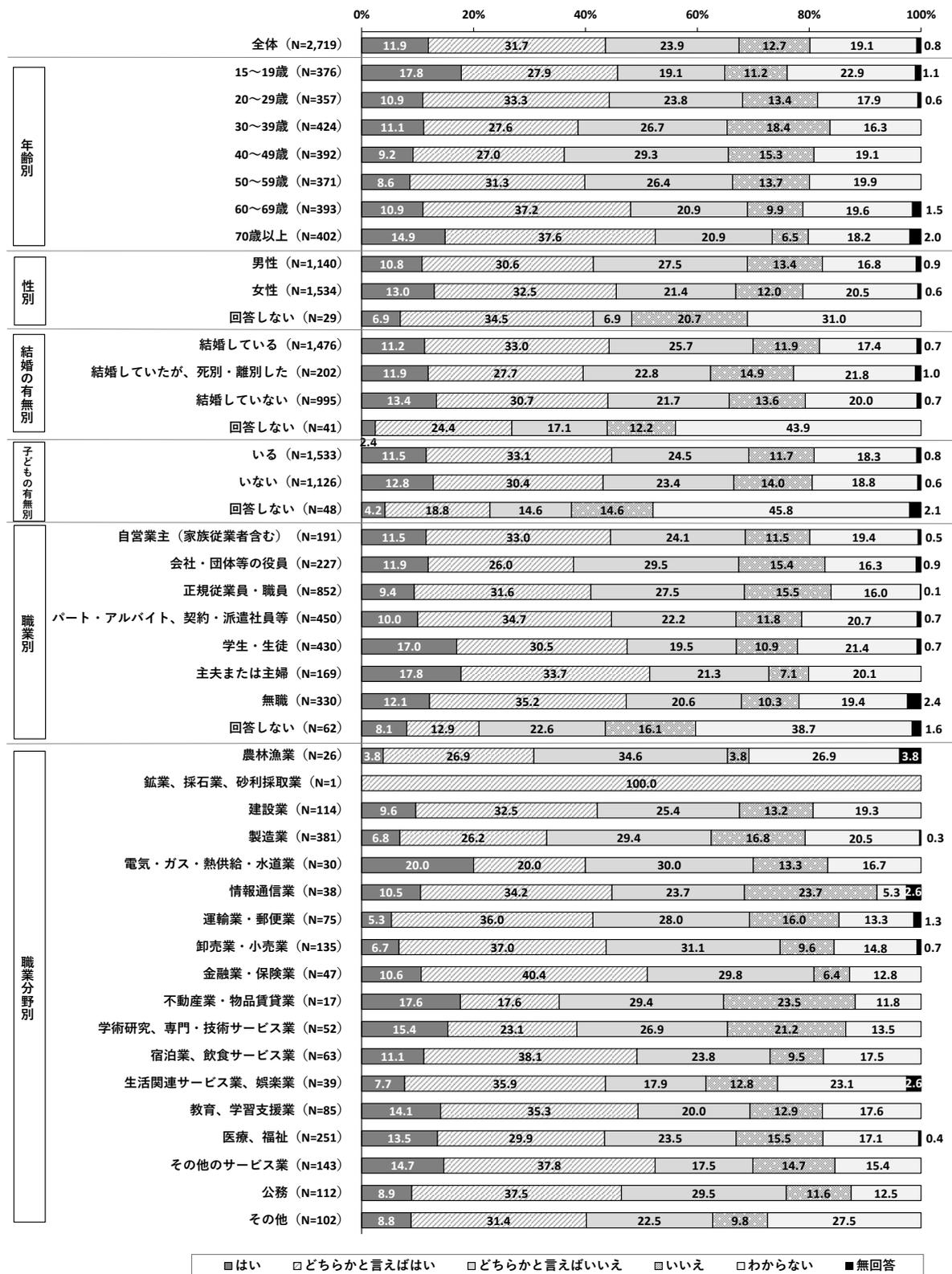
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」を除くすべての職業で『はい』が4割を超えている。特に、「主夫または主婦」では『はい』が51.5%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「製造業」「学術研究、専門・技術サービス業」を除くすべての職業分野で『はい』が4割を超えている。

図表 14-26 県内企業の活動や県内経済の発展に期待感を持っている。



問 14-②⑦ 住居を探すとき、新築一戸建てや賃貸アパート、分譲マンションだけでなく、中古住宅や空き家をフルリノベーションした住宅など、選択肢の広がりを感ずる。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 38.2%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 25.4%、「わからない」が 35.7%となっている。

(2) 年齢別

「60～69 歳」では『はい』が 43.8%と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 40.6%と、「男性」よりも 5.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 41.6%と、他と比べて高い。一方、「結婚していない」では「わからない」が 42.6%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 41.1%と、「いない」よりも 6.0 ポイント高い。一方、子どもが「いない」では「わからない」が 40.9%と、子どもが「いる」よりも 9.8 ポイント高い。

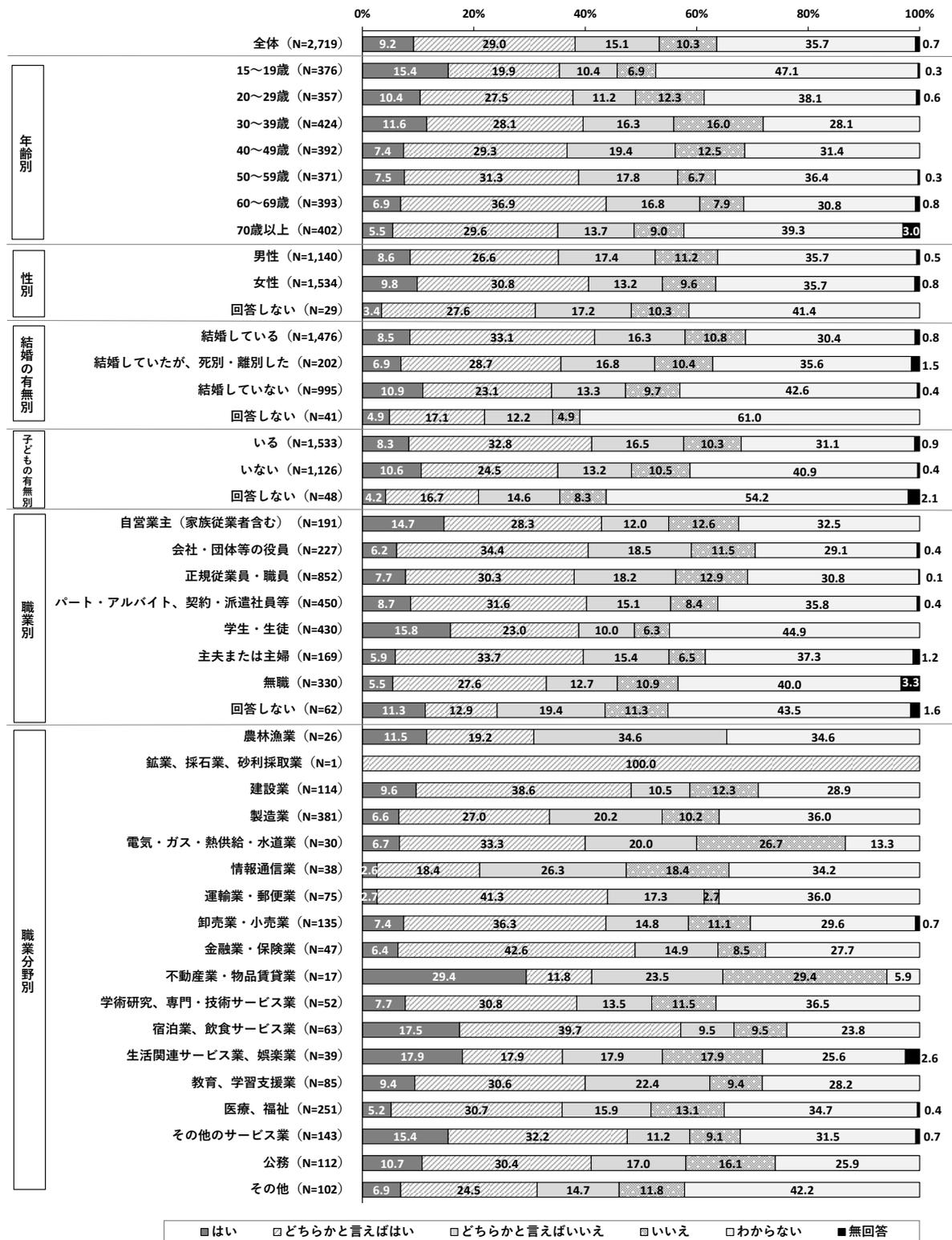
(5) - 1 職業別

「無職」では『はい』が 33.1%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 57.2%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「情報通信業」では『はい』が 21.0%と、他の職業分野と比べて低い。

図表 14-27 住居を探すとき、新築一戸建てや賃貸アパート、分譲マンションだけでなく、中古住宅や空き家をフルリノベーションした住宅など、選択肢の拡がりを感じる。



問 14-㉔ 農山漁村地域に行ってみたい、関わりを深めてみたいと思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 22.3%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 59.1%と、『いいえ』の方が 36.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

年代が高くなるにつれ『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

「女性」では『いいえ』が 60.0%と、「男性」よりも 2.1 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 28.0%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『いいえ』が 63.1%と、「いない」よりも 8.8 ポイント高い。

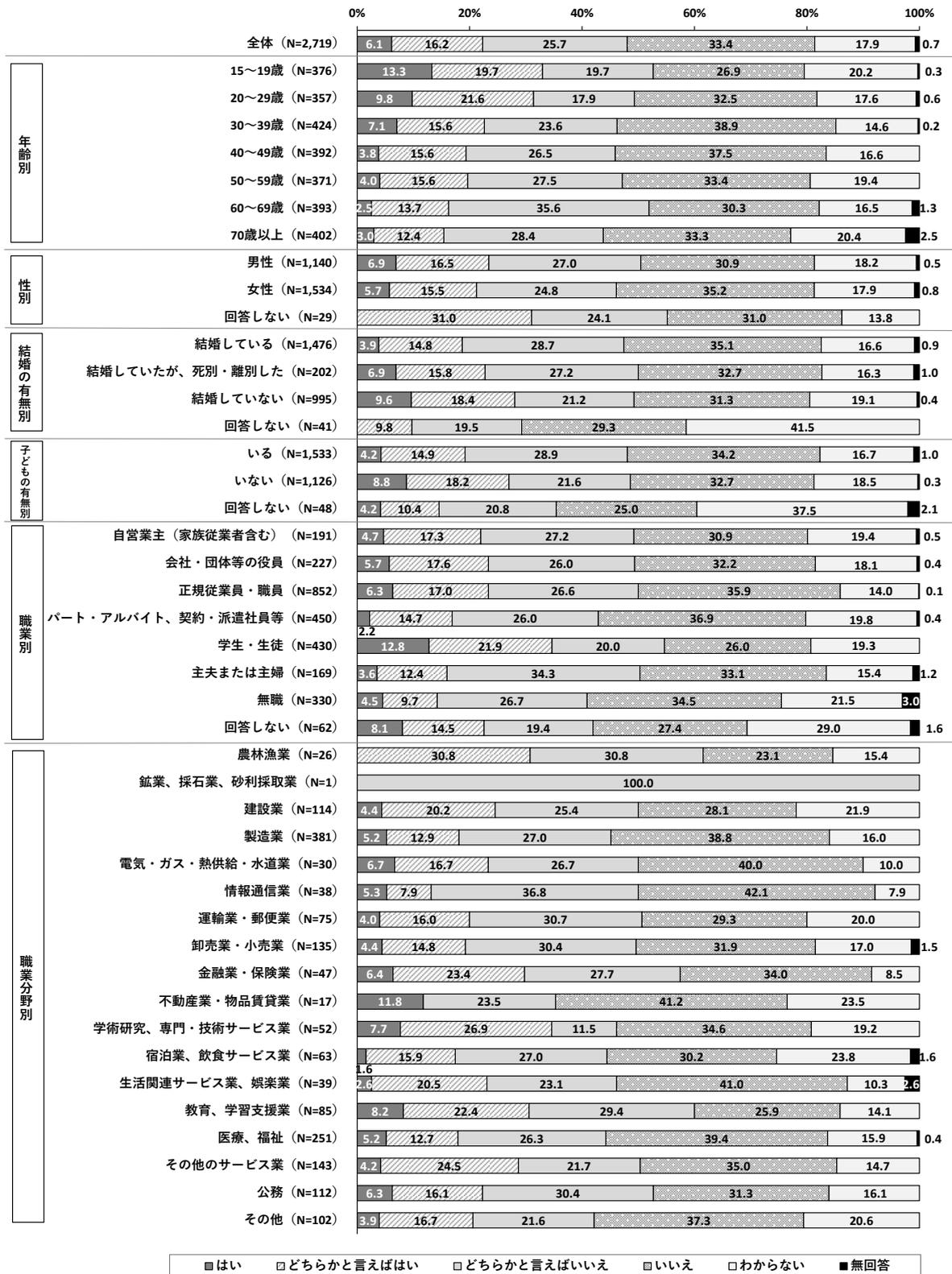
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 34.7%と、他の職業と比べて高い。一方、「主夫または主婦」では『いいえ』が 67.4%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 34.6%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「情報通信業」では『いいえ』が 78.9%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-28 農山漁村地域に行ってみたい、関わりを深めてみたいと思う。



問 14-㉑ 富山県では、起業や新しい挑戦を支援する風土や環境が整っていると思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 19.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 43.2%、「わからない」が 36.7%となっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 30.9%（うち「はい」は 10.4%）と、他の年代と比べて高い。一方、30～69 歳では『いいえ』が 5 割前後を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 22.7%と、他と比べて高い。一方、「結婚している」では『いいえ』が 46.4%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『いいえ』が 45.5%と、「いない」よりも 5.0 ポイント高い。

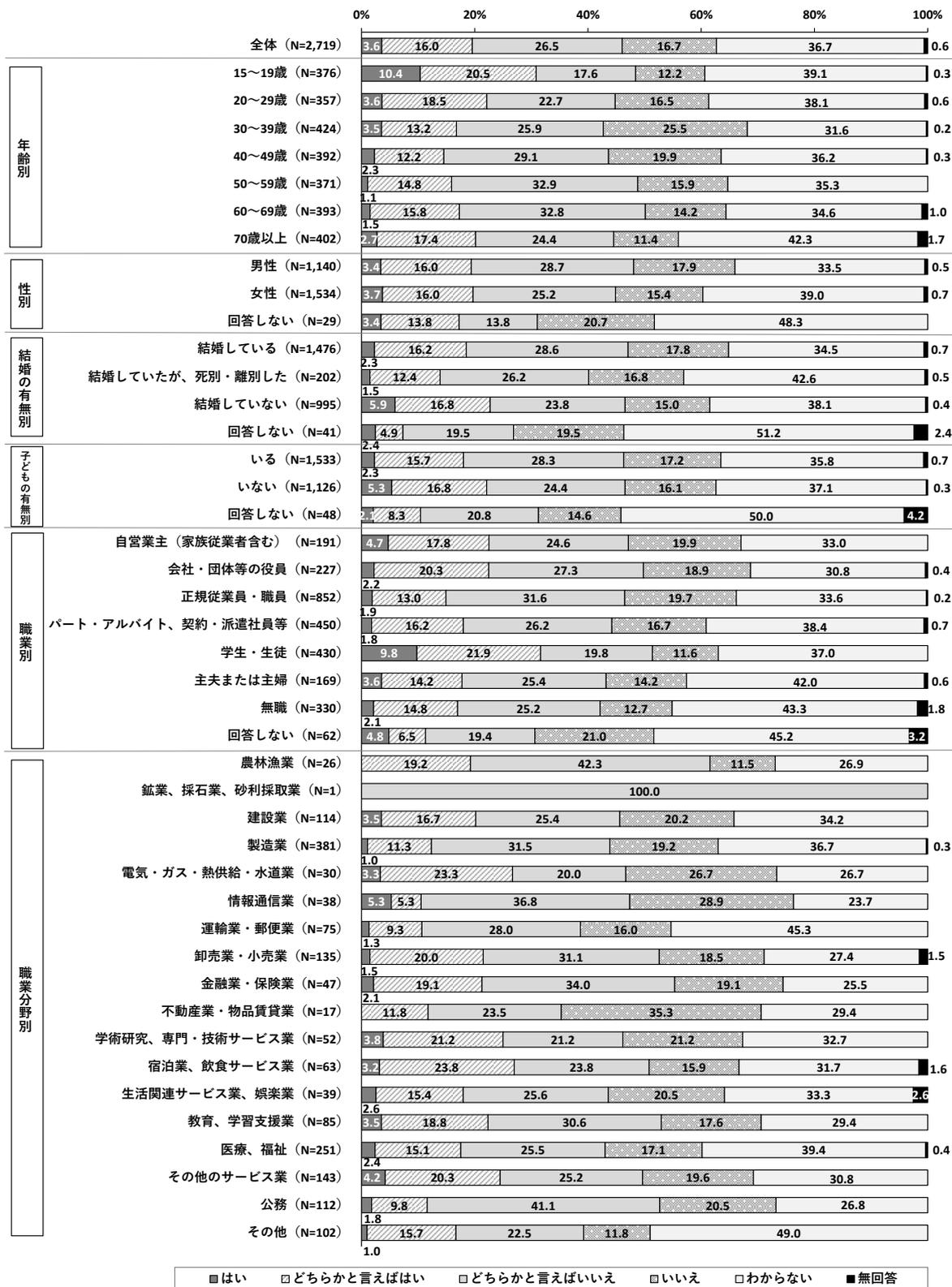
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 31.7%と、他の職業と比べて高い。一方、「正規従業員・職員」では『いいえ』が 51.3%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『いいえ』が『はい』を上回っている。特に、「公務」では『いいえ』が 61.6%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-29 富山県では、起業や新しい挑戦を支援する風土や環境が整っていると思う。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

問 14-③⑩ あなたのまわりでは、年齢・性別・国籍・障害などに関係なく誰もが活躍できていると思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 31.9%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 36.7%、「わからない」が 30.6%となっている。

(2) 年齢別

年代が高くなるにつれ『はい』が低くなる傾向にある。「15～19 歳」では『はい』が 57.7%と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 44.2%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 41.9%と、「いる」よりも 16.8 ポイント高い。

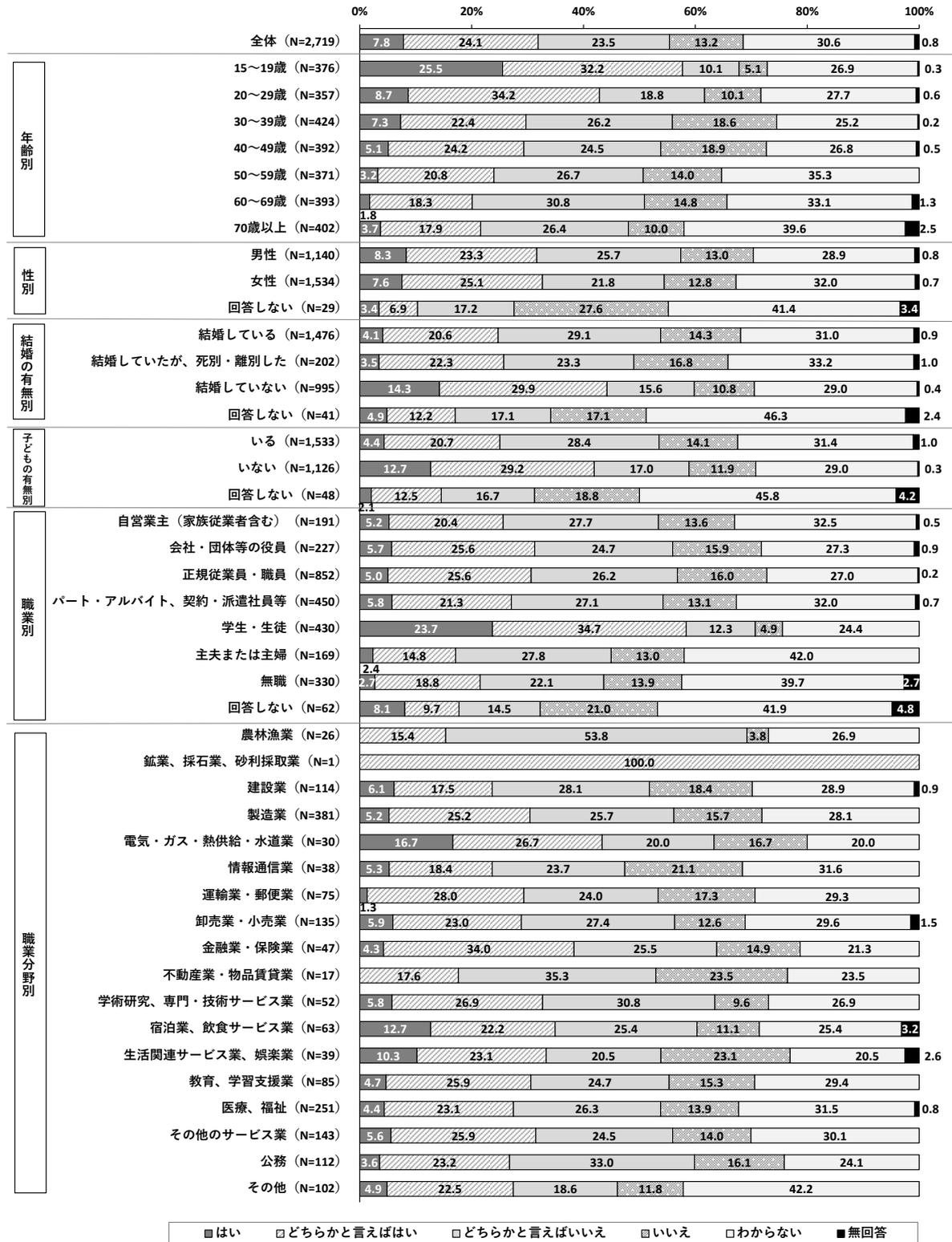
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 58.4%（うち「はい」は 23.7%）と、他の職業と比べて高い。一方、「主夫または主婦」では『はい』が 17.2%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が 38.3%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「公務」では『いいえ』が 49.1%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-30 あなたの周りでは、年齢・性別・国籍・障害などに関係なく誰もが活躍できていると思う。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えいいえ □いいえ □わからない ■無回答

問 14-③ あなたの住んでいるところでは、快適なまちづくりが進んでいると思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 34.2%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 42.9%と、『いいえ』の方が 8.7 ポイント高い。

(2) 年齢別

概ね年代が高くなるにつれ『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

「男性」では『いいえ』が 46.8%と、「女性」よりも 6.6 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 39.6%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『いいえ』が 47.9%と、「いない」よりも 11.0 ポイント高い。

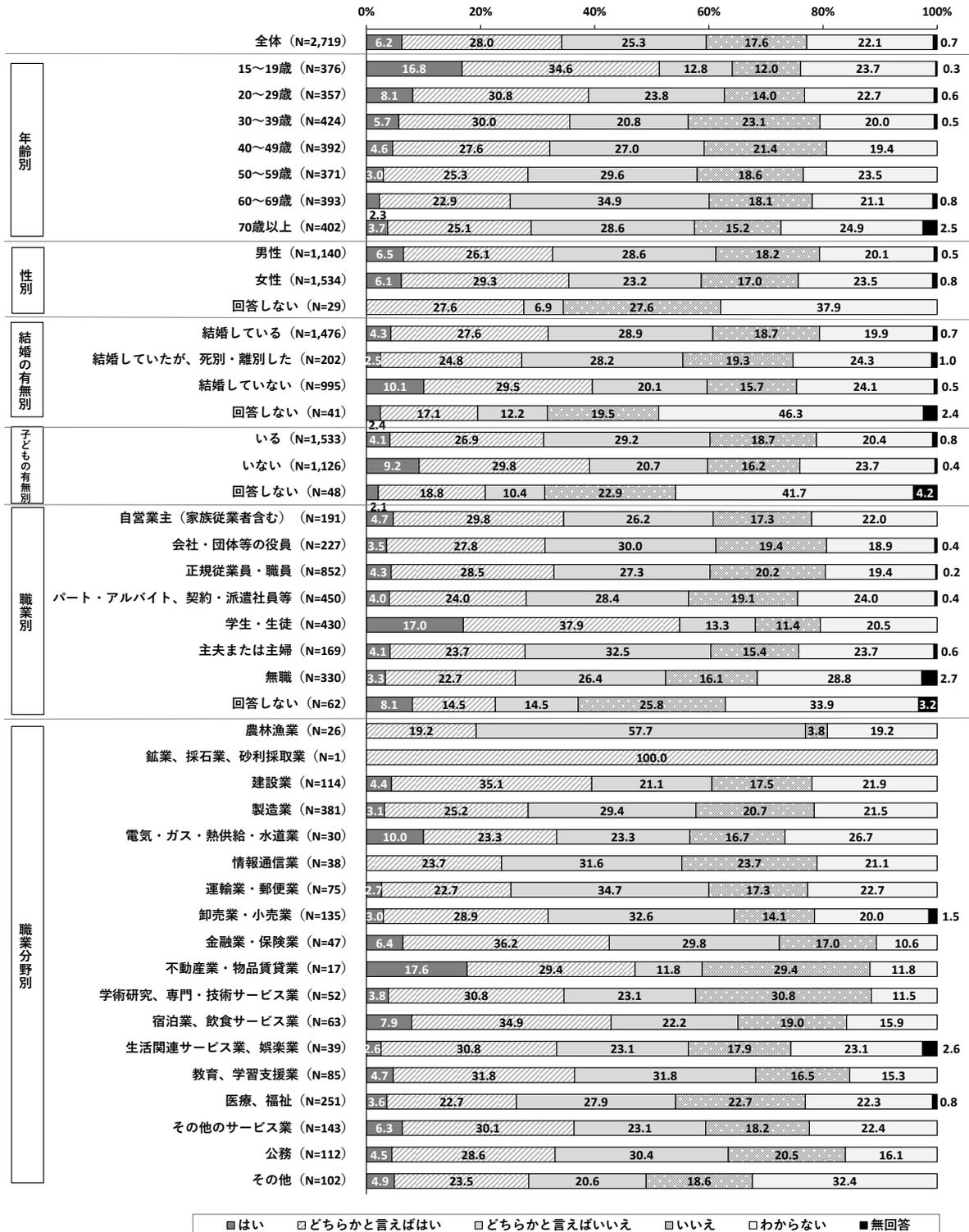
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 54.9%（うち「はい」は 17.0%）と、他の職業と比べて高い。一方、「無職」では『はい』が 26.0%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 42.9%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「情報通信業」では『いいえ』が 55.3%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-31 あなたの住んでいるところでは、快適なまちづくりが進んでいると思う。



問 14-③ 将来の世代のために、リサイクル、廃棄物削減、再生可能エネルギーの活用など環境に配慮した行動をとっている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 60.7%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 25.2%と、『はい』の方が 35.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

50 歳以上では『はい』が 6 割台と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 65.2%と、「男性」よりも 10.0 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 55.4%と、他と比べて低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 65.1%と、「いない」よりも 8.9 ポイント高い。

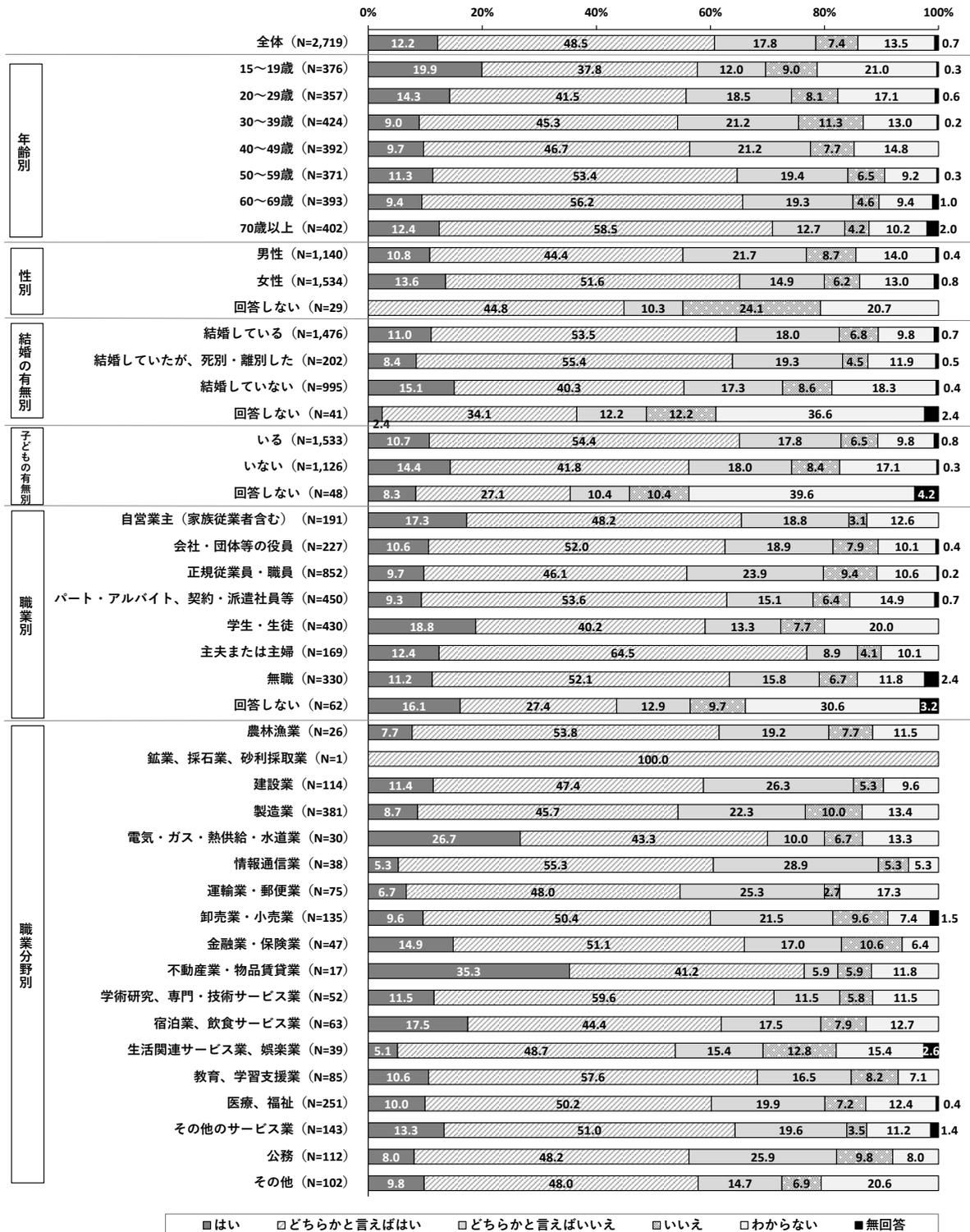
(5) - 1 職業別

すべての職業で『はい』が 5 割を超えている。特に、「主夫または主婦」では 76.9%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が 5 割を超えている。特に、「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 71.1%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-32 将来の世代のために、リサイクル、廃棄物削減、再生可能エネルギーの活用など環境に配慮した行動をとっている。



問 14-③ 富山県は、環境保全に関する取組みが進み、自然環境や生活環境が守られていると思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 48.2%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 18.3%と、『はい』の方が 29.9 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」「20～29 歳」「70 歳以上」では『はい』が 5 割を超えている。特に、「15～19 歳」では『はい』が 58.3%と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では「はい」が 12.5%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 51.5%と、「いる」よりも 4.6 ポイント高い。

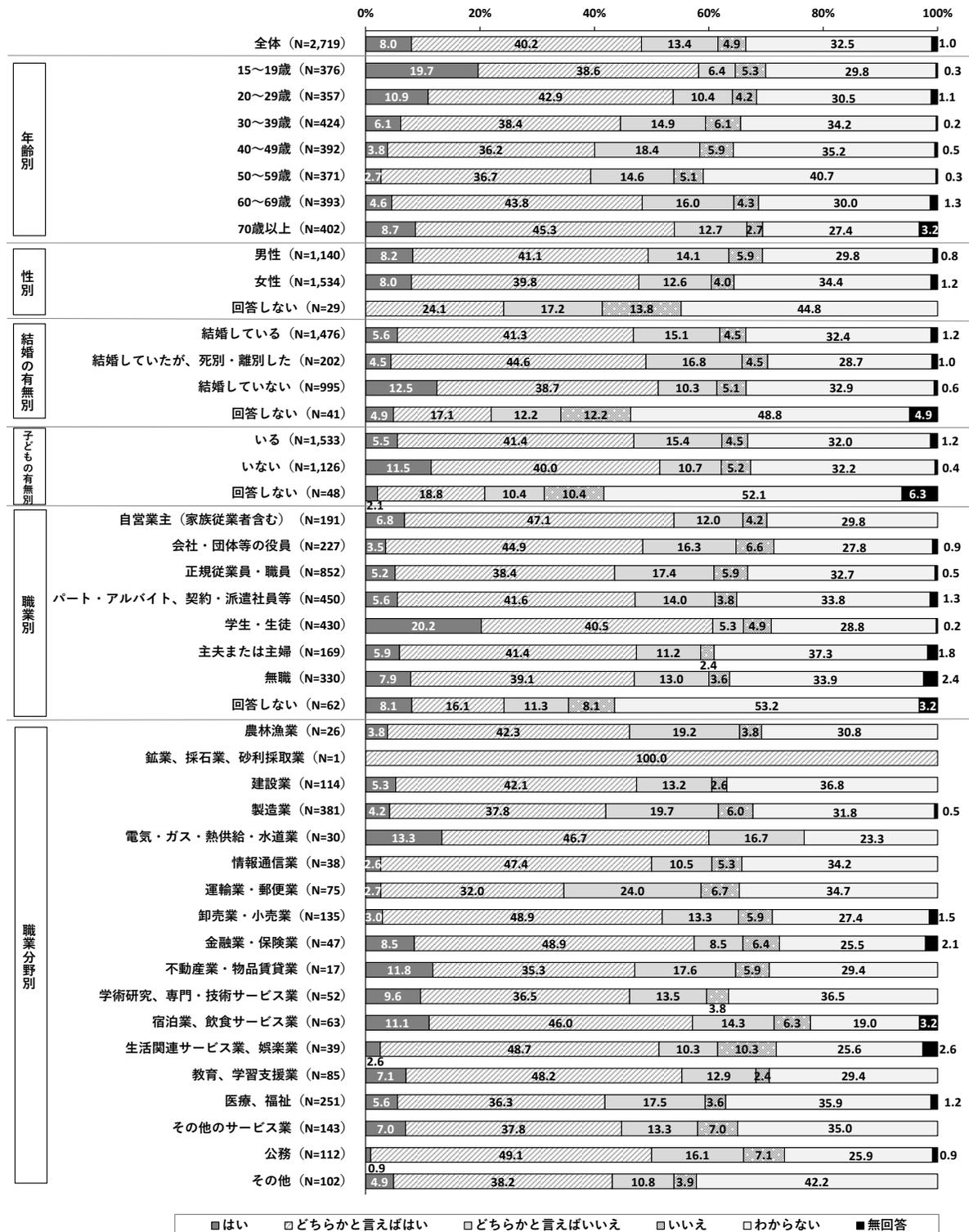
(5) - 1 職業別

すべての職業で、『はい』が 4 割を超えている。特に、「学生・生徒」では『はい』が 60.7%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「運輸業・郵便業」を除くすべての職業分野で『はい』が 4 割を超えている。一方、「運輸業・郵便業」では『いいえ』が 30.7%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-33 富山県は、環境保全に関する取組みが進み、自然環境や生活環境が守られていると思う。



問 14-③④ **※現在、仕事をされている方にお聞きします。**

仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 56.8%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 35.5%と、『はい』の方が 21.3 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 4 割を超えている。特に、「15～19 歳」では『はい』が 66.6%（うち「はい」は 33.3%）と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では、『はい』が 59.1%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもの有無で大きな差は見られない。

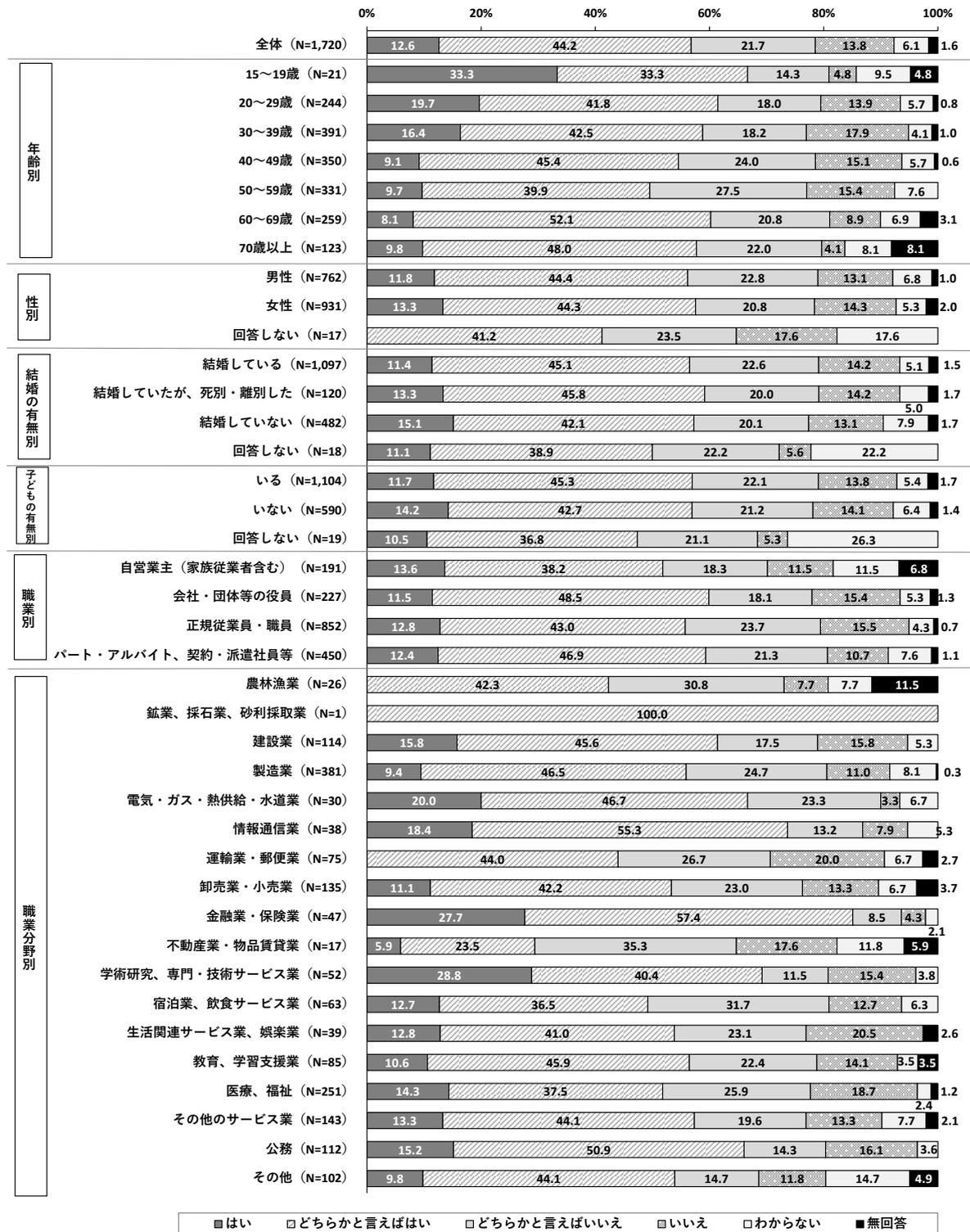
(5) - 1 職業別

すべての職業で、『はい』が 5 割を超えている。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が 85.1%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「運輸業・郵便業」では『いいえ』が 46.7%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-34 仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じている。



問 14-③⑤ **※現在、仕事をされている方にお聞きします。**

あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 44.6%、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が 37.8%と、『はい』の方が 6.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」「20～29 歳」「70 歳以上」では『はい』が 5 割を超えている。特に、「15～19 歳」では『はい』が 71.4%（うち「はい」は 19.0%）と、他の年代と比べて高い。

(3) 性別

「女性」では『はい』が 47.0%と、「男性」よりも 5.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 45.9%と、他と比べて高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 46.0%と、「いない」よりも 3.8 ポイント高い。

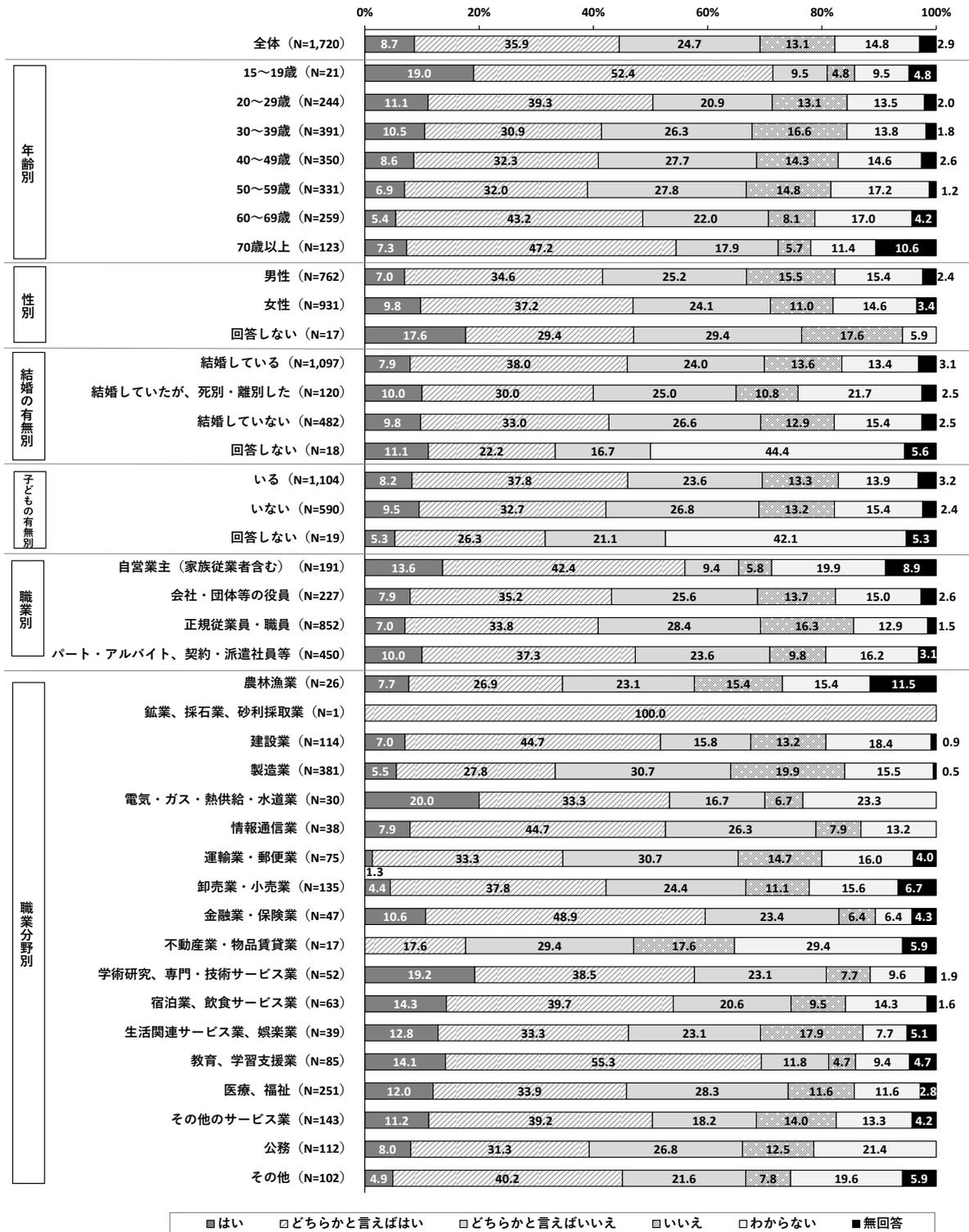
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『はい』が 56.0%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 69.4%と、他の職業分野と比べて高い。一方、「製造業」では『いいえ』が 50.6%と、他の職業分野と比べて高い。

図表 14-35 あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じている。



問 15 次のことについて、家族や親しい友人等にどの程度、おすすめしたいと思いますか。

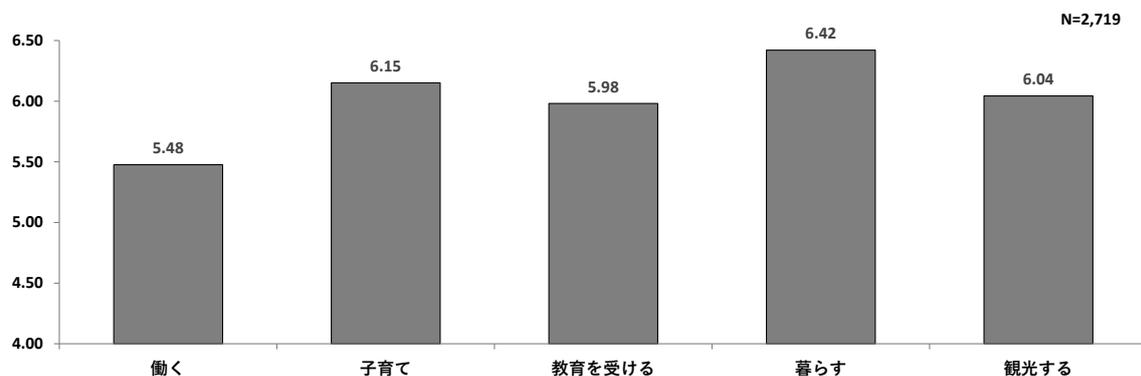
- ① 富山県で働くこと
- ② 富山県で子育てすること
- ③ 富山県で教育を受けること
- ④ 富山県で暮らすこと
- ⑤ 富山県で観光すること

(1) 全体

【平均】

「暮らす」が6.42と最も高く、次いで「子育て」(6.15)、「観光する」(6.04)、「教育を受ける」(5.98)、「働く」(5.48)の順となっている。

図表 15-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(全体)

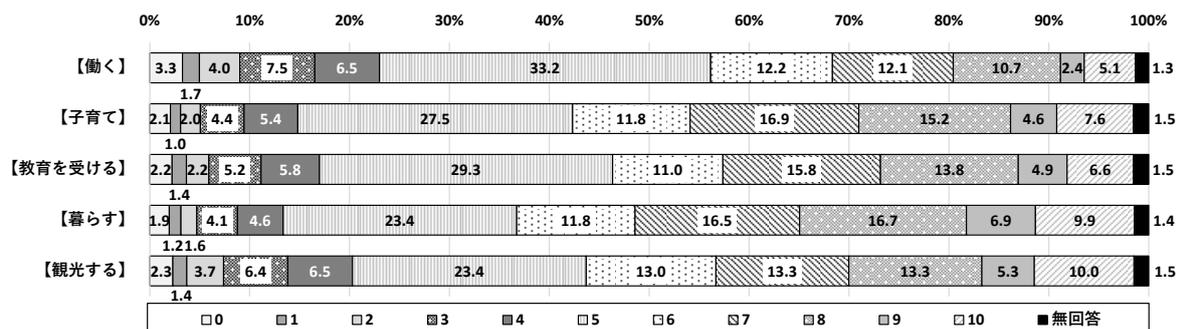


【割合】

「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも中央値の「5」が最も高い。

「6以上」の割合は、「暮らす」が61.8%で他よりも高い。一方、「働く」が42.5%と他よりも低い。

図表 15-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(全体)

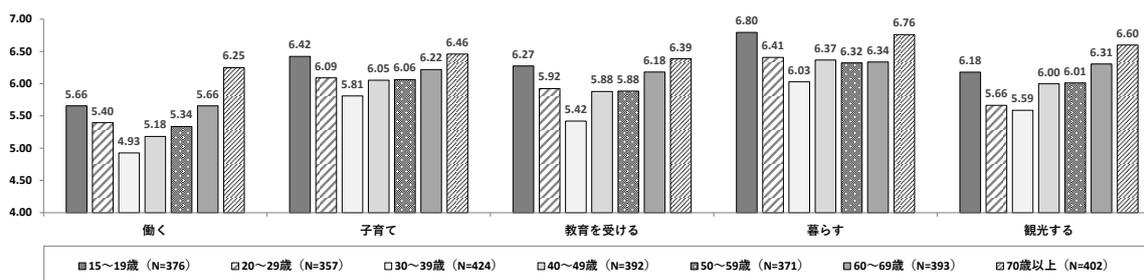


(2) 年齢別

【平均】

「働く」「子育て」「観光する」では、「70歳以上」が最も高い。「暮らす」では、すべての年代で平均が6を超えており、特に「15～19歳」が6.80と他と比べて高い。一方、すべての設問項目において、「30～39歳」が他の年代と比べて低くなっている。

図表 15-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（年齢別）

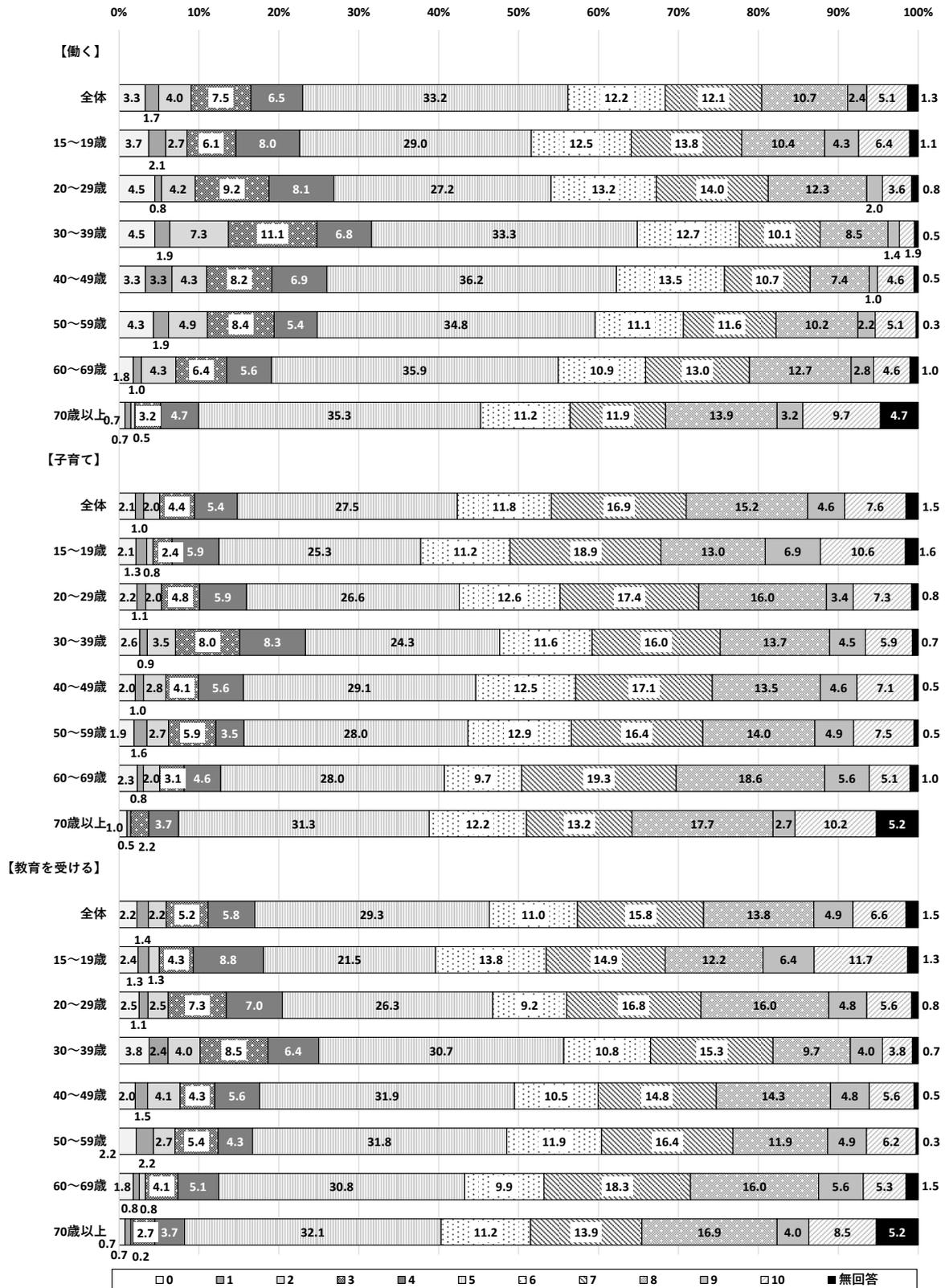


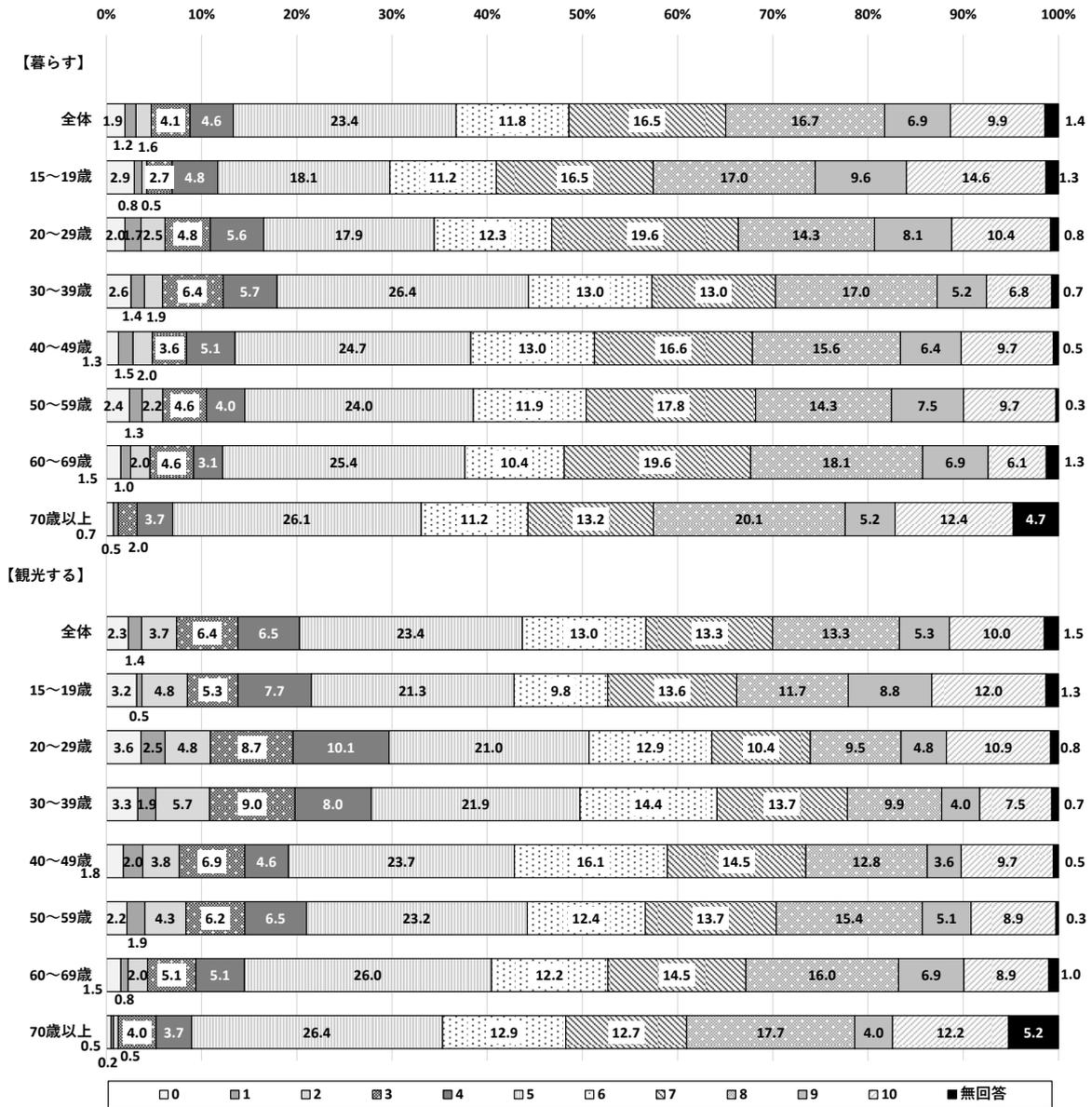
【割合】

すべての年代で、「働く」「子育て」「教育を受ける」「観光する」では「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」では「30～39歳」「40～49歳」が3割台と、他の年代と比べて低い。「子育て」「暮らす」では、すべての年代で5割を超えている。一方、「教育を受ける」では「30～39歳」が43.6%と、他の年代と比べて低く、「観光する」では「20～29歳」が48.5%と、他の年代と比べて低い。

図表 15-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（年齢別）



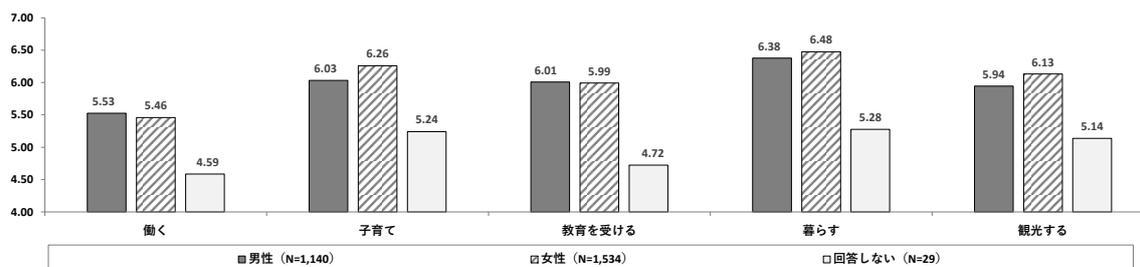


(3) 性別

【平均】

「働く」「教育を受ける」では、「女性」よりも「男性」の方が若干高い。「暮らす」「子育て」では、男女ともに平均が6を超えている。

図表 15-3-1 家族や親しい友人等へのおすすめ度【平均】(性別)

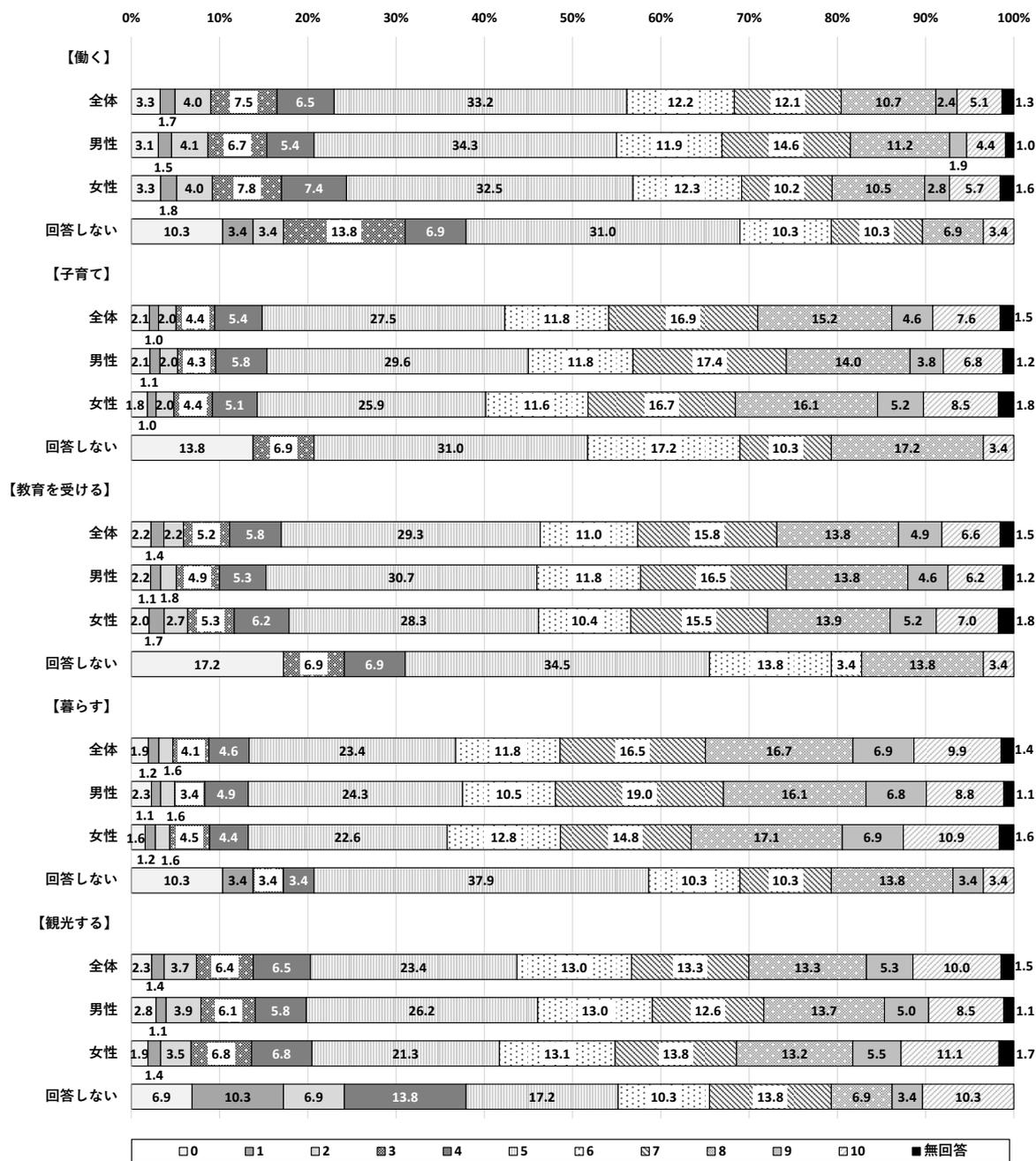


【割合】

男女ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「子育て」「暮らす」「観光する」では、「男性」よりも「女性」の方が高くなっている。

図表 15-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（性別）

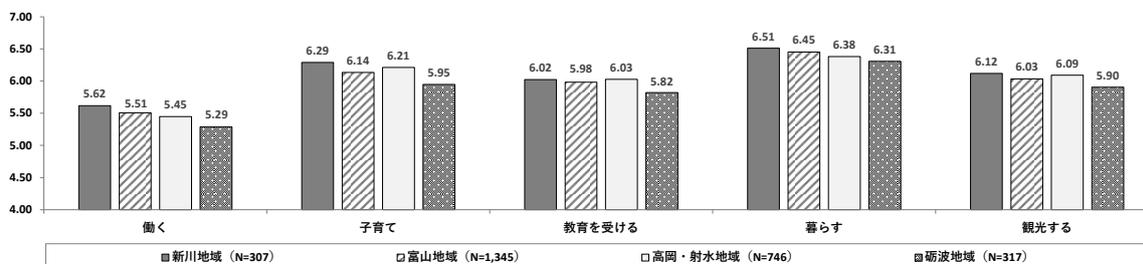


(4) - 1 地域別

【平均】

「暮らす」では、すべての地域で平均が6を超えている。

図表 15-4-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(地域別)



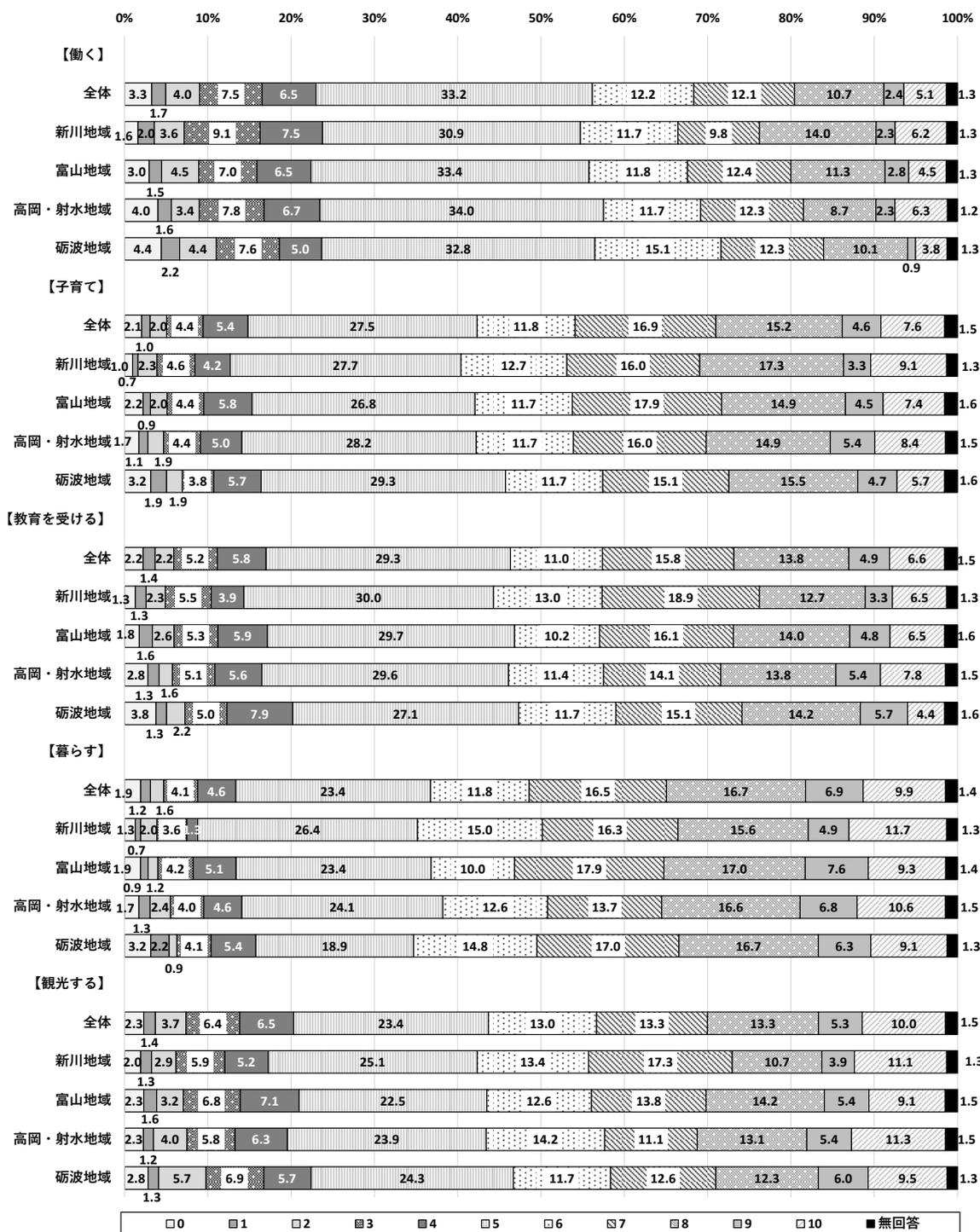
【割合】

すべての地域で、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」「教育を受ける」「観光する」では、「新川地域」が他の地域と比べて若干高い。すべての地域で、「暮らす」が6割を超えている。

一方、「4以下」を見ると、すべての地域で「働く」が2割台と、他の設問項目と比べて高い。

図表 15-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(地域別)

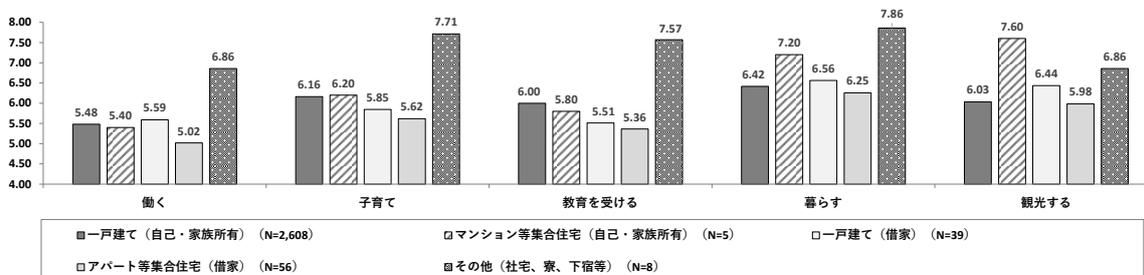


(4) - 2 現在の住居状況別

【平均】

「暮らす」では、すべての居住状況で平均が6を超えている。

図表 15-4-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(住居状況別)

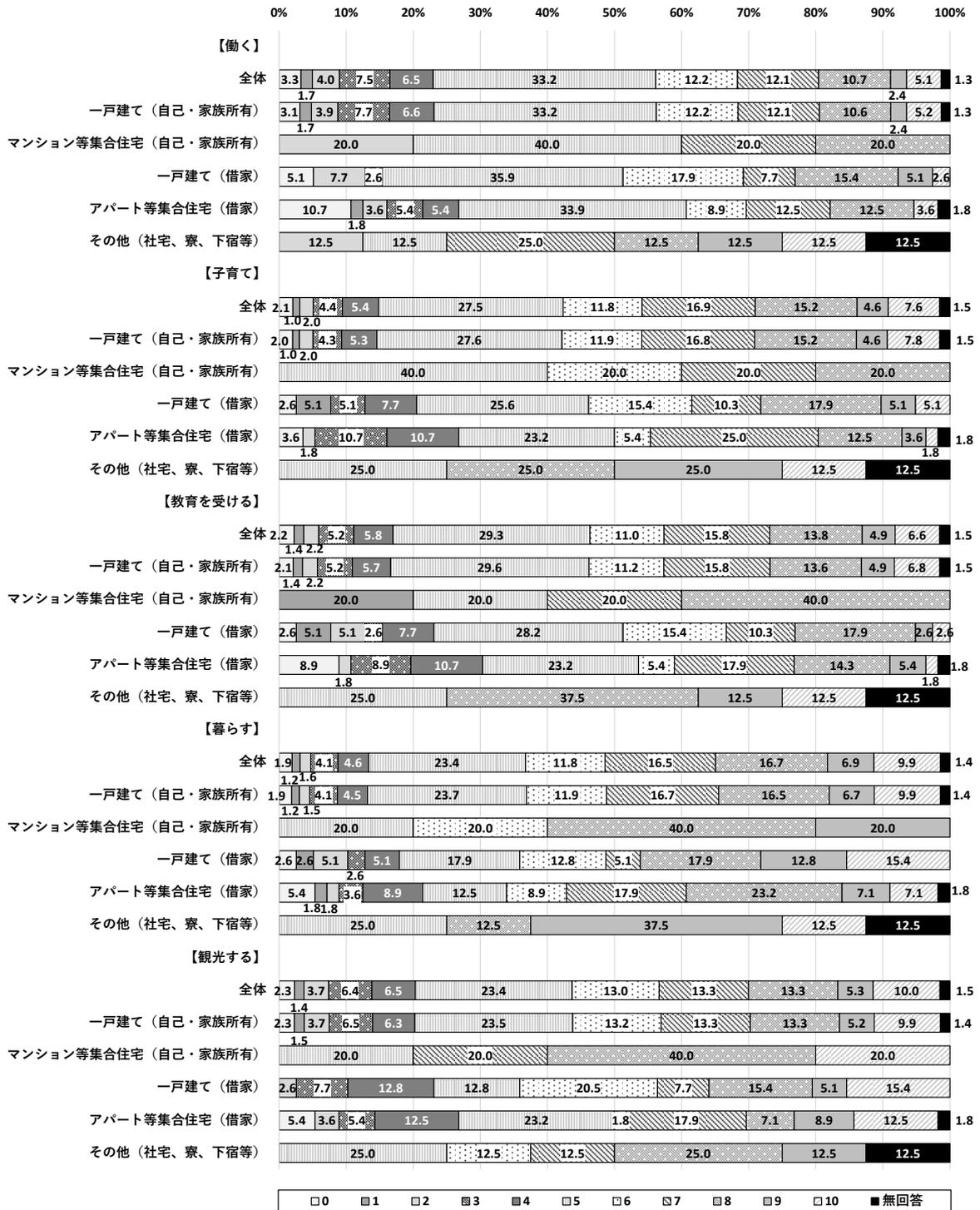


【割合】

すべての居住状況で、「働く」「教育を受ける」においていずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「暮らす」「観光する」で「一戸建て(借家)」が他と比べて高くなっている。一方、「暮らす」を除くすべての設問項目で、「アパート等集合住宅(借家)」が他と比べて低くなっている。

図表 15-4-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（住居状況別）

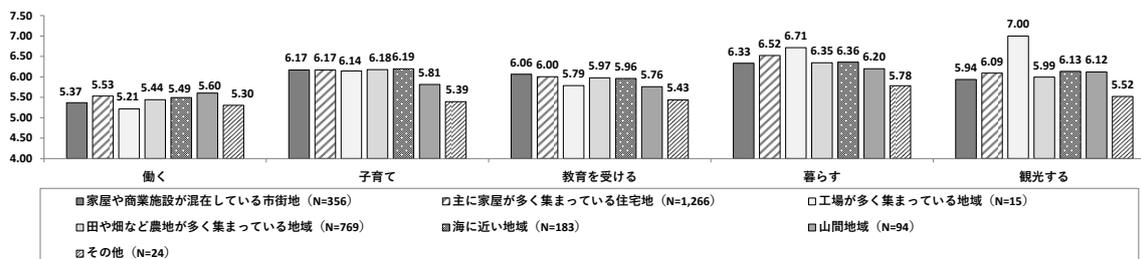


(4) - 3 現在の居住地環境別

【平均】

「暮らす」では、すべての居住地環境で平均が6を超えている。

図表 15-4-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(居住地環境別)



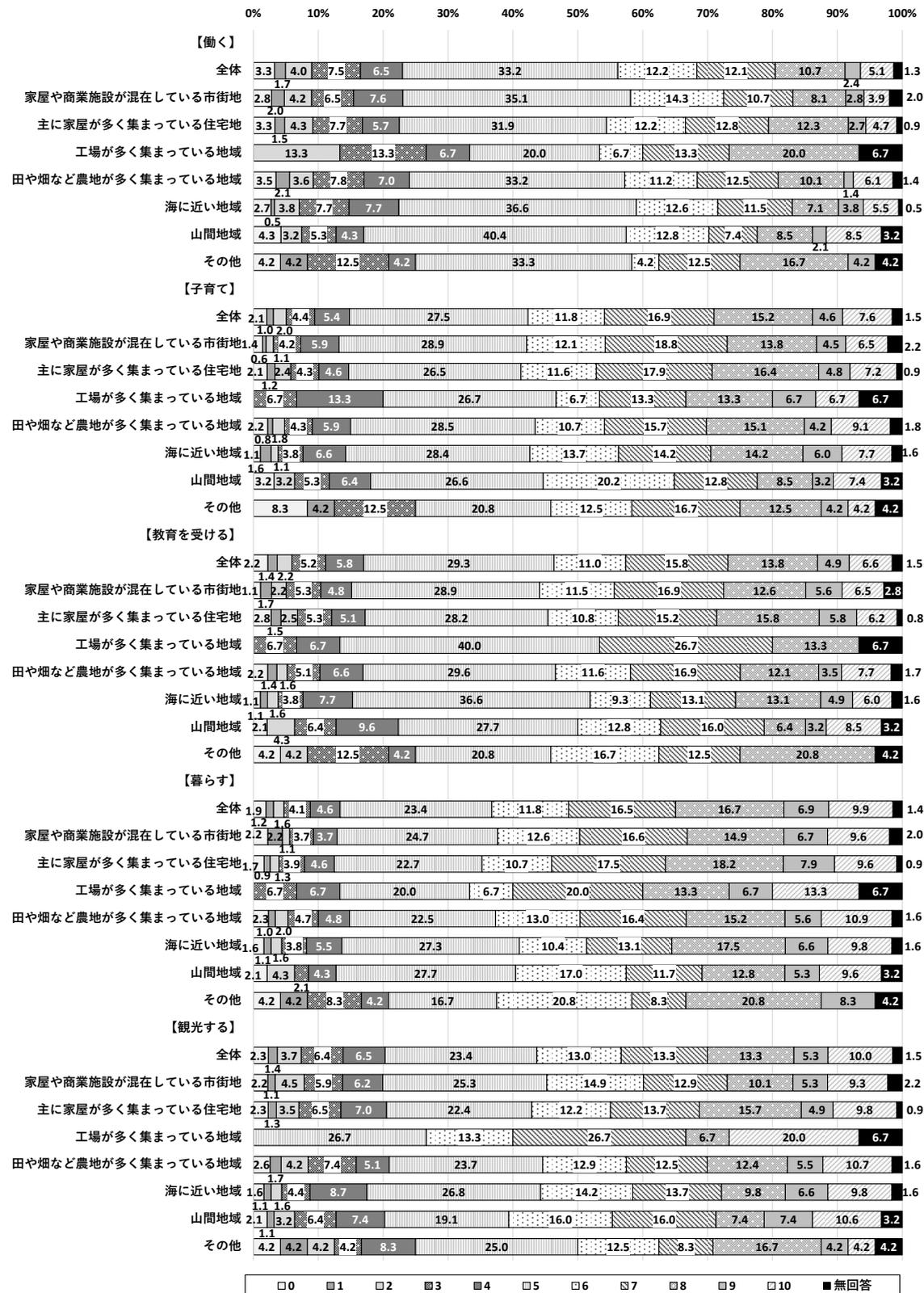
【割合】

すべての居住地環境で、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」では、「主に家屋が多く集まっている住宅地」が、他の居住地環境よりも高い。

「観光する」では、「山間地域」では「6以上」が他の居住地環境よりも若干高い。

図表 15-4-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（居住地域環境別）

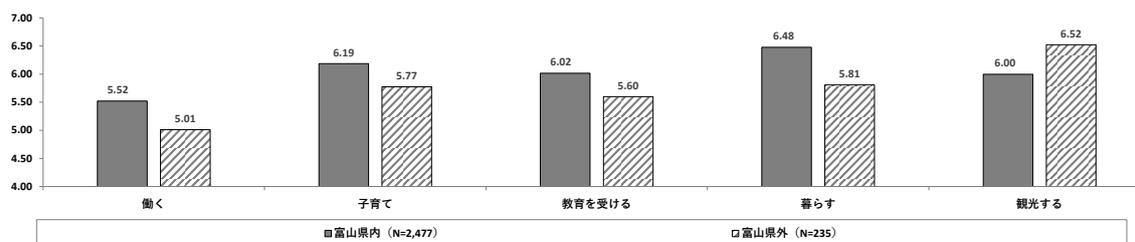


(4) - 4 出身地別

【平均】

「観光する」を除くすべての設問項目において、「富山県外」よりも「富山県内」の方が高くなっている。「富山県内」では「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において6を超えている。

図表 15-4-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(出身地別)

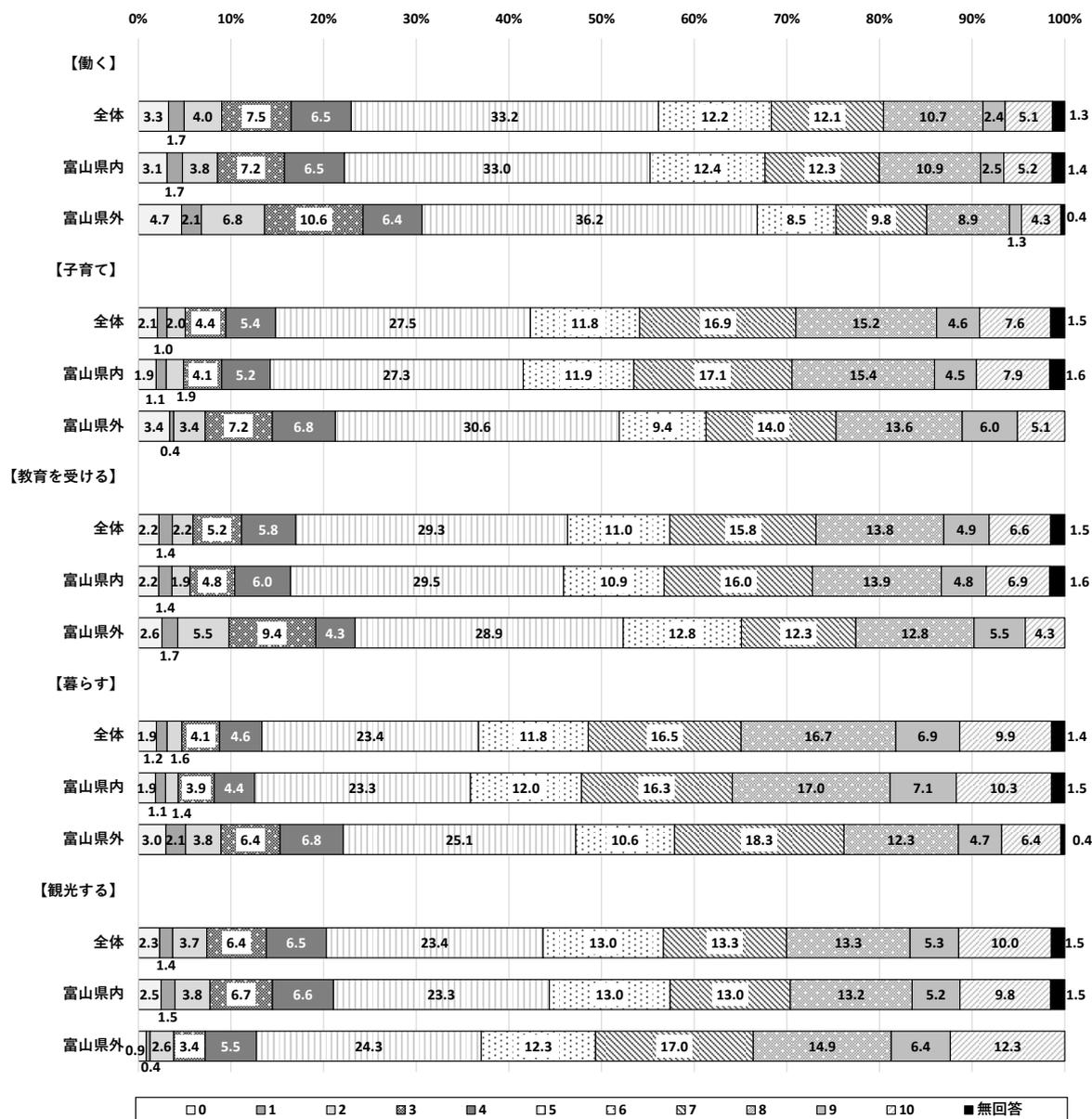


【割合】

「富山県内」「富山県外」とともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「観光する」を除くすべての設問において、「富山県外」よりも「富山県内」の方が高い。

図表 15-4-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（出身地別）

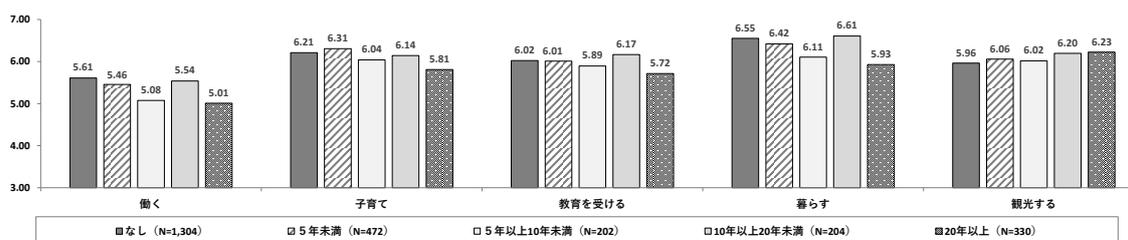


(4) - 5 県外での居住年数別

【平均】

「教育を受ける」「暮らす」では、「10年以上20年未満」が最も高い。「働く」では、県外居住年数に関わらず、平均が5と他と比べて低い。

図表 15-5-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(県外居住年数別)



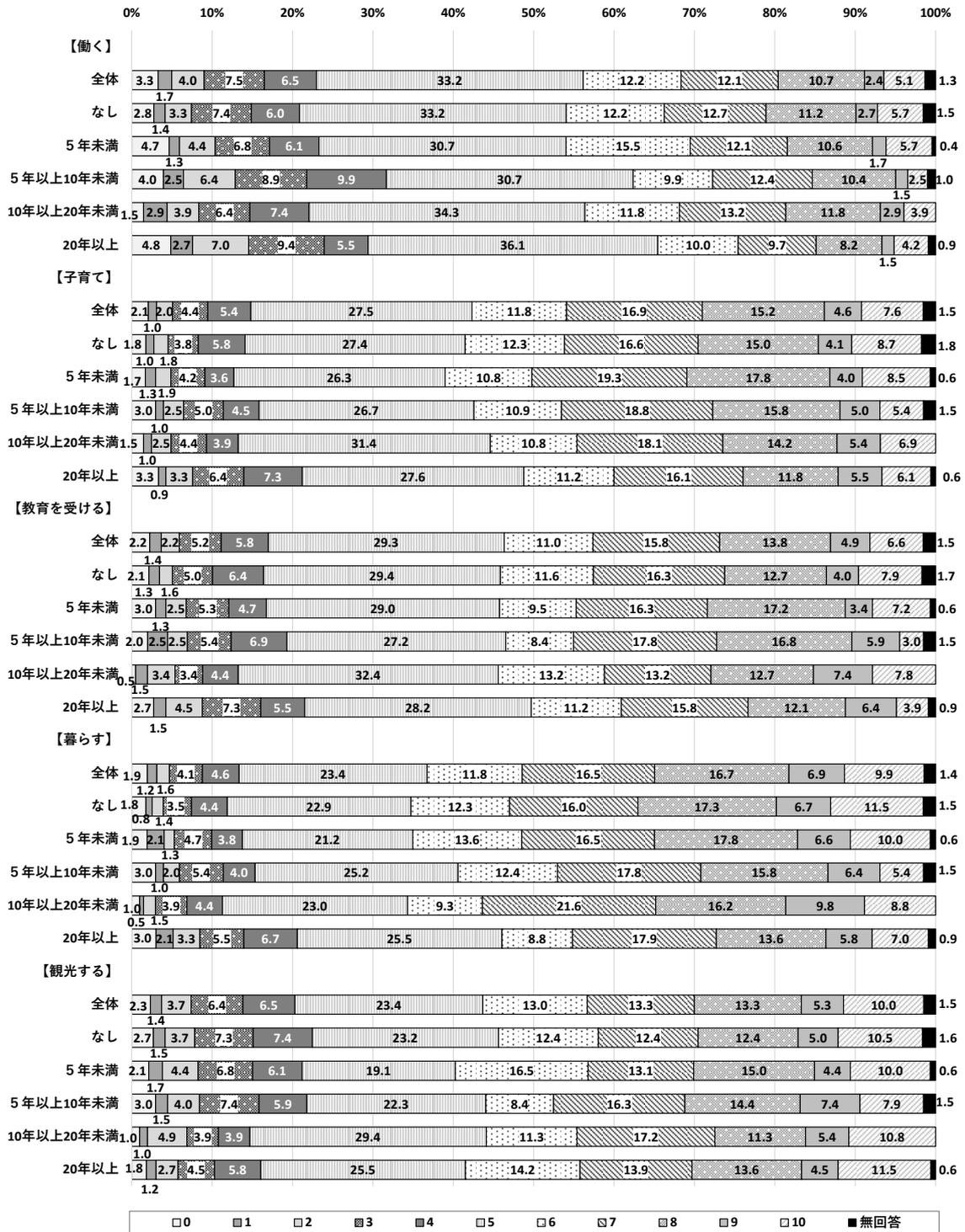
【割合】

すべての居住年数で、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」では、「20年以上」が他の居住年数よりも低い。

「観光する」では、県外での居住「なし」が他の居住年数と比べて低い。

図表 15-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（県外居住年数別）

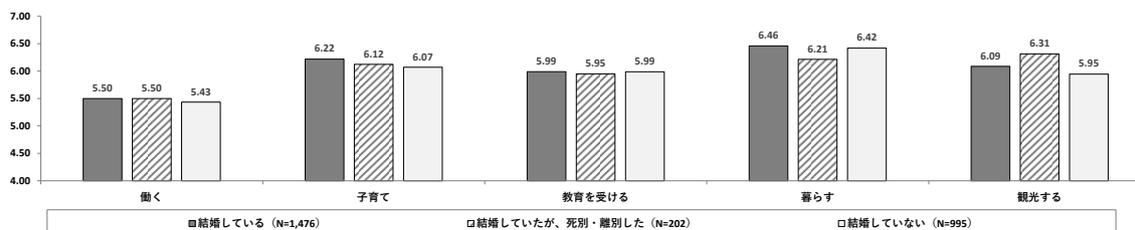


(5) - 1 結婚の有無別

【平均】

「子育て」では、すべての項目で6を超えており、「結婚している」が最も高くなっている。

図表 15-5-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（結婚の有無別）

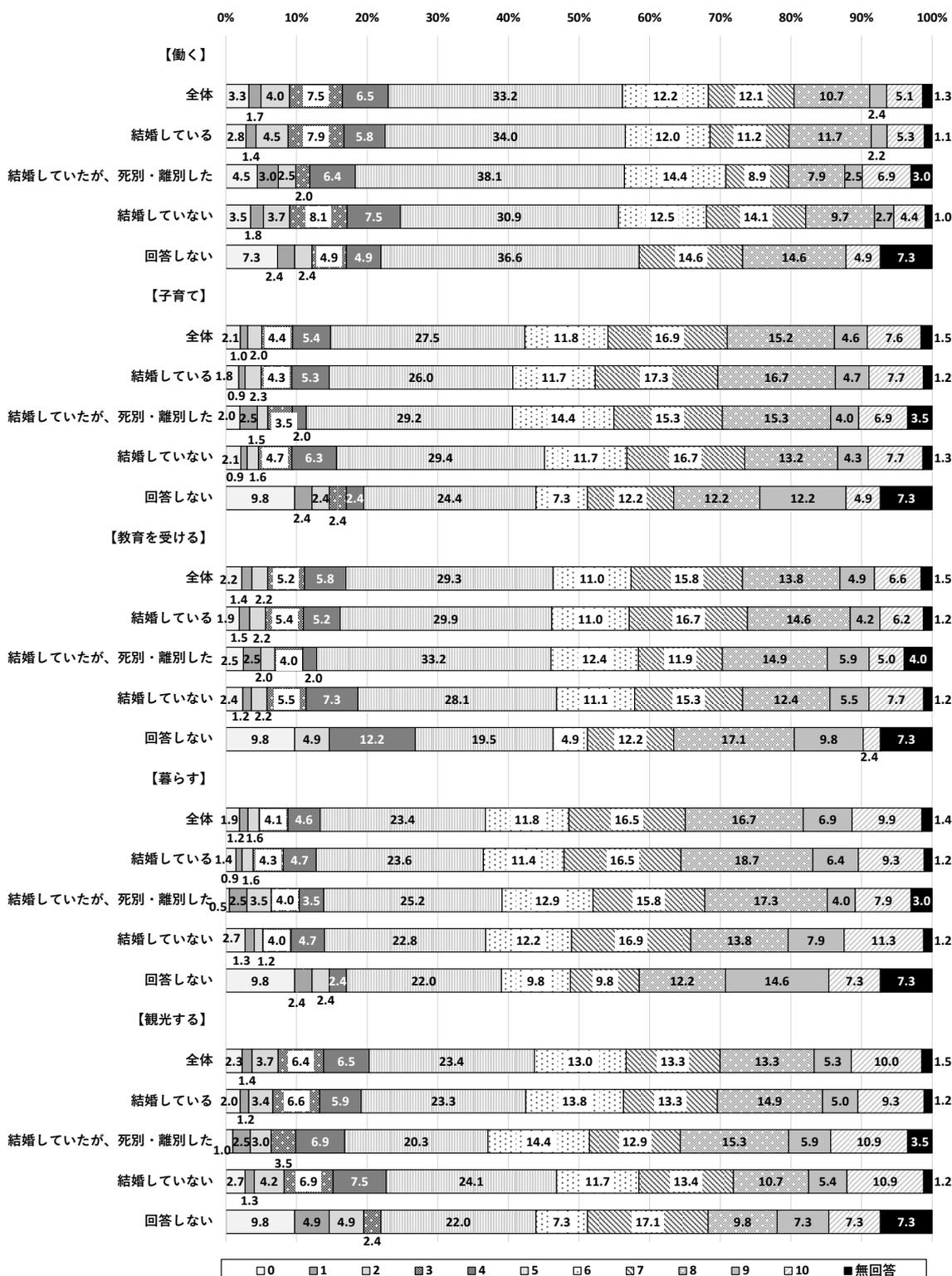


【割合】

結婚の有無に関わらず、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」ではすべての項目で4割台と、他と比べて低い。「観光する」では、「結婚していたが、死別・離別した」が6割弱と、他と比べて高い。

図表 15-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（結婚の有無別）

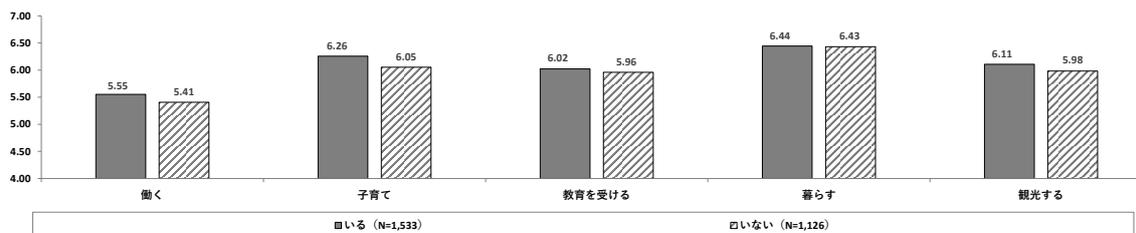


(5) - 2 子どもの有無別

【平均】

すべての設問項目において、子どもが「いない」よりも「いる」の方が高くなっている。子どもが「いる」では、「働く」を除くすべての設問項目において6を超えている。

図表 15-5-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(子どもの有無別)

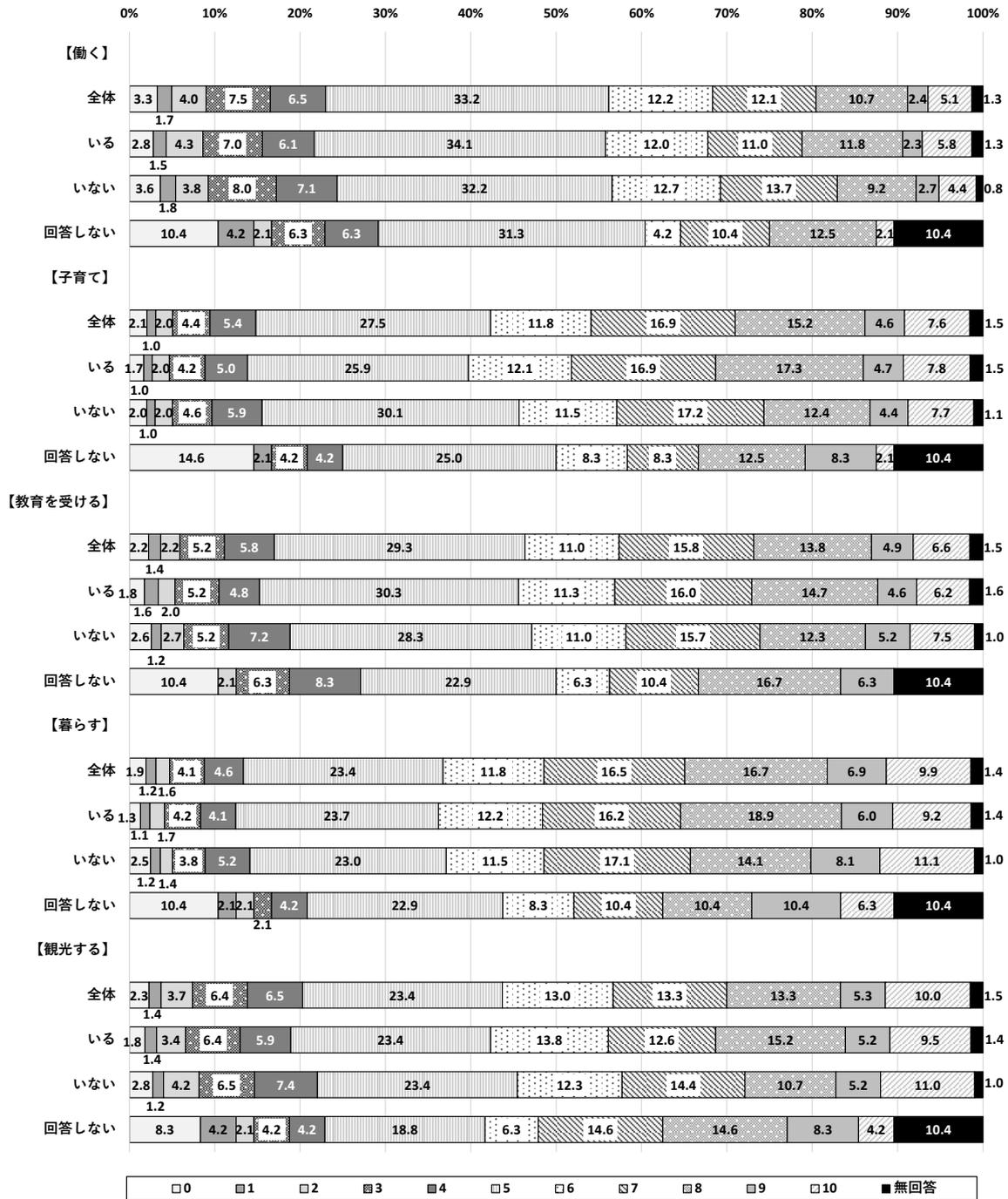


【割合】

子どもの有無に関わらず、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」を除くすべての設問項目において、子どもが「いる」が「いない」よりも高くなっている。「子育て」では、「いる」が「いない」よりも5.6ポイント高い。

図表 15-5-2-2 家族や親しい友人等への推薦度（子どもの有無別）

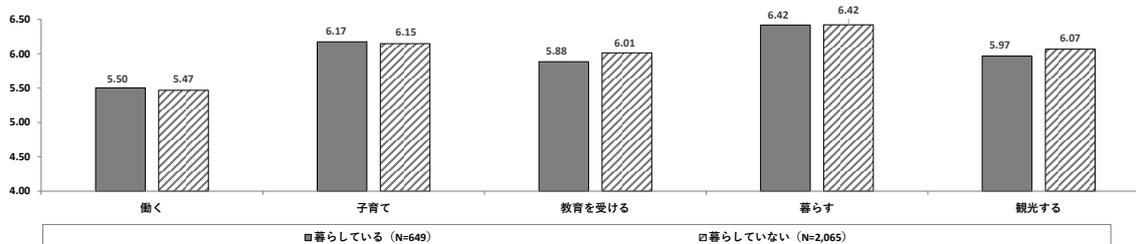


(5) - 3 ペットの有無別

【平均】

すべての設問項目において、ペットの有無で大きな差は見られない。

図表 15-5-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(ペットの有無別)

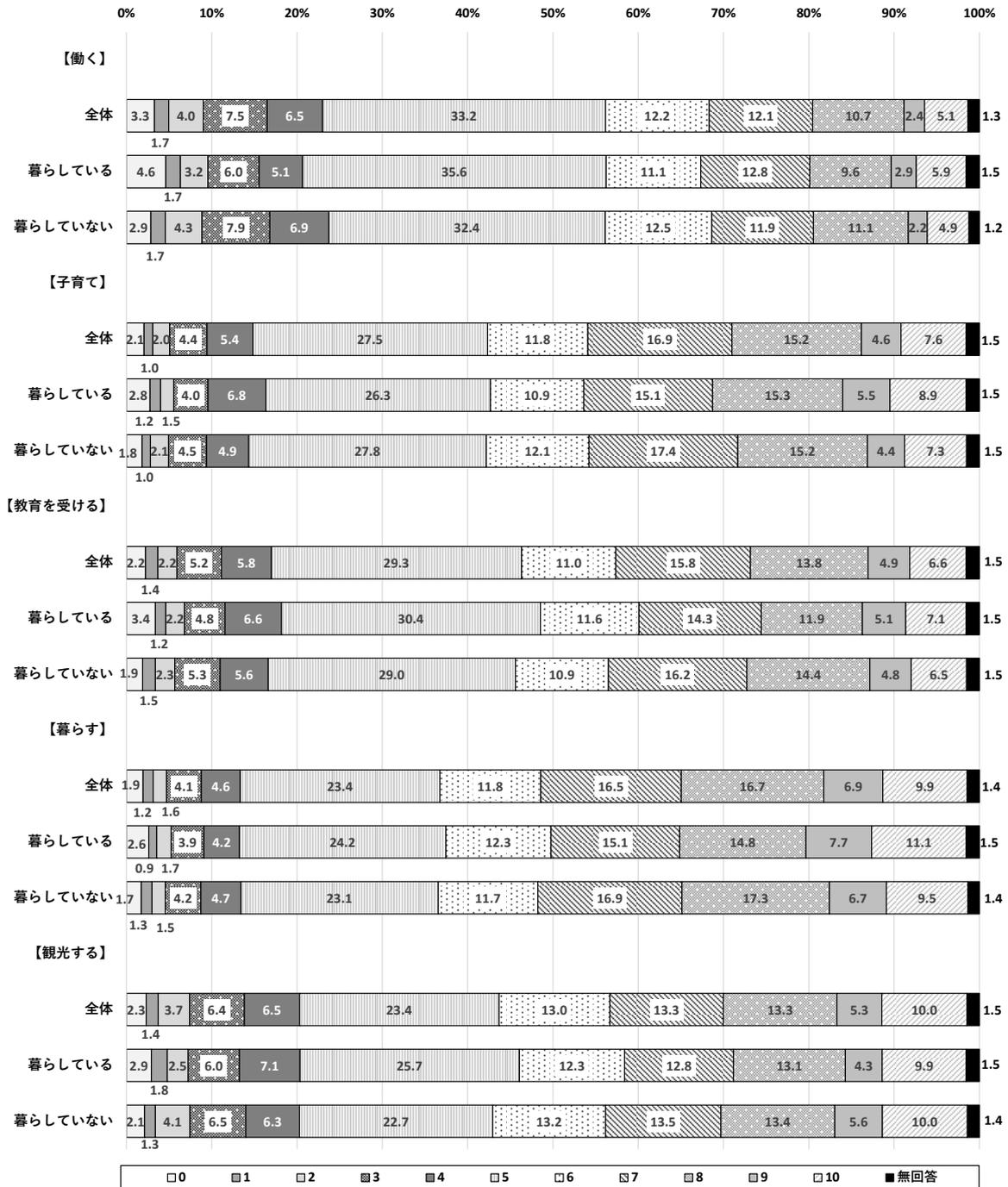


【割合】

ペットと「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、ペットと「暮らしていない」が「暮らしている」よりも高くなっている。

図表 15-5-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（ペットの有無別）

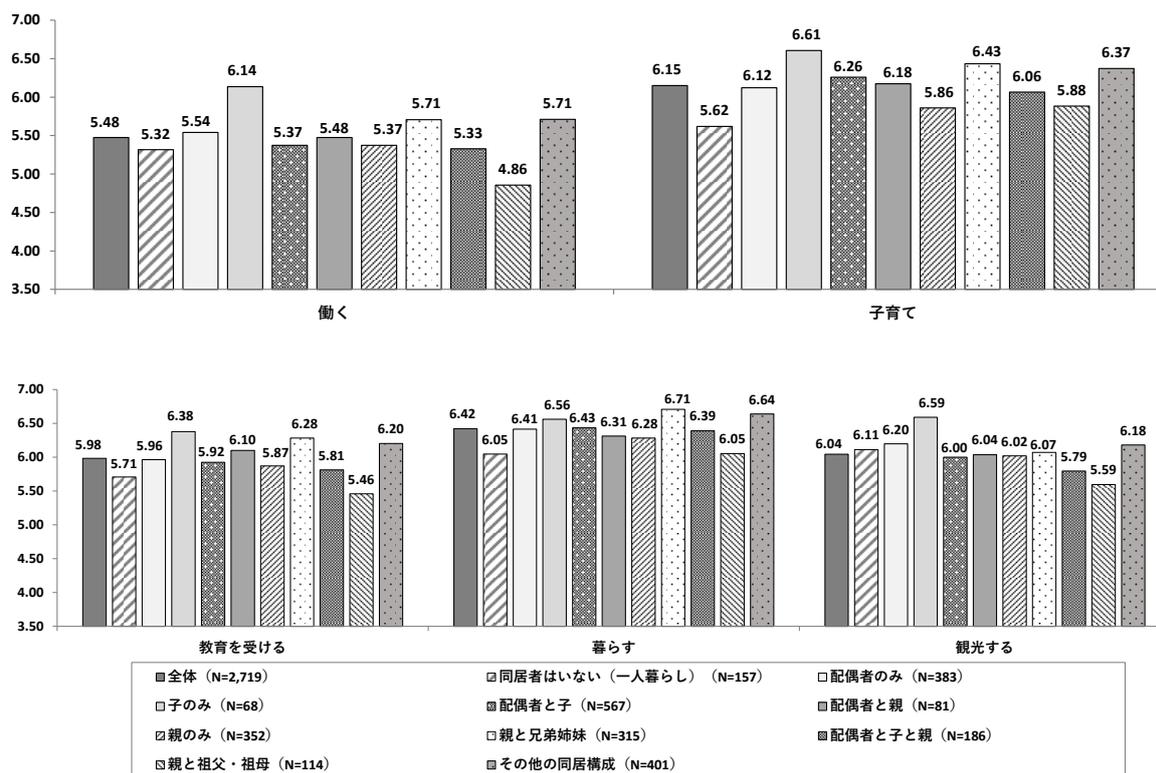


(5) - 4 同居家族の構成別

【平均】

「働く」では、「親と祖父・祖母」だけが5を下回っている。「子育て」では、「子のみ」が他と比べて高い。「教育を受ける」では、「親と祖父・祖母」が他と比べて低い。「暮らす」では、「親と兄弟姉妹」が他と比べて高い。「観光する」では、「子のみ」が他と比べて高い。

図表 15-5-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（同居家族構成別）

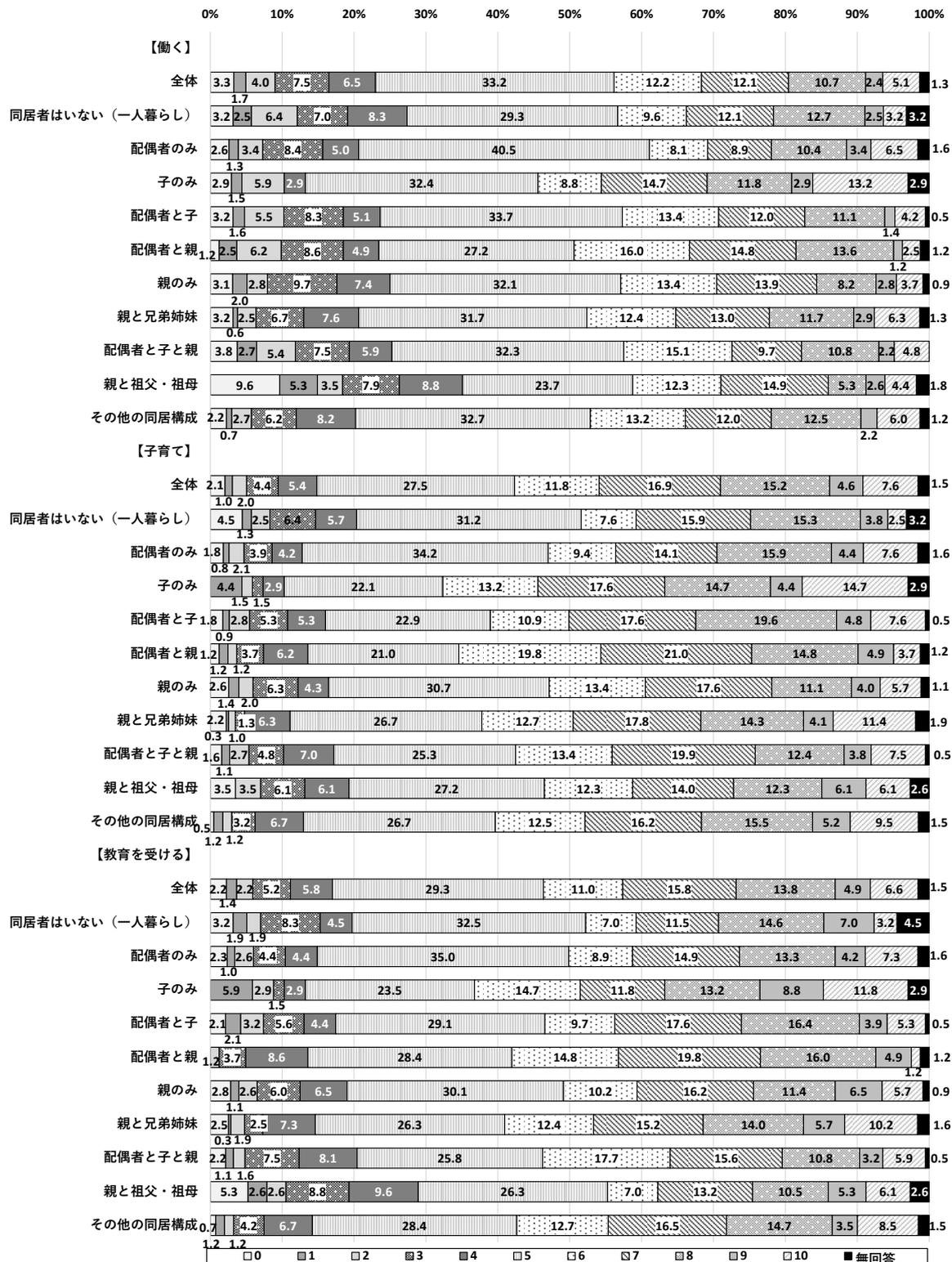


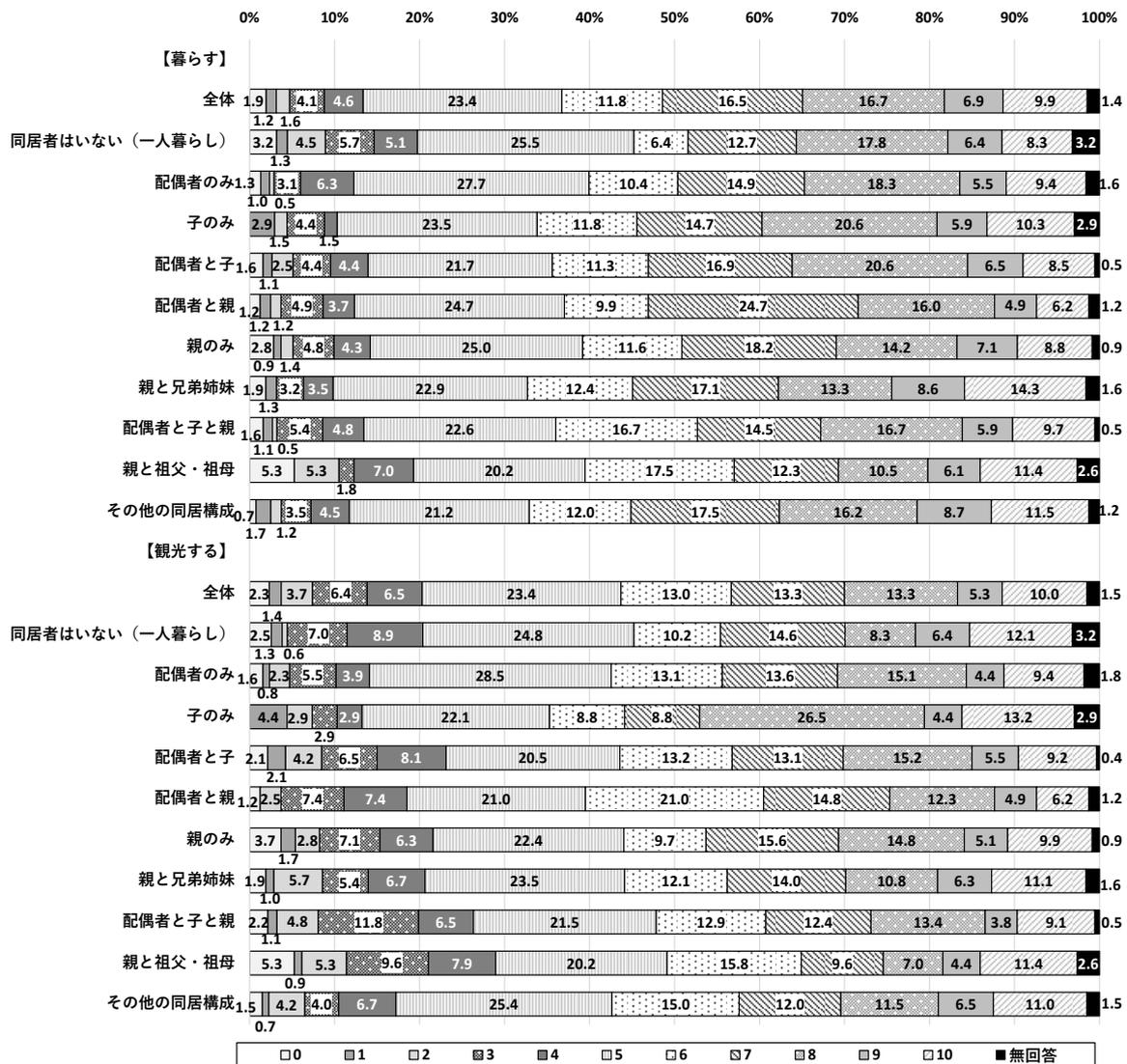
【割合】

「観光する」を除くすべての同居家族構成において、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「暮らす」を除くすべての設問項目において、「子のみ」が他よりも高い。一方、「暮らす」では「親と兄弟姉妹」が他よりも高い。

図表 15-5-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（同居家族構成別）



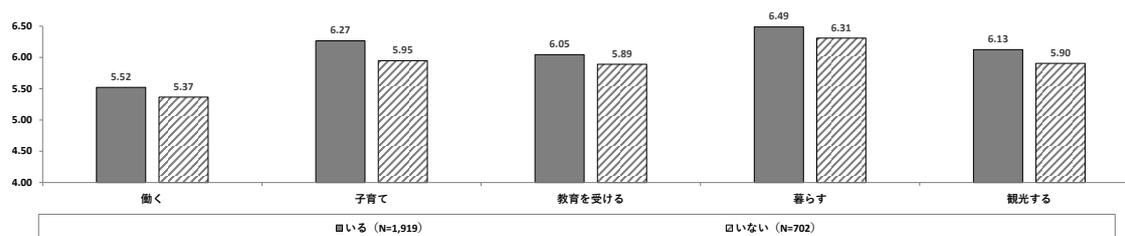


(5) - 5 別居親族の有無

【平均】

すべての設問項目において、別居親族が「いない」よりも「いる」の方が高くなっている。別居親族が「いる」では、「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」において6を超えている。

図表 15-5-5-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(別居親族の有無別)

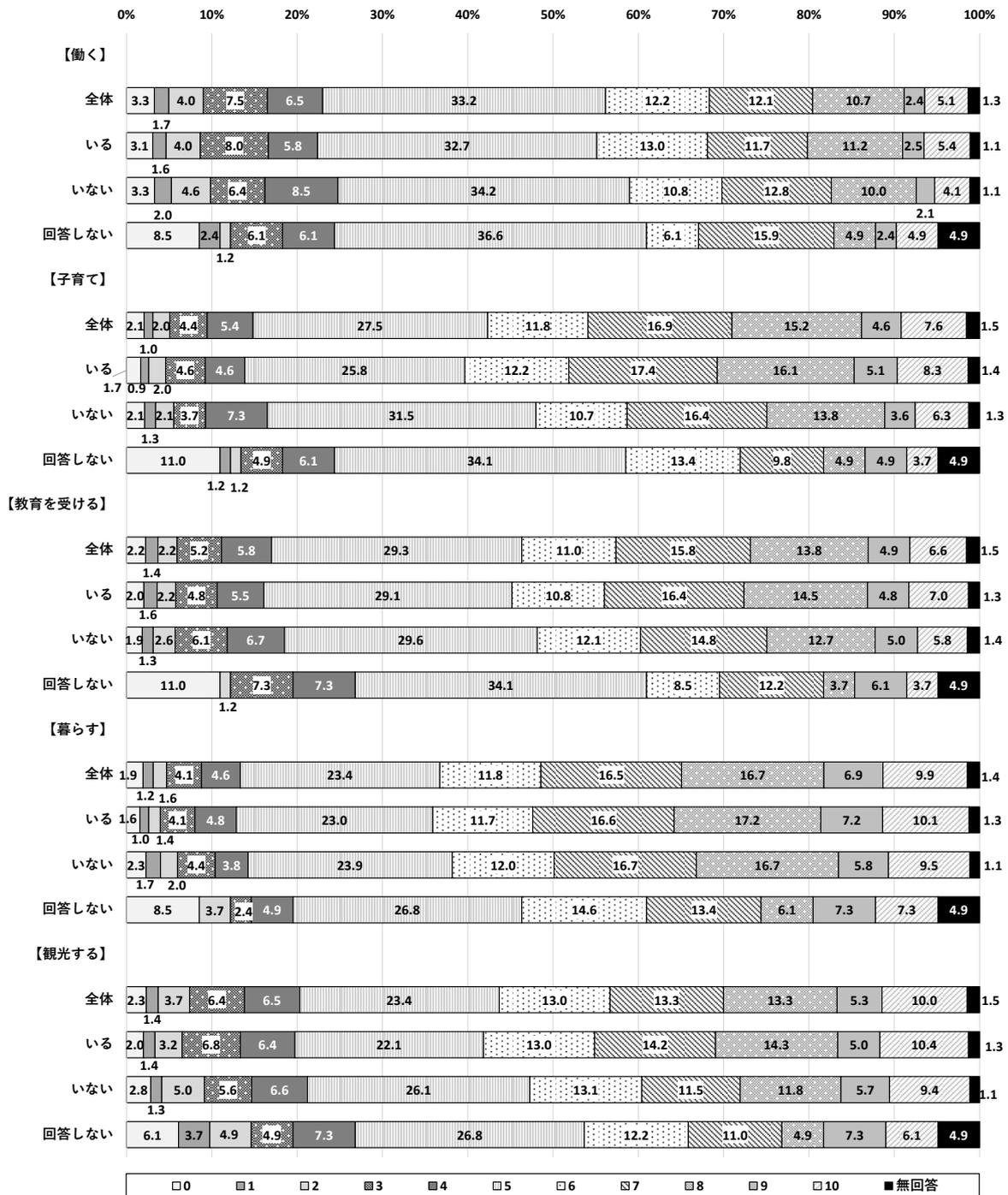


【割合】

別居の親族が「いる」「いない」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、別居の親族が「いる」の方が、「いない」よりも高くなっている。「子育て」では、別居の親族が「いる」が「いない」よりも8.3ポイント高い。「観光する」では、別居の親族が「いる」が「いない」よりも5.4ポイント高い。

図表 15-5-5-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（別居親族の有無別）

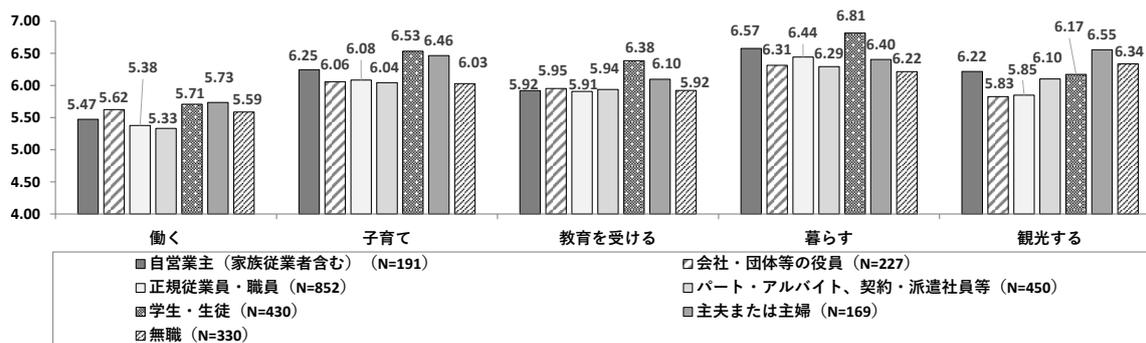


(6) - 1 職業別

【平均】

「働く」では、すべての職業において6を下回っている。「子育て」「教育を受ける」「暮らす」では、「学生・生徒」が最も高い。「働く」「観光する」では、「主夫または主婦」が最も高い。

図表 15-6-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(職業別)



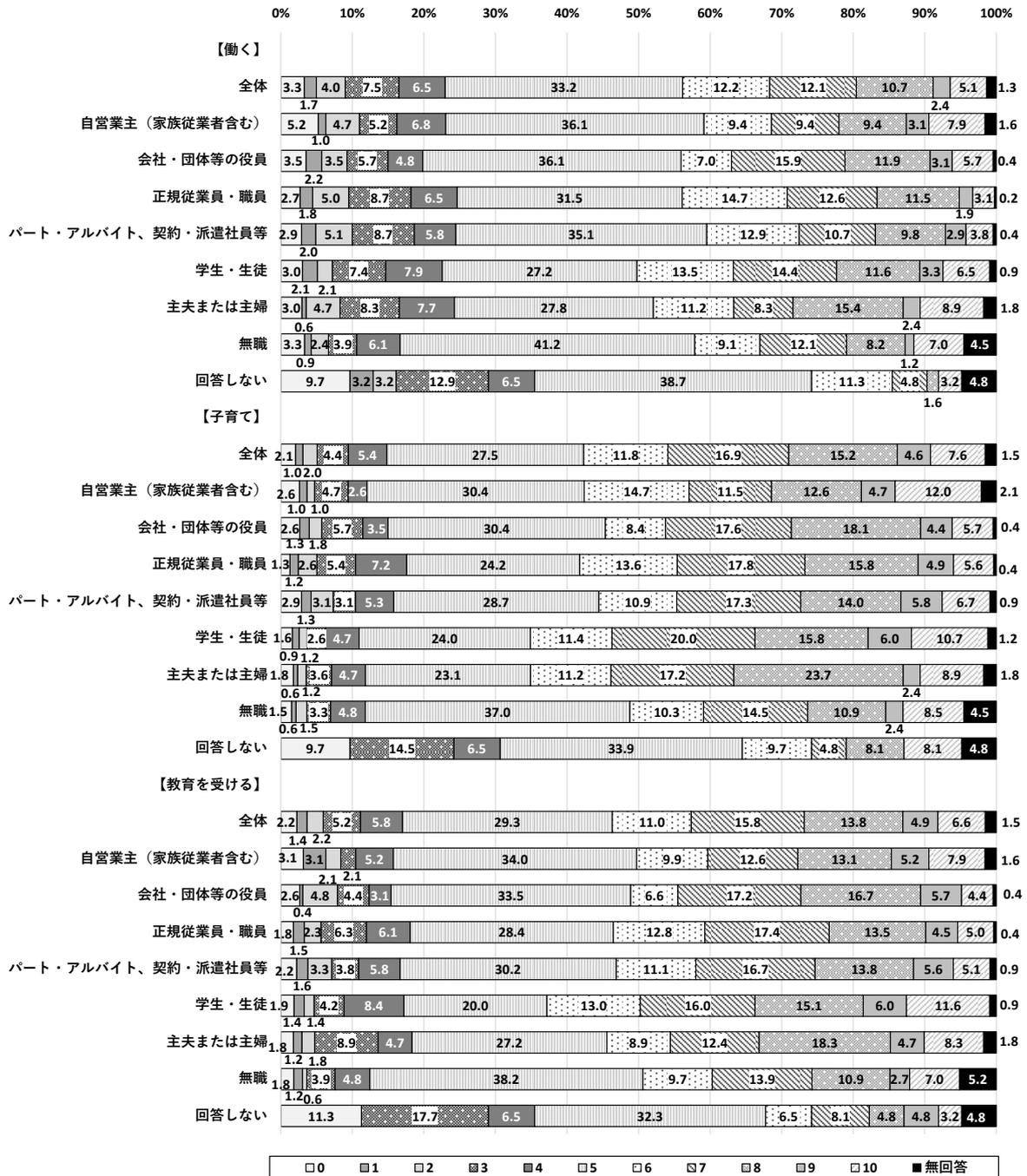
【割合】

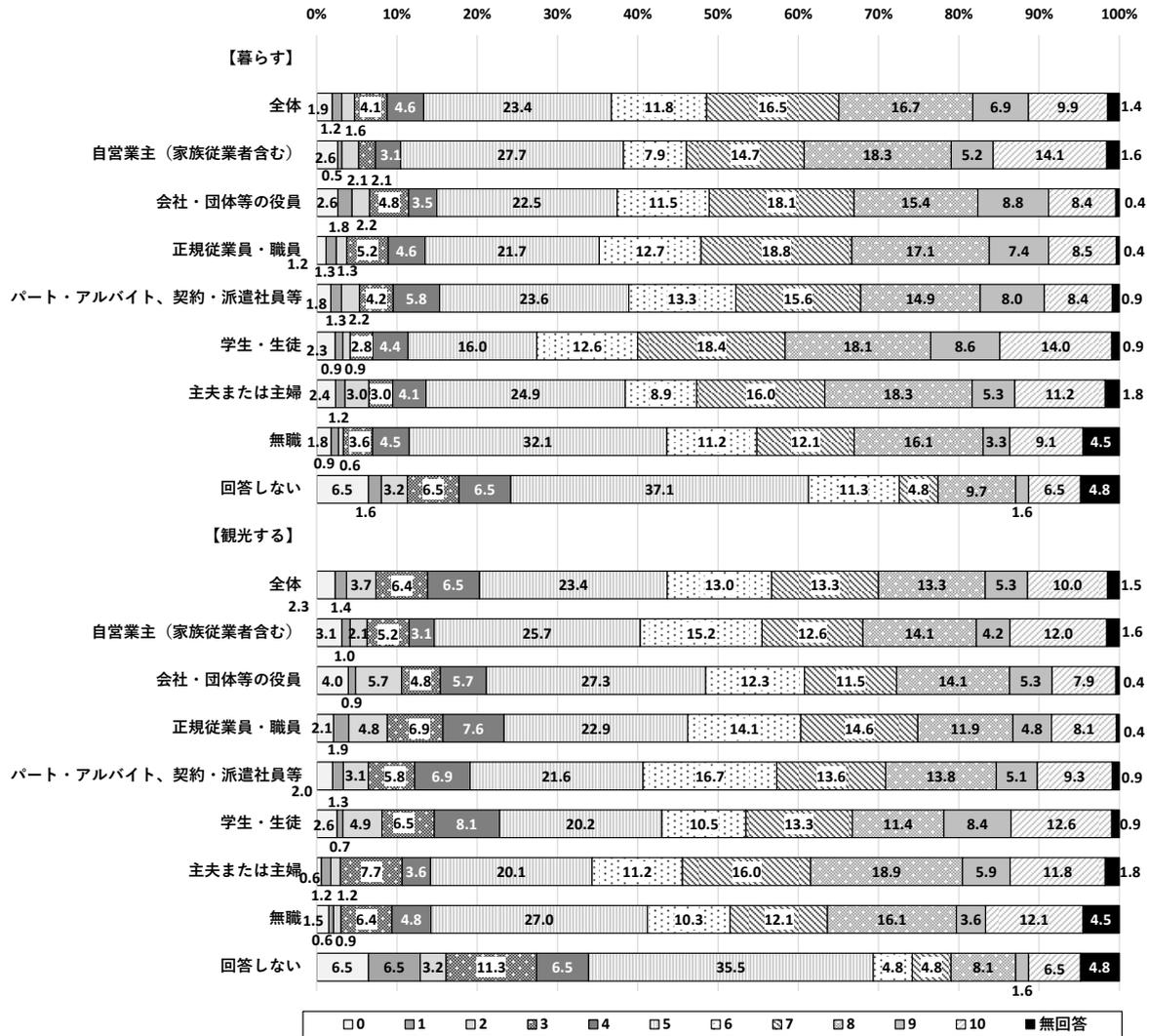
「働く」「教育を受ける」「観光する」では、すべての職業で「5」が最も高くなっている。

「子育て」では、「主夫または主婦」の「8」が23.7%と他の職業と比べて高い。

「6以上」を見ると、「観光する」を除くすべての設問項目で、「学生・生徒」が他と比べて高い。「観光する」では、「主夫または主婦」が63.8%と最も高くなっている。

図表 15-6-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(職業別)



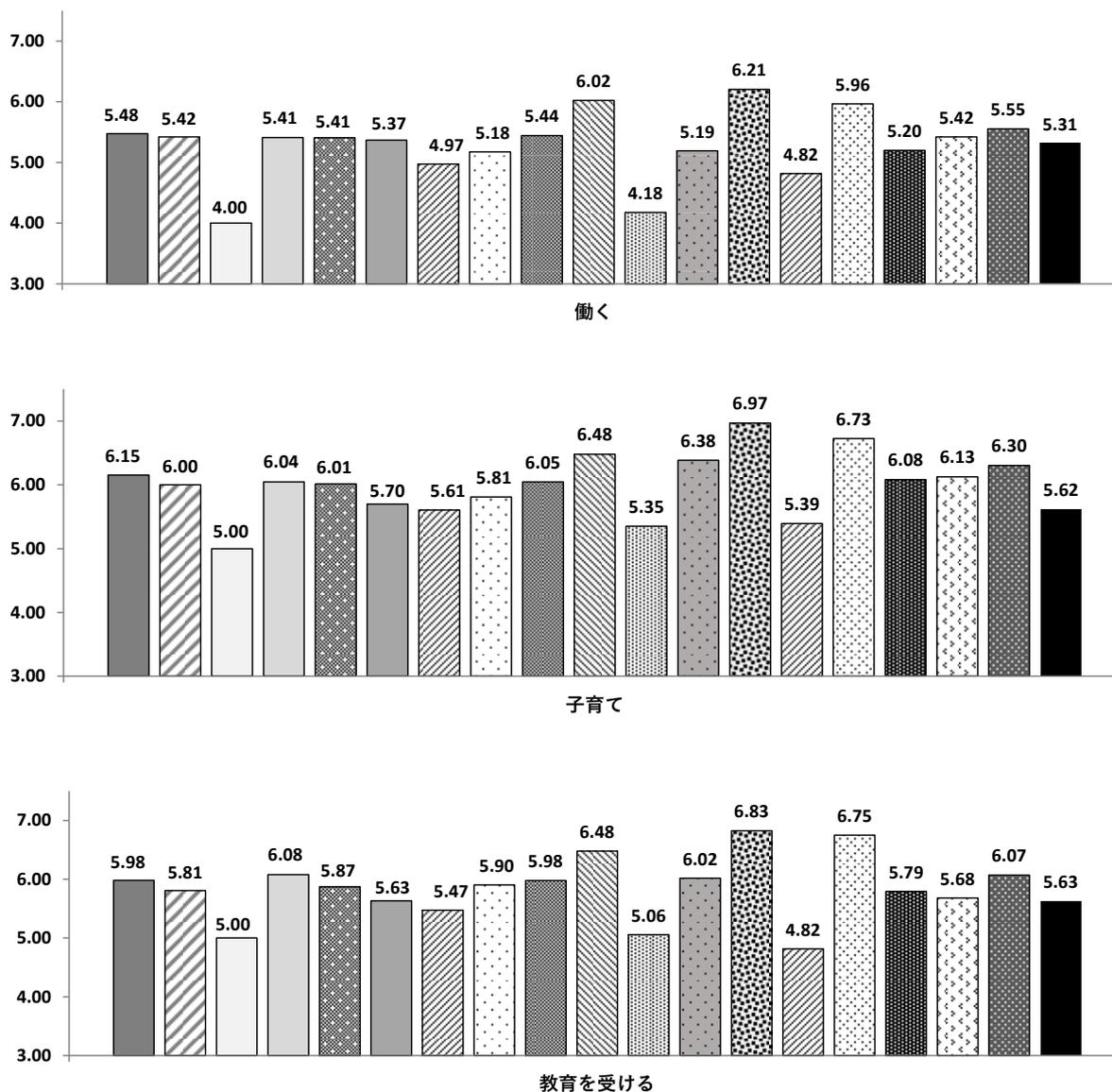


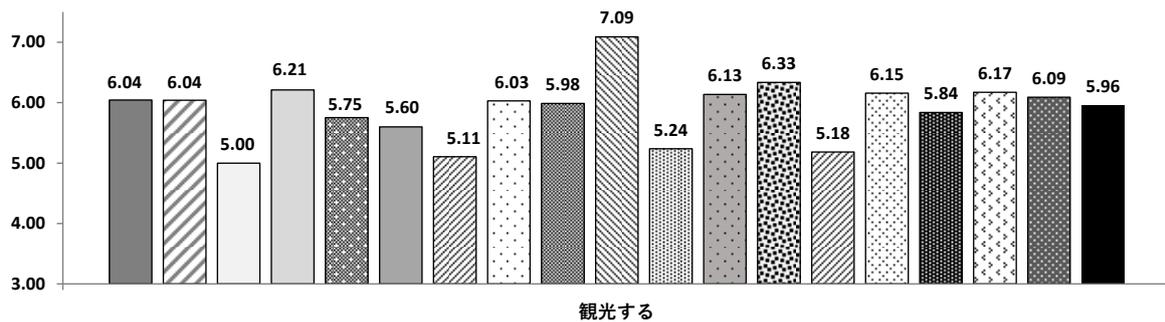
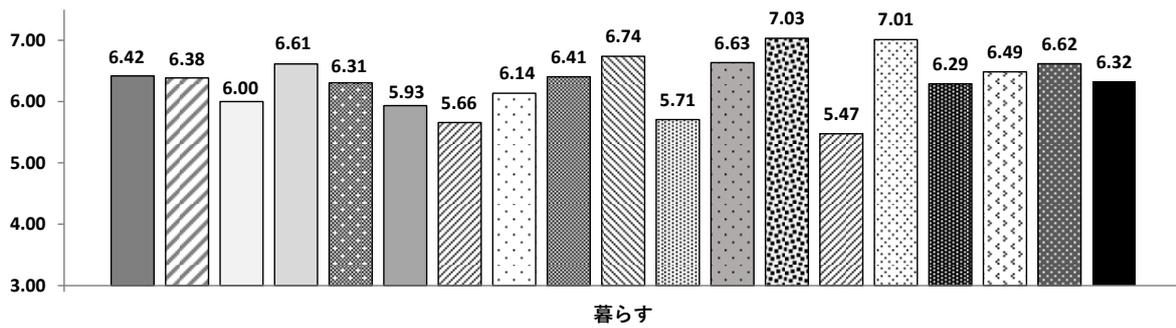
(6) - 2 職業分野別

【平均】

「観光する」を除くすべての設問項目で、「宿泊業、飲食サービス業」が、最も高い。特に、「暮らす」では7を超えている。一方、「観光する」では、「金融業・保険業」が7.09と他と比べて高い。

図表 15-6-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（職業分野別）





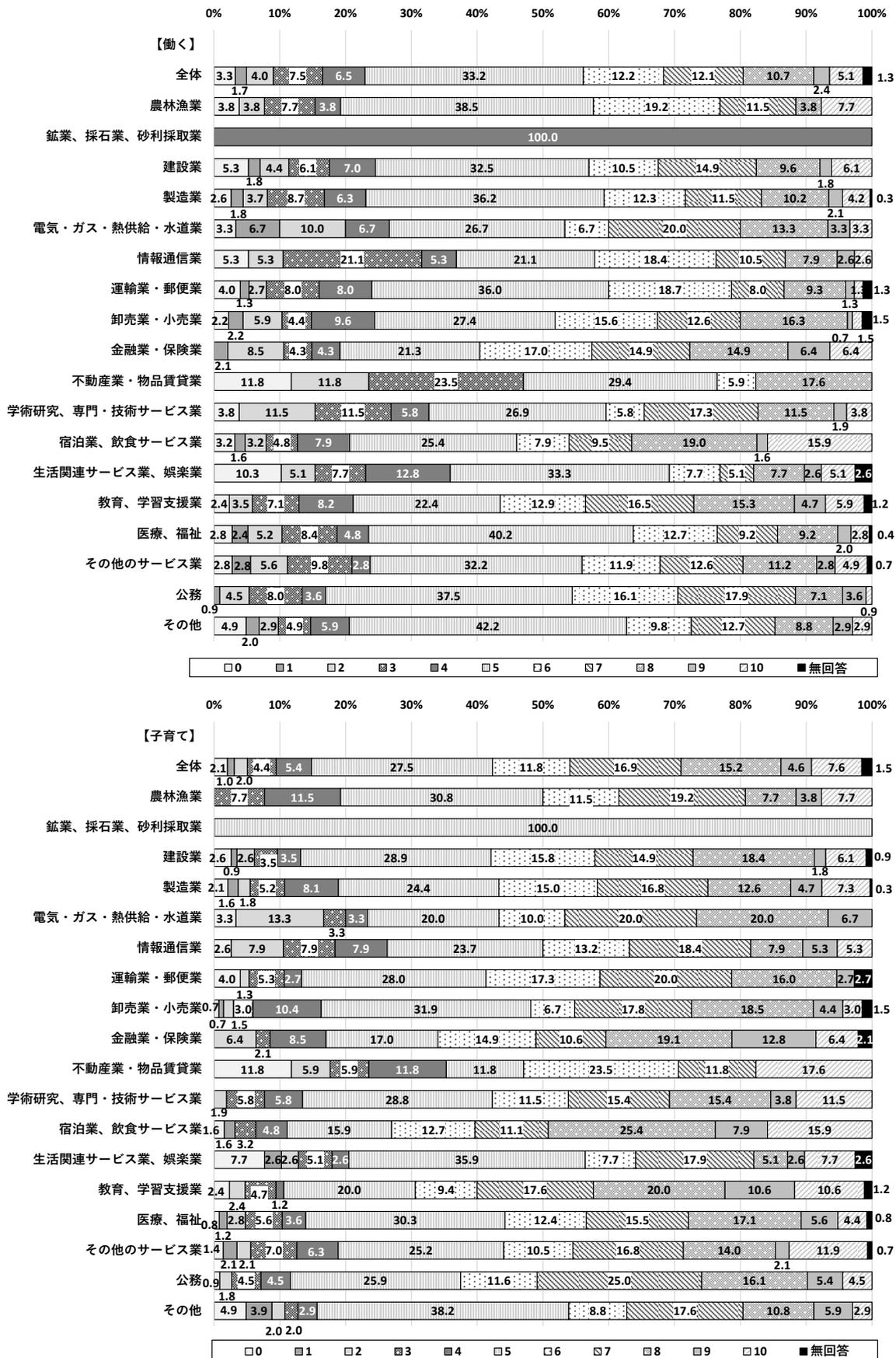
■ 全体 (N=2,719)	□ 農林漁業 (N=26)
□ 鉱業、採石業、砂利採取業 (N=1)	□ 建設業 (N=114)
■ 製造業 (N=381)	■ 電気・ガス・熱供給・水道業 (N=30)
■ 情報通信業 (N=38)	□ 運輸業・郵便業 (N=75)
■ 卸売業・小売業 (N=135)	■ 金融業・保険業 (N=47)
■ 不動産業・物品賃貸業 (N=17)	■ 学術研究・専門・技術サービス業 (N=52)
■ 宿泊業、飲食サービス業 (N=63)	■ 生活関連サービス業、娯楽業 (N=39)
□ 教育、学習支援業 (N=85)	■ 医療、福祉 (N=251)
□ その他のサービス業 (N=143)	■ 公務 (N=112)
■ その他 (N=102)	

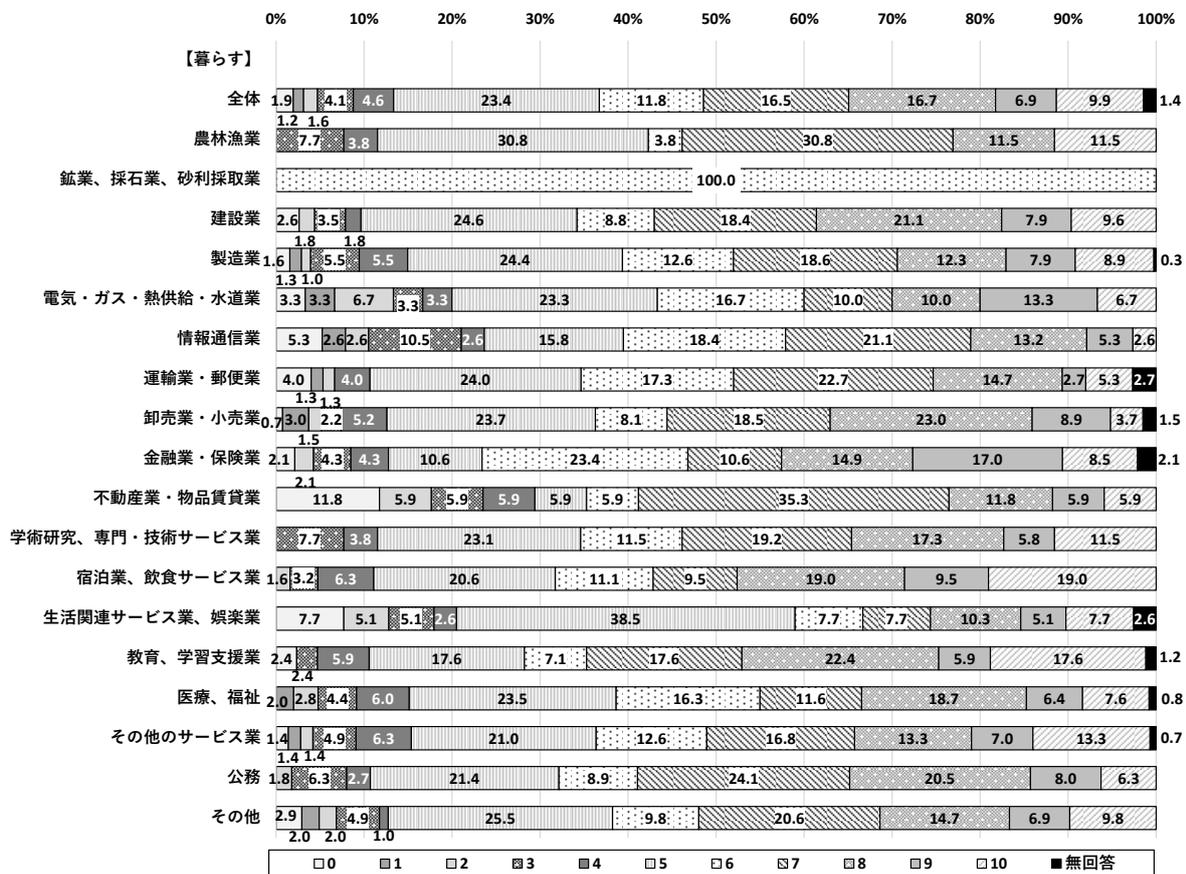
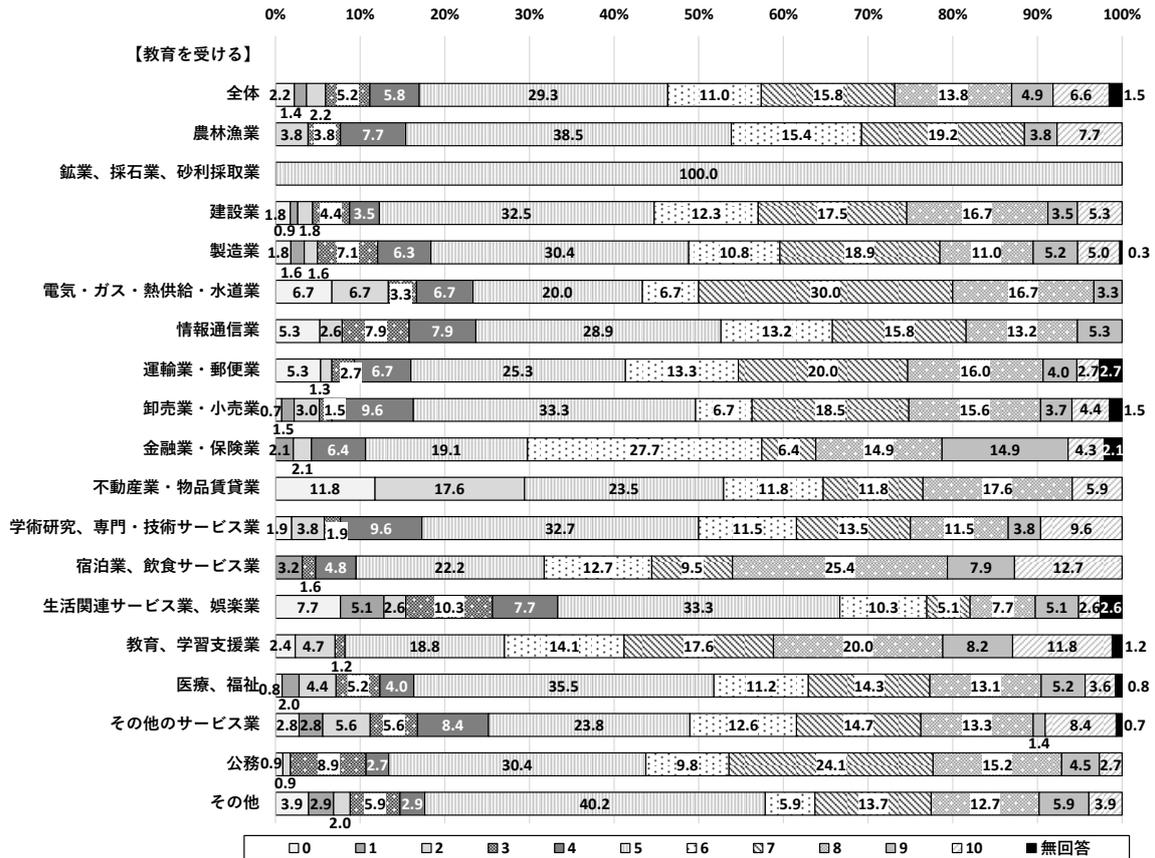
【割合】

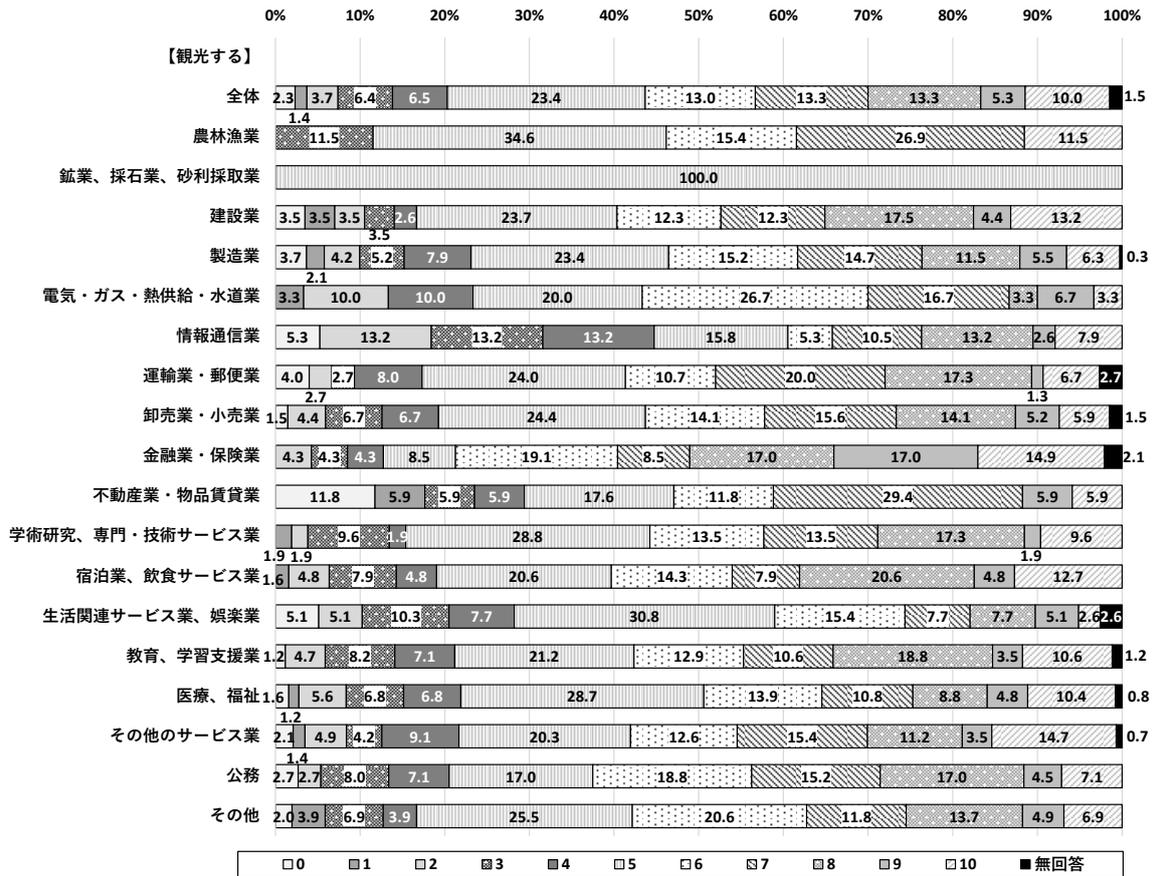
すべての職業分野で、「働く」では「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「暮らす」「観光する」では「金融業・保険業」が、他の職業分野よりも高い。「子育て」では、「宿泊業、飲食サービス業」が他の職業分野と比べて高い。「教育を受ける」では、「教育、学習支援業」が他の職業分野と比べて高い。

図表 15-6-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（職業分野別）





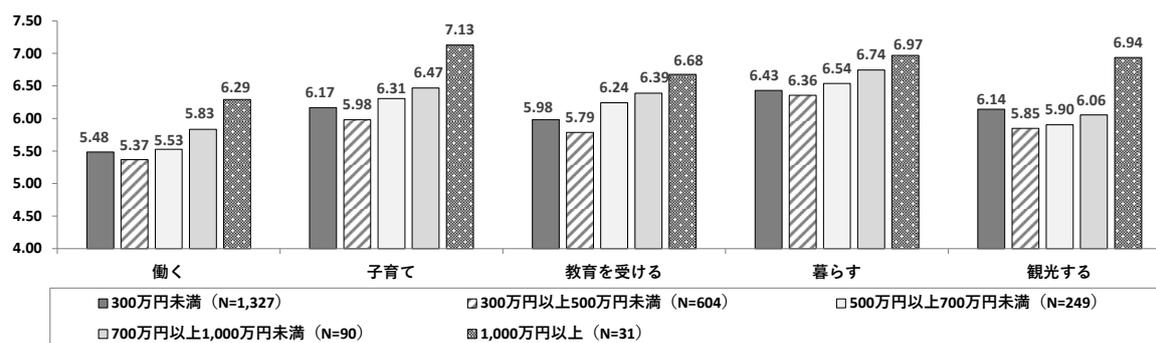


(6) - 3 年収別

【平均】

「暮らす」では、すべての年収で6を超えている。すべての設問項目で、「1,000万円以上」が最も高い。特に、「教育を受ける」では「1,000万円以上」が7.13と、他と比べて高い。

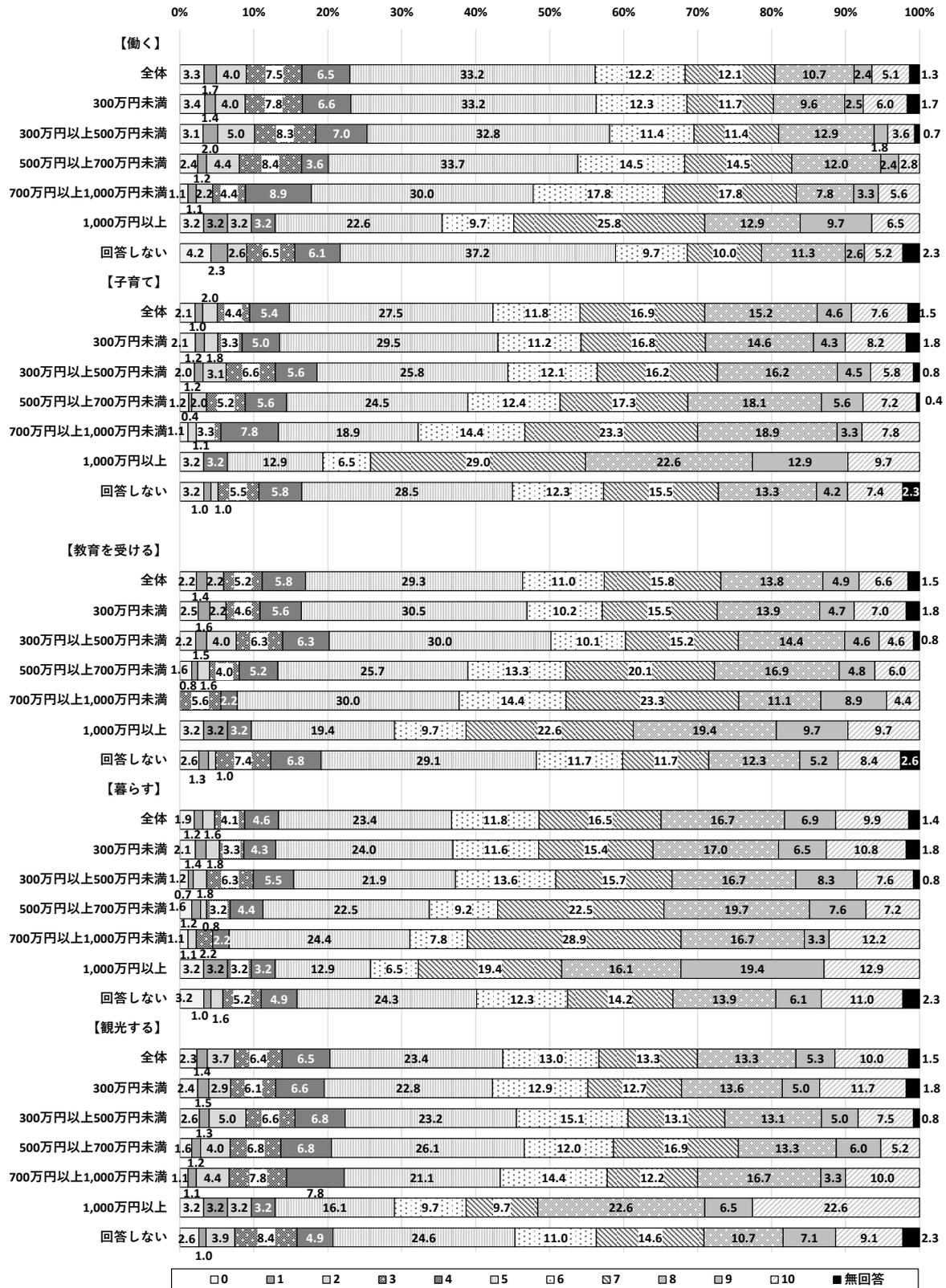
図表 15-6-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(年収別)



【割合】

「6以上」を見ると、すべての設問項目で「1,000万円以上」が最も高い。

図表 15-6-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（年収別）

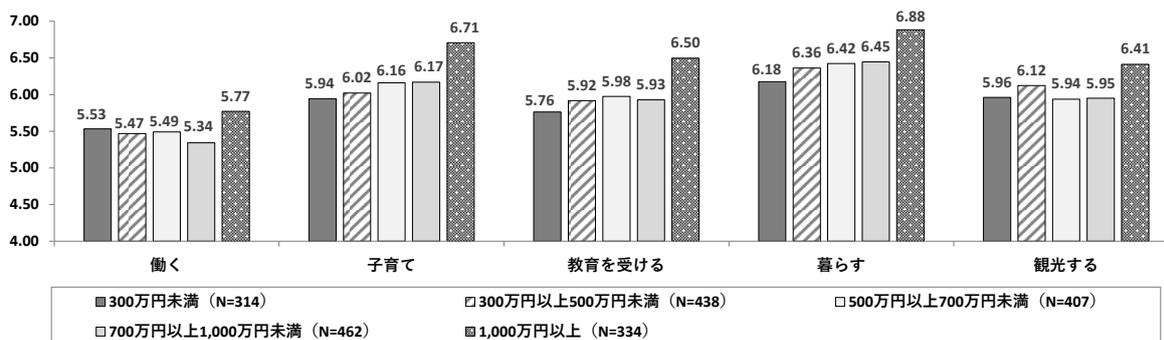


(6) - 4 世帯年収別

【平均】

「暮らす」では、すべての世帯年収で6を超えている。すべての設問項目において、「1,000万円以上」が最も高い。

図表 15-6-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(世帯年収別)



【割合】

「6以上」を見ると、すべての設問項目で「1,000万円以上」が他の世帯年収と比べて高い。

図表 15-6-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（世帯年収別）

